アルクの日本語テキスト●ALC Press Japanese Textbook Series

合格できる!

新傾向対応

2級日本語能力試験対策

模擬テスト2回分つき

You Can Pass It!

Preparing for the Japanese Language Proficiency Test Level Two

With the Equivalent of Two Practice Tests

瀬戸口彩／山本京子／浅倉美波／歌原祥子

アルク

目　次

合格への準備と対策
文字・語彙 ---- 8
聴　　解 ---- 14
読解・文法 ---- 18

2級模擬テスト　第1回
文字・語彙 ---- 26
聴　　解 ---- 31
読解・文法 ---- 38

2級模擬テスト　第2回
文字・語彙 ---- 54
聴　　解 ---- 60
読解・文法 ---- 68

解答・配点
第1回 ---- 82
第2回 ---- 83

聴解問題〈CDの内容〉
第1回 ---- 84
第2回 ---- 92

解答用紙
第1回 ---- 99
第2回 ---- 101

日本語能力試験の構成と認定基準 ---- 103

はじめに

この本は、日本語能力試験の２級を受ける人たちのために書きました。３級に受かって、今度は２級をめざす人、２級を受けたけれども残念ながら合格しなかった人たちにぜひ使ってほしい本です。

では、日本語能力試験の２級はどのくらいむずかしいのでしょうか。まず、試験が三つの部分に分かれていることから説明しましょう。「文字・語彙」「聴解」「読解・文法」の三つです。「文字・語彙」の「文字」は漢字の問題です。「語彙」というのは、かんたんにいえばことばです。ことばが集まったものです。４級の語彙、３級の語彙、２級の語彙と数がだんだんふえて、むずかしくなってきます。「語彙」では、ことばをどのくらい知っているか、文のなかで意味がわかるように使えるかが問題になります。「聴解」はテープを聞く問題です。絵を見て質問に答えるものと、絵のないものがあります。「読解・文法」は、長い文や短い文を読んで質問に答えるものと、文法の問題です。

大学や日本語学校などで日本語を600時間ぐらい学習して、中級の日本語コースを終わった人が２級の日本語能力を持っていると考えられています。漢字は1,000字ぐらい、語彙は6,000語ぐらいといわれています。この漢字や語彙を使って聞いたり、話したり、読み書きができることが２級の日本語能力です。専門的な知識は必要なく、ふだんの生活や一般的な話題について日本語で聞く、話す、読む、書く力を試す試験です。

試験の時間は、「文字・語彙」が35分、「聴解」が40分、「読解・文法」が70分です。決められた時間で、たくさんの問題を解かなければなりません。試験の前にはこの時間で練習してください。少し早く終わって、問題をもう一度はじめから見る時間があるといいと思います。それには、わからない問題をいつまでも考えないことがたいせつです。

得点は、「文字・語彙」が100点、「聴解」が100点、「読解・文法」が200点で、400点満点です。だいたい全体の60％できれば、合格です。400点のうち240点取れればよいのです。「わからない問題をいつまでも考えない」のがなぜたいせつかわかったと思います。一つのむずかしい問題をいつまでも考えるより、たくさんの問題を解くほうが得点が高くなるからです。問題はすべて四つの中から一つの答えをえらびます。どれをえらんでも25％で正しい答えがえらべるのです。わからなくてもマークシートは、どれかぬっておきましょう。「ずるい」と思う人もいるでしょうが、試験に受かるためには１点でも多いほうがよいでしょう。

だれにでも得意なことと、そうでないことがあります。このような試験では、得意でないことを、できるだけ早く自分で見つけて練習することをおすすめします。そうすると、だんだん得意なことがふえてくると考えてください。試験が「たいへんで、つらいもの」ではなくなってきます。本当です。この本は、みなさん全員が２級の試験に受かるように願って書かれています。みなさんの準備をお手伝いします。「■問題の形式と傾向」や「■準備のポイント」をよく読んでください。問題を解きながら、試験の問題の形に慣れます。問題の指示にしたがう練習ができます。知らないことばがすこしぐらいあっても、文や会話全体から意味を考えたりする力がつきます。この本を終わった人は、本当の試験の問題を解いてみてください。何年か前の問題からはじめるとよいと思います。何点取れるかで、どれだけ力がついてきたかわかるでしょう。

最後に、いちばんたいせつなことを書きます。試験に受かってからのことです。２級の日本語の能力をみなさんはこれからどう使うのですか。みなさんは日本語で何がしたいのですか。もう決まっていますか。これはわたしたちのだれにもお手伝いできません。どうぞ自分で答えを出してください。

では、はじめましょう。

1999年10月

著者

文字・語彙

日本語能力試験2級の文字・語彙の問題は、問題Ⅰから問題Ⅳまであります。そのうち、文字の問題は、問題Ⅰと問題Ⅱです。問題Ⅰは漢字の読み方（20問）、問題Ⅱは漢字の書き方（20問）です。3級で300字だった漢字は、2級ではその3倍以上の1,000字になります。ですから、「漢字を使っていない国」の人たちにはとてもたいへんです。

語彙の問題は問題Ⅲと問題Ⅳです。問題Ⅲは文の中にことばを入れる問題（15問）、問題Ⅳは説明を読んで、その説明にあったことばをえらぶ問題（10問）です。このような問題は、意味がわかっても使い方がわからなければ答えられません。意味を覚えるだけなく、使えなければならないということです。2級の語彙は6,000語くらいです。

漢字は1,000字、語彙は6,000語というのを聞いて、おどろく人も多いでしょう。どこから勉強したらいいのかわからなくなってしまいそうです。でも、2級の試験に出る漢字や語彙は、1994年に出版された『日本語能力試験出題基準』（著作・編集：国際交流基金、日本国際教育協会、発行：凡人社）の2級の漢字・語彙の中から、ほとんどが出題されています。ですから、勉強するときに、この本を参考にして漢字や語彙、文法を勉強するといいと思います。また、一度出題された問題がもう一度出題されることはあまりないようですから、まだ出題されていないものをよく勉強するといいでしょう。

最近の傾向として、2級の問題は全体的に少しやさしくなってきているようです。今まで3級との差が大きかったため、2級をやさしくして3級との差を少なくしようということなのかもしれません。文字・語彙の問題についていうと、それほど変化はありませんが、「(気が）長い／1995年」「ひどい（目）／1996年」などのような特別ないい方のものは、この2年出題されていません。

では、それぞれの問題についてもう少しくわしく見ていきましょう。

問題Ⅰ

■出題の傾向と分析

ここで問題になるのは、①漢字2字のことばの読み方、②動詞や形容詞などの読み方、③読みが2つ以上ある漢字の読み方などです。特に漢字2字のことばは、20問中14問くらい出されます。時々漢字3字の読み方も出されますが、これは毎年1題くらいです（これまでに出た漢字：「留学生」／1998年、「放送局」／1997年、「人類学」／1996年）。

ところで、日本語を勉強する人にとって、「学校（がっこう）」の「゛」「っ」「う」などの発音は難しいと思いますが、漢字2字のことばでは、「゛」「っ」「う」があるかどうかという問題がいちばん多いです。

例）問題Ⅰ　次の文の下線をつけたことばは、どのように読みますか。その読み方をそれぞれの1・2・3・4から一つえらびなさい。

問4　自転車に乗っていた老人(1)がバスと接触(2)して倒れ(3)、足のほねを折った(4)。

（1）老人	1　ろじん	2　ろにん	3　ろうじん	4　ろうにん
（2）接触	1　せつぞく	2　ぜつじょく	3　せっそく	4　せっしょく
（3）倒れ	1　かくれ	2　ひかれ	3　おされ	4　たおれ
（4）折った	1　おった	2　きった	3　うった	4　わった

（1998年出題）

たとえば、この1998年の問題についていうと、（1）がその例です。「老」という漢字の読み方が、「ろ」なのか「ろう」なのかという問題です。それから「人」の読み方が「じん」「にん」のどちらかという問題は、読み方が二つ以上ある漢字の問題の例です。

（2）の問題の「ぞく」と「じょく」、「そく」と「しょく」のように、発音がまちがえやすいものも問題になります。「ま」と「ば」、「ろく」と「りょく」、「ぼう」と「もう」、「しゅう」と「すう」、「じつ」と「じゅつ」、「りゅう」と「るう」などもそうです。

また、「交換」の読み方を｛1 こうたい　2 こうだい　3 こうかん　4 こうがん｝という、実際にある漢字の読み方からえらぶ問題もあります（1998年出題／問題Ⅰ　問2）。

（3）と（4）は、動詞の読み方ですが、これは送りがな（「れ」「った」）が同じになる動詞が1から4に入っています。また、文の中に入れてもおかしくないと思われるような意味のものもあります。たとえば、（3）の読み方は「たおれ」ですが、「バスと」ということばがあるので、もし漢字がわからなければ、文の意味から「ひかれ」を選んでしまう人もいるかもしれません。動詞や形容詞の読み方の場合、この「文に意味のあいそうなことば」にも注意が必要です。

■解き方のポイント

それでは、次の問題について考えてみましょう。

（1）老人　1　ろじん　2　ろにん　3　ろうじん　4　ろうにん

「老」が「ろ」と読むのか「ろう」と読むのかという問題ですが、どちらか迷いませんでしたか。これは「ろう」が正解です。もちろん漢字の正しい読み方を覚えていれば問題ありませんが、覚えていないときは小さい声でいってみて、音を確認したりするかもしれませんね。問題は発音（いったこと）と表記（書いたもの）が同じかどうかです。本当は「ろう」なのに、「ろ」といってしまうことがよくあります。これは「゛」や「っ」も同じです。こういうことが起こらないためには、ふだんから声に出して読むだけでなく、実際に書いて正しい読み方を確かめておくことが必要でしょう。これはその音が正しく聞けていないことに原因があります。ですから、自分の苦手な発音の聞き取りを練習したりするのもいいです。

「人」のように「読み方が二つ以上ある漢字」の場合、「じん」「にん」という一つの読み方を覚えるだけでは、試験に出たとき迷ってしまいます。漢字2字のことば（「人口：じんこう」「人気：にんき」）として、読み方を覚えなければなりません。2級では「読み方が二つ以上

問4　(1) 3　(2) 4　(3) 4　(4) 1

ある漢字」にどんなものがあるのか、『日本語能力試験出題基準』で見ておきましょう。

ところで、「接」のように「〜つ」という読み方の漢字が前にあることばの場合、「〜つ」になったり「〜っ」になったりします。（2）の問題はその例です。

（2）接触　　1　せつぞく　　2　ぜつじょく　　3　せっそく　　4　せっしょく

「接：せつ」（「接続：せつぞく」「接近：せっきん」）のほかに、「実：じつ」（「実現：じつげん」「実行：じっこう」）、「活：かつ」（「活力：かつりょく」「活気：かっき」）、「発：はつ」（「発売：はつばい」「発見：はっけん」）、「物：ぶつ」（「物理：ぶつり」「物価：ぶっか」）、「圧：あつ」（「圧力：あつりょく」「圧縮：あっしゅく」）などがありますので、試験の前に調べておきましょう。

ところで、漢字の読みの問題は短い文の中から出されます。この文はいろいろな内容です。ですから、もしまったく知らない漢字が出てもすぐあきらめないで、文の内容から漢字の読み方を考えてみてください。そして、そのためにもふだんからいろいろな内容のものを読み、漢字といっしょに語彙もふやしていきましょう。

問題Ⅱ

■出題の傾向と分析

問題Ⅱは漢字の書き方の問題です。実際に書くのではなく、問題用紙の四つの中から正しい漢字をえらびます。漢字2字のことば、動詞や形容詞などの漢字の書き方が出題されます。書き方の問題には、①同じ発音をもつ漢字が入っている問題、②似ている漢字が入っている問題、③似ている意味の漢字が入っている問題、④同じ送り仮名の漢字の問題などがあります。それでは、実際の問題を見てみましょう。

例）問題Ⅰ　次の下線をつけたことばは、どのような漢字を書きますか。その漢字をそれぞれの1・2・3・4から一つえらびなさい。

問2　あなたはうちゅう（1）はえいえん（2）につづく（3）と思いますか。

（1）うちゅう	1　宇中	2　宇仲	3　宇宙	4　宇抽
（2）えいえん	1　永遠	2　永延	3　氷遠	4　氷延
（3）つづく	1　絡く	2　続く	3　結く	4　経く

（1998年出題）

この（1）は「同じ発音をもつ漢字が入っている」問題です。「中」「仲」「宙」「抽」のどれが、この場合の「ちゅう」の漢字なのかということです。（2）の「えん」も同じ発音をもつ「遠」と「延」が問題になっています。このような「同じ発音をもつ漢字」の問題が一番多いです。

問2　(1) 3　(2) 1　(3) 2

「えい」の「永」と「氷」は、形が似ている漢字の問題です。「氷」は（こおり／ひ／ひょう）と読みますが、よく似ていますね。また、似ている漢字の問題では、問1の（3）「つづく」の「糸」や、次の問4の（2）「おく」の「意」のように、「一部が同じ」漢字もよく出されます。

問4　来年度のよさん（1）は2おく（2）円をこえる（3）といわれている。

（1）よさん	1　要算	2　余算	3　与算	4　予算
（2）おく	1　億	2　憶	3　臆	4　噫
（3）こえる	1　増える	2　超える	3　過える	4　数える

（1998年出題）

（3）は「似ている意味の漢字」の問題です。動詞の「過える」ということばは実際はなく、「過ぎる」とか「過ごす」が正しいことばですが、意味を考えるとちょっとまちがえてしまいそうです。このように問題Ⅱでも問題Ⅰと同じように、文にあいそうな、意味が似ている漢字が四つの答えの中に入っていることがあるので注意してください。

■解き方のポイント

漢字はいろいろな部分が集まってできています。これまで見てきたように、その「一部が同じ」漢字を問題にすることがよくあります。ですから、書かないからといって、正確に覚えていないと、試験のとき迷います。一つ一つの部分をしっかり覚えましょう。漢字の覚え方や練習のしかたは、一人一人の興味や学習のしかたによって違うので、自分にあった方法で勉強していくのがいいと思います。

「いどう」という漢字の問題が、1998年の試験に出ました。でも、「いどう」というだけで、「きめられたいちに車をいどうしなさい」という文がなければ、会社の中で人が動く（仕事が変わる）という意味の「異動」なのか、ものを動かすという意味の「移動」なのわかりません。「異動」も「移動」も実際にあることばで、「いどう」と読みます。つまり、いくらたくさん漢字を知っていても、文の意味がわからなければ、正しい漢字をえらぶことはできないということです。

「移動」や「異動」だけ覚えるのではなく、「車を移動した」とか「人事異動があった」のような短い文で覚えておくといいと思います。また、「いどう」ということばを知らなくても「異」や「移」の意味がわかっていれば、大丈夫です。一つ一つの漢字の意味は、正しい答えをえらぶとき役に立ちます。新しい漢字を覚えるときは、その漢字の意味も覚えるようにしましょう。

このように漢字をえらぶ問題では、漢字の意味がわかること、文の意味がわかることの両方が大切です。もし、漢字がわからなくても、文の意味と漢字の意味がわかれば、正しい答えをえらぶことができるかもしれないからです。これには語彙をどのくらい知っているかということと関係があります。漢字だけ覚えても、文の中での使い方がわからなければ本当には

問4　(1) 4　(2) 1　(3) 2

使えません。ですから、いろいろなものを読んだり、短い文を自分で作ったりしながら勉強していくのがいいでしょう。

問題Ⅲ

■出題の傾向と分析

問題Ⅲは文の中にいちばんいいと思うことばを入れる問題で、問題になることばは、①漢字2字のことば、②動詞や形容詞、③カタカナのことば、④接続詞や副詞などです。意味が似ていることばからえらぶ問題が多いです。1998年度の問題を見てみましょう。

例）問題Ⅲ　次の文の＿＿＿＿の部分に入れるのに最も適当なものを、1・2・3・4から一つえらびなさい。

（1）　今年文学賞をもらった作家に、新聞記者が＿＿＿＿して記事を書いた。
　1　ステージ　　2　コンクール　　3　インタビュー　　4　レクリエーション

（7）　ひさしぶりに＿＿＿＿がとれたので、一日中何もしないでのんびりした。
　1　休業　　2　休憩　　3　休講　　4　休暇

（10）スープが＿＿＿＿しまったので、もう一度あたためた。
　1　さめて　　2　つめて　　3　うすめて　　4　よわめて

（1998年出題）

（1）の問題はカタカナのことばをえらぶ問題です。カタカナのことばは同じような意味のものはなかなかないので、このようにまったく違う意味のものからえらぶことが多いです。ですから、そのことばを知っていれば、（7）や（10）のように迷うことはあまりないでしょう。カタカナのことばは問題Ⅳと合わせて毎年3問出ています。

（7）のように同じ漢字（「休」）の入ったことばからえらぶ問題もよくあります。

■解き方のポイント

それぞれの問題文を最後までよく読むことが大切です。問題文の中に答えを決めることばがあります。たとえば、（10）ですが、ここでは「あたためた」ということばです。「冷たい」から「あたためた」のですから、「冷たい」に近いことばを探します。

しかし、問題の中には｛1　いって　2　のべて　3　かたって　4　しゃべって｝のように、似ている意味のことばからえらぶものがあります。これはそれぞれのことばの使い方がわからないと、えらべません。同じような意味なので、どう使われるのかわかっていないと答えられないのです。辞書の例文を参考にしたり自分で例文を作ったりしてみて、使い方を覚えてください。このような「意味が同じようなことば」は、例文をまとめて整理しておくといいでしょう。

みなさんの中には、カタカナのことばが苦手だという人もいるでしょう。でも、試験では四つの中からえらぶので、それほど難しくはないと思います。最近はカタカナのことばがたくさん使われていますが、よく使われているものだけで十分です。よく使われるもので、まだ試験に出ていないことばを調べておきましょう。

問題Ⅳ

■出題の傾向と分析

問題Ⅳは、ことばの意味の説明からことばをえらぶ問題です。①漢字2字のことばや名詞、②形容詞、③動詞、④カタカナのことば、⑤副詞などです。この問題では、説明の文の意味がわからないと、答えられませんから、語彙の問題と言っても読む力が必要になります。問題の一部を見てみましょう。

例）問題Ⅳ　次の（1）から（10）は、ことばの意味や使い方を説明したものです。その説明に最もあうことばを、1・2・3・4から一つえらびなさい。

（1）　表面がとび出したりへこんだりしているようす。
　1　あやふや　　2　でこぼこ　　3　あちこち　　4　あべこべ

（2）　とても信じられない事態に対する気持ち。
　1　たしか　　2　にわか　　3　まさか　　4　わずか

（6）　きまった場所を通って、また元に戻り、それを繰り返すこと。
　1　循環　　2　順番　　3　通過　　4　輸送

（1998年出題）

このようにみると、説明の文は難しいと思いませんか。（1）（2）の四つの答えは、意味は関係ない「似ているいい方のことば」で、（6）は「説明にあいそうなことば」です。「似ているいい方のことば」の場合、意味がぜんぜん違うので、えらびやすいかもしれません。でも、（6）のような「説明にあいそうなことば」は、説明の文と何か関係のあるようなことばなので、迷いやすいです。

■解き方のポイント

まず、カタカナのことばですが、これまでに次のような問題が出題されています。

問題Ⅲ　（1）3　（7）4　（10）1

問題Ⅳ　（1）2　（2）3　（6）1

1998年：インタビュー、シャッター（問題Ⅲ）、キャプテン（問題Ⅳ）
1997年：コピー（問題Ⅲ）、アナウンサー、アクセサリー（問題Ⅳ）
1996年：カロリー（問題Ⅲ）、オーバー、ラッシュアワー（問題Ⅳ）
1995年：ドラマ（問題Ⅲ）、スチュワーデス（問題Ⅳ）
1994年：プログラム、トップ　（「プログラム」は1992年にも出題。1992年以前は「サービス」「テーマ」）

「プログラム」は2度出題されていますが、それ以外のことばは1度しか出ていません。まだ出題されていないもので、よく使われることばを勉強しておくといいでしょう。
説明の文はかなり難しいです。何か新しいことばを勉強したときには、そのことばを日本語で説明する練習をしましょう。説明の文の形に慣れておくことが必要です。説明の文の意味がわからなければ、答えられません。また、「似ていることば」についても、ちがいが説明できるようにするといいでしょう。

（1）表面がとび出したりへこんだりしているようす。

1　あやふや　　2　でこぼこ　　3　あちこち　　4　あべこべ

さて、この（1）の問題について考えてみましょう。「でこぼこ」が正しい答えですが、もしこのことばを知らなかったら、どう考えていけばいいのでしょうか。四つの答えのうち「あやふや」と「あべこべ」は2級では難しいものですから、見たことがないという人も多いと思います。ふつう「2級では難しいもの」はあまり問題に出しませんから、「でこぼこ」か「あちこち」のどちらかになります。「あちこち」はそれほど難しくないので、意味はわかるでしょう。そうすると、「でこぼこ」をえらぶということになります。わからないときは、このようにちがうと思うものを消していって、残ったものをえらぶという方法もあります。
「文字・語彙」の問題は、ほとんど『日本語能力試験出題基準』の2級の漢字や語彙から出されています。2級の漢字や語彙にはどういうものがあるのか調べてみてください。そして、自分が知らないことばを勉強しておきましょう。大切なのは、勉強するとき、漢字や語彙の意味や書き方だけを勉強するのではなく、文を読んだり書いたりしながら使い方も覚えていくことです。

聴　解

日本語能力試験2級の「聴解」は、問題ⅠとⅡに分かれています。問題Ⅰは絵を見て、質問に答える問題です。解答用紙の絵を見ながら、テープを聞きます。問題Ⅱは絵はありません。テープの最後に読まれる四つの答えを聞き、そのなかから正しいものを一つえらびます。はじめに問題についての説明と例があります。この説明と例は毎年同じです。試験を受ける前に、ぜひ1度聞いておくとよいでしょう。

■問題の形式と傾向

1998年の問題では、問題Ⅰが1番から16番まで、Ⅱが15番まででした。問題ⅠとⅡを合わせると31問です。1997年までは全部で25～26問でした。時間は40分で変わっていません。ですから、1問ずつの時間はすこしずつ短くなっていることになります。問題Ⅰでは、内容も身近な話題が多くなりました。かなりやさしくなっているような感じです。ただし、話すスピードが速いのでびっくりするかもしれません。ふつうの日本人の話す日本語とほとんど変わらないくらいの速さです。問題Ⅱは、Ⅰより難しいと思います。絵がないので、何のことか聞いてみないとわかりません。また、質問の長さや会話の内容、やりとりがとても複雑になっています。
問題ⅠもⅡも、男女の会話や一人が何かについて話しているのを聞いて、質問に答えます。質問は2回読まれます。会話などがはじまる前と、終わった後です。質問のなかには出てくる人や場所について説明があります。たとえば「女の人が店に買い物にきました」というようなものです。これは、答えをえらぶときとてもたいせつな情報です。1回目にしっかり聞きましょう。会話がはじまる前に、その場所でよく聞こえるような音がすこしだけ使われることもあります。
問題ⅠとⅡの間には、音楽がはいります。また、問題Ⅱの途中で「休憩」があり、ちがう音楽が流れます。短い時間ですが、すこし休みましょう。会話や質問がはじまるときや、終わりはチャイムで知らせます。問題Ⅰでは、問いと問いの間に10秒くらい考える時間があります。でも、問題Ⅱはどんどんすすんでしまうので、考える時間はほとんどありません。たくさんの問題を聞いて練習しましょう。問題の形式に慣れることがたいせつです。
最後に解答用紙の例を見てください。ほかの問題とほぼ同じマークシートです。でも、正しいものをぬるだけでなく、正しくないものもぬりつぶさなければなりません。ちがうと思ったものもマークをぬりつぶしながら聞きます。「文字・語彙」などのマークシートでは、正しい答えを一つだけをぬりつぶすので、「聴解」のときは注意してください。

■準備のポイント

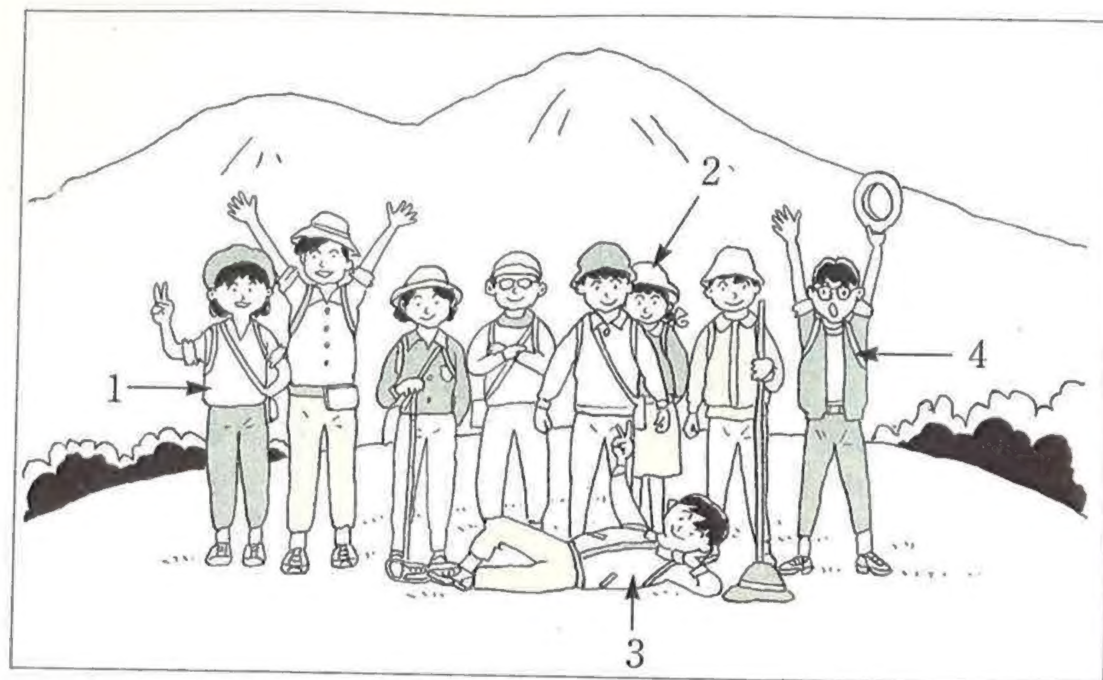
では、次の二つの例をいっしょにやってみましょう。

例1）おおぜいで写真をとっています。注意されているのは、どの人ですか。

男：んー、もうちょっとかたまってくれないかなあ。全員いれるのたいへんだよ。鈴木、おまえさあ、前で横になって。そうそう、それでいい。それから、ああ、田中さん。そんな後ろでかくれてちゃあ、だめ。顔が半分しか写らないよ。もっと前においでよ。せっかくの美人がもったいないじゃないか。

注意されているのは、どの人ですか。

これが問題Ⅰですと、次のような一つの絵になります。中に１、２、３、４の答えがありますので、正しいものをえらびます。答えは２です。



問題Ⅱであれば、絵はなく次のような四つの答えが読まれます。

1　鈴木さんです
2　田中さんです
3　山田さんです
4　だれも注意されていません

答えは２です。このとき、３の「山田さん」というのはまったく出てこない名前です。こういうこともあるので、聞いていないと思うものはえらばないようにしましょう。４の「だれも注意されていません」は、とちゅうの「そうそう、それでいい」から考えれば、いいような気がします。でも、その後、田中さんは前へ出るように注意されていますから、２が正しいことになります。

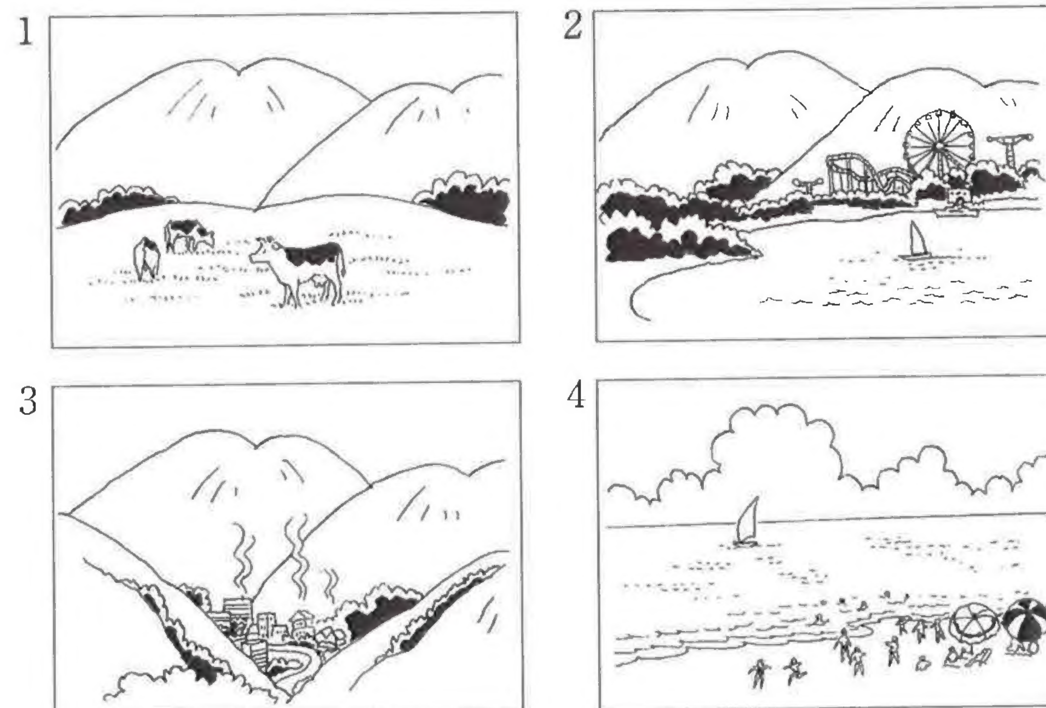
例２）家族で旅行について話しています。今年はどこへ行くことになりましたか。

こども：ぼくは、やっぱり海。
母　　：また？　今年は山がいいな、おかあさん。
父　　：うん。しずかで温泉があるところ。
母　　：温泉ねぇ。こどもには、遊べる場所がないと。
父　　：でも、遊園地みたいのは込むからなあ。
母　　：牧場なんかどうかしら。

こども：牧場？　うまやうしのいるところ？
母　　：そうよ。広くて、すずしくて。緑がいっぱいよ。
こども：ぼく、行く。
父　　：山のなかの牧場か。そうだな。じゃあ、そうしようか。

今年はどこへ行くことになりましたか。

これが問題Ⅰですと、次のような四つの絵になります。



答えは１です。四つの絵のどこがどうちがうかよく見てください。「牧場」ということばを知らなくても、「うま、うし、広い」などから考えます。

問題Ⅱであれば、次のような四つの答えが読まれます。

1　海です
2　温泉のある山です
3　遊園地のある山です
4　牧場のある山です

答えは４です。このような問題では、ふつう会話の最後に答えがあります。これを結論といいます。後のほうをとくによく聞いてください。とくに最後の「じゃあ」は、その後に結論がくることが多いので、注意して聞きましょう。「つまり」「けっきょく」「要するに」など、結論を出すためのいい方がほかにもあるので、まとめておくとよいでしょう。なかには、最初に結論をいう場合もあり、このときは「結論からいうと」などが使われます。その後に

理由がくることが多いです。質問は「女の人はなぜ（どうして）～することにしましたか」など、理由を聞くこともあります。この場合は結論だけでなく、その理由も聞きとらなければなりません。

■注意すること

例1）では、「田中さん」という名前を聞くことが正しい答えをえらぶのに必要です。例2）では、会話全体のだいたいの内容を理解して、「結論」を聞くことができなければなりません。この二つの聞く力は別々の練習をするといいと思います。

例1）では質問に「だれですか」とあるので、はじめから名前やその人のようすを考えて聞きます。「いくらですか」なら値段を聞けばよいのです。例2）では、やさしい会話などをたくさん聞いて、全体の内容を理解する練習からはじめましょう。問題Ⅰによく出る問題で、だれかが何かをする順番をえらぶものもあります。これは絵のある問題ですが、解答用紙の絵の下にあるA→B→C、B→C→Aなどの組み合わせから答えをえらびます。やさしいものからだんだん長くて難しいものを聞いていきましょう。

読解・文法

日本語能力試験2級の「読解・文法」は、問題ⅠからⅥまで、全部で6題です。問題Ⅰと問題Ⅱは、長い文を読んで答えるものです。問題Ⅲは、文や会話を読んで質問に答えるものです。この中には、答えに絵やグラフが使われる問題があります。また、文を意味がわかるように正しい順番に並べかえる問題もあります。問題Ⅳ～Ⅵは、文法の問題です。これは短い文の（　）に正しい形をえらんで入れたり、意味がわかるように文をつなげたりする問題と、文の終わりが（　）になっていて、前の文から後ろの文を考える問題もあります。

それでは、それぞれの問題についてもう少しくわしく見てみましょう。

問題Ⅰ・Ⅱ

■問題の形式と傾向

問題Ⅰと問題Ⅱは、800字～1,200字ぐらいの長い文を読んで後の問いに答える総合問題です。内容は、1題は一般的な話題の新聞の記事とか科学に関するもの、日本人、日本文化について書かれたものなどがよく使われます。また、もう1題は、エッセーや新聞などの投書（読者の意見）、コラム（記者が書いた意見）などが使われることが多いようです。問いは、一つについて、だいたい7問か8問で、問題Ⅰと問題Ⅱで15問です。問いには次のようなものがあります。

1　文の一部に関するもの

①（　　）に適当な表現やことばなどを入れる問題

問題文の例）　（ ① ）の中に入る適当なことばをえらびなさい。
（ ② ）に入ることばとして適当なものはどれか。

②難しい表現について、その意味や内容を考えて同じ内容のものをえらぶ問題

問題文の例）
- 「捕食者」とは、ここでは何か。
- 「擬態している」とは、ここではどういうことか。
- 「彼ら」というのは、次のどれを指しているか。
- 「そのときの私の気持ち」とあるが、どんな気持ちか。

③「こ・そ・あ」などが指す内容について答える問題

問題文の例）
- 「あれ」とは、何を指しているか。
- 「そんなとき」とは、どのようなときか。
- 「その人」とは、だれか。

④はっきり書かれていないことについて、だれがしたのか、またその理由や原因を考えて答える問題

問題文の例）
- 「こいつは自分とは違った習慣を持っているのか」とあるが、だれがそう思うのか。
- 「魚をとるために森に注目することは決してまちがいではなかったのだから面白い」とあるが、なぜ面白いか。

2　段落に関するもの

問題文の例）
- 「＿＿＿」でいっている内容を正しく表している図はどれか。
- ①の文章で筆者（その文を書いた人）の感じていることはどんなことか。

3　文章全体に関するもの

問題文の例）
- 筆者はどんな気持ちでこの文章を書いたと思うか。
- この文章で筆者が最もいいたいと考えることは何か。
- この文章に題をつけるとしたら、次のどれが最も適当か。
- この文章から考えて、筆者の職業（仕事）は何か。

1と2は、細かい点まで正確に読む力が必要な問題です。3は、文の主な内容や筆者のいちばんいいたいことを考えるものです。これは、たいてい最後の問題になっています。総合問題では、文の細かい点を読み取る力と大きく理解する力が必要です。

■準備のポイント

長い文の読解問題は、細かい点まで正確に読む力と、全体の内容をだいたい理解して、筆者が最も言いたいことやその文の目的をつかむ力が必要です。この二つの力をつけるには、別々の練習が必要です。1や2のタイプの問題は、いろいろな問題集を試してみるのがい

いと思います。同じような問題を何回も繰り返し、やってみることで、問題をとくコツがつかめるでしょう。たとえば、1の①の問題では、選択肢（えらぶことばや文）のことばを入れてみて、正しい文になるものをえらべばいいわけです。③のような問題は、問題の指示語（これ・それ・あれ）の前の部分に、答えが必ずあります。「○○○」と思ったものを問題の指示語に入れてみて、意味の通るものをえらびます。大切なのは、試験の前だけではなく、ふだんからこのような問題を意識して、新聞やいろいろな読み物を読んでおくことです。読解は、記憶力や暗記でできるものではないので、日ごろの努力が必要です。3のタイプの問題の練習は、一般的な新聞の記事、エッセーなどいろいろな文章を読んでおくことです。はじめは、長い文や難しいものより短めで やさしいものから読むといいでしょう。そして、ただ読むのではなく、読んだ後、何がいいたい文なのか、自分でまとめる練習をしてみるといいと思います。

また、情報や知識を持っていれば、その文章の中にわからない語彙（ことば）があっても、判断ができる場合もあります。ですから、いろいろな知識や情報を持つように、母語で書かれたものでもいいですから、読んでおくといいと思います。もし、わからないことばがあっても、それにこだわらずに全体の内容をつかむようにします。段落（まとまり）ごとに何をいいたいのか、まとめながら読む練習をするのもいいと思います。また、図やグラフの問題もあわせて練習しておきましょう。

問題Ⅲ

■問題の形式と傾向

200~400字ぐらいの短い文を読んで問いに答える問題が、5～6題出ます。この問題は、一つの文に問いが1問か2問です。グラフや図を見て答える問題も出る傾向にあります。また、三つ～五つの文が一つの正しい文になるように並べかえる問題もあります。

■準備のポイント

これも読解です。基本的には、問題Ⅰ、Ⅱと同じような練習が必要です。選択肢にまちがいやすいものもありますので、注意してよく読みましょう。

問題Ⅳ

■問題の形式と傾向

30~40字ぐらいの短い文の＿＿＿に適当なことばを選んで入れる問題で25問ぐらい出ます。形式は語彙の問題とよく似ています。

例）次の文の＿＿＿にどんなことばを入れたらよいか。1・2・3・4から最も適当なものを一つえらびなさい。

（1）おかしいな。地図＿＿＿、この先は行き止まりだ。
1　によると　　2　にかぎって　　3　に基づいて　　4　に応じて

問題には次のようにものがあります。
1　助詞（は・が・に・で・を・その他）に関するもの
2　動詞や形容詞などの活用に関するもの
3　副詞（とても・ぜんぜん・まったく、その他）に関するもの
4　「～ておく」「～てある」「～てみる」「～てしまう」などのようなことに関するもの
5　やりもらい（～にもらう・～が～てくれる、その他）や敬語（おっしゃる・申す、その他）
6　接尾語（暑さ・書きやすい、その他）

■準備のポイント

文法については、意味・使い方とともに例文で覚えるようにするといいでしょう。参考書に出ている例文を覚えたり、自分でも正しい文をたくさん作る練習をしたりするのもいいと思います。また、3・4級の基礎的なもの（～う・よう、～せる・させる、～れる・られる、～させられる、～される）もじゅうぶん復習し、意味と使い方を理解しておくことが大切です。
『日本語能力試験出題基準』を参考に学習するのもいいと思います。

問題Ⅴ

■問題の形式と傾向

問題Ⅴの形式は問題Ⅳと似ていますが、その文の意味を決定する重要な部分が＿＿＿になっています。そこにいいと思うものをえらんで入れる問題です。文は問題Ⅳより長めです。前半と後半に分かれていて、文が二つになることもあります。

例）（1）自分に自信が持てない人というのは、自分を愛せないばかりか、本当の意味で他人を＿＿＿ものだ。
1　愛していることがある　　2　愛した
3　愛せないことはない　　4　愛することもできない

問題には次のようなものがあります。
1　前半が後半の結論や結果をいうための理由をいっているもの
例　「～したばかりに～」、「～するからには～」、「～だけあって～」、その他

2　前半でいっていることに対して、後半が意外な結論を出しているもの
例　「～といっても～」、「～にしては～」、「～といいながら～」、その他
3　前半と後半が決まったいい方で結んであるもの
「ぜんぜん　～ない」、「～というのは～ことだ」

■準備のポイント

文の前半と後半を接続していることばを見てください。後半の＿＿＿に入れるためのヒントが文の前半です。参考書や教科書の例文を参考にして、文の前半と後半の意味の関係性を理解しましょう。この問題も、自分でたくさん例文を作るといいと思います。

参考に『日本語能力試験出題基準』を使うといいと思います。

問題Ⅵ

■問題の形式と傾向

問題Ⅵは、問題Ⅳや問題Ⅴとよく似ています。文はもう少し長くなります。選択肢も単語ではなく、文になります。この問題は、読解的な力が必要ですので、動詞の活用より、文の内容の理解を必要とします。問題数は5題ぐらいです。

例　（1）先日彼女の手料理をごちそうになったが、どれも＿＿＿＿。あれで料理学校に3年も通ったというのだろうか。

1　食べすぎてしまった　　2　食べきれなかった
3　食べられないことはなかった　　4　食べられたものではなかった

■準備のポイント

まず、＿＿＿にどんな表現が入るか考えながら文を全部読みます。＿＿＿の前の文と後ろの文の意味の関係を理解し、自分の考えた表現と同じ内容のものをえらびます。選択肢を一つ一つ＿＿＿に入れて読んでみる方法もありますが、この方法は4回も読まなければならなくなるので、時間がかかります。しかし、問題の文の内容や意味がわからないときには、この方法もいいかもしれません。そのときには四つの選択肢の性質をよく見てください。一つだけ性質の違ったものがあったら、まず、それを＿＿＿に入れて読んでみて考えてください。この問題の練習にも『日本語能力試験出題基準』が参考になると思います。

■全体の注意点とアドバイス

・問題Ⅰ～Ⅲについて

ゆっくりていねいに読みたいと思うでしょうが、試験は時間が限られています。一つの方法として、問題を最初に読んでから、その答えを考えながら読むということがあります。また、本文の最後に書かれている、筆者の名前、タイトル、出版社名（本を出した会社の名前）を参考にするといいと思います。タイトルを見るだけでも、どんなことが書かれているかわかることがあります。また、本文と問いの間に、「注」があります。難しいことばで、本文の理解に必要だと思われるものには、簡単なことばで説明がついていますので、最初に見ておいてください。最初に見ておいたほうが、本文を読むときにわかりやすいからです。

また、ニュースやいろいろな情報について知識を持つように心がけておくことが大切です。文法面で少しくらいわからないところがあっても、知識があればそれを補えるからです。そして、読解が苦手な人も日本語の読み物を読む習慣をつけておくことをすすめます。短い時間で長い文をいくつも読むのは、とてもたいへんだからです。

・問題Ⅳ～Ⅵについて

同じような問題をあつかった参考書や問題集が出ていますので、たくさん試してみることです。日本語の基礎的な文法（4・3級）を復習しておくことも大切です。2級は、この基礎知識を使ったいろいろな高度な表現が要求されます。わからない問題があっても、じっくりそれを考えていないで、次に進みます。わからないところは、後でもう一度考えるようにすると、時間配分もうまくいくと思います。後で考えようと思ってとばした問題を忘れないようにしましょう。解答欄もまちがえないようにしてください。

・その他

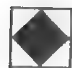
試験の時間は短すぎるくらいなので、自分の得意なところからやっていくのも一つの方法です。いくら考えてもわからないものには、あまり時間をかけないでください。まったくわからない問題があっても、「これかな」と思うものをえらんでおきましょう。

日本語能力試験

2級模擬テスト

第1回

文字・語彙（100点　35分）………26
聴　　解　（100点　40分）………31
読解・文法（200点　70分）………38



文字・語彙　（100点　35分）

問題Ⅰ　次の文の下線をつけた言葉（ことば）は、どのように読みますか。その読み方をそれぞれの１・２・３・４から一つ選びなさい。

問１　小型(1)の衛星（えいせい）を使って、どこへでも文字情報や電子メールを送る新しい通信(2)サービスが始まる。

（1）小型	1　しょうけい	2　しょうがた	3　こけい	4　こがた
（2）通信	1　とおじん	2　つうしん	3　つうじん	4　とおしん

問２　北海道はここ数日(1)春のような陽気(2)が続き、動物園の北極(3)グマも３月下旬(4)並みの暖かさに誘われ日光浴（にっこうよく）を始めた。

（1）数日	1　すうび	2　すうにち	3　すうじつ	4　すうひ
（2）陽気	1　ようき	2　ようぎ	3　ようけ	4　ようげ
（3）北極	1　ほくきょく	2　きたきょく	3　ほきょく	4　ほっきょく
（4）下旬	1　げじゅん	2　げしゅん	3　かじゅん	4　かしゅん

問３　自転車は通勤(1)や買い物、サイクリングなど生活のさまざまな場面(2)で活躍(3)する便利な乗り物です。そのうえ、無公害(4)で、健康づくりにも貢献(5)してくれます。

（1）通勤	1　つぎん	2　つうぎん	3　つうきん	4　づうぎん
（2）場面	1　じょめん	2　ばめん	3　じょうめん	4　はめん
（3）活躍	1　かっやく	2　かっやぐ	3　かつやぐ	4　かつやく
（4）無公害	1　ぶこうがい	2　むこうがい	3　ぶこがい	4　むこがい
（5）貢献	1　こうけん	2　こけん	3　こうげん	4　こっけん

問４　台風は発達(1)しながら北上(2)を続けている。沖縄（おきなわ）地方は午後から風雨(3)が強まり、気象庁（きしょうちょう）は５時過ぎに注意報(4)を出した。

（1）発達	1　はつたつ	2　はっだつ	3　はったつ	4　はんたつ
（2）北上	1　きたじょう	2　ほくうえ	3　ほくじょう	4　きたうえ
（3）風雨	1　ふうう	2　かぜあめ	3　かぜう	4　ふうあめ
（4）注意報	1　ちゅういぼう	2　ちゅういぽう	3　ちゅいほう	4　ちゅういほう

問５　この本の著者(1)の講演会(2)が２日午後３時から開かれます。この講演会で著者は先住民(3)との生活経験を話し、自然との共生(4)の大切さを訴える(5)そうです。

（1）著者	1　しきしゃ	2　ちゃしゃ	3　ちょしゃ	4　じょしゃ
（2）講演会	1　こうえんがい	2　こえんかい	3　こうえかい	4　こうえんかい
（3）先住民	1　せんじゅうみん	2　せんじゅみん	3　せんじょうみん	4　せじゅみん
（4）共生	1　きょうせい	2　ともせい	3　きょういき	4　ともいき
（5）訴える	1　となえる	2　うえる	3　うったえる	4　うたえる

問題Ⅱ　次の文の下線をつけた言葉（ことば）は、どのような漢字を書きますか。その漢字をそれぞれの１・２・３・４から一つ選びなさい。

問１　こうさてん(1)で車同士のしょうとつ(2)事故があったが、運転手はぶじ(3)だった。

（1）こうさてん	1　郊差点	2　交差点	3　校差点	4　効差点
（2）しょうとつ	1　衝突	2　衡空	3　衝空	4　衡突
（3）ぶじ	1　不事	2　無事	3　負事	4　普事

問２　ごみを川に捨てたら、川岸（かわぎし）など、そのしゅうへん(1)のかんきょう(2)があっか(3)する。それがわかっていても、ごみの行き先にまで気をくばる(4)人は少ない。

（1）しゅうへん	1　周辺	2　週辺	3　週囲	4　周囲
（2）かんきょう	1　環鏡	2　環境	3　還境	4　還鏡
（3）あっか	1　悪過	2　悪科	3　悪下	4　悪化
（4）くばる	1　分る	2　配る	3　酒る	4　譲る

問３　日本は戦後、工業せいひん(1)を大量せいさん(2)、大量しょうひ(3)する時代をむかえた(4)。

（1）せいひん	1　製品	2　制品	3　整品	4　成品
（2）せいさん	1　成産	2　生産	3　精算	4　清算
（3）しょうひ	1　少費	2　小費	3　削費	4　消費
（4）むかえた	1　迎えた	2　会えた	3　向えた	4　逃えた

問4　けいさつによると、連休中、けいび(1)のたいしょう(2)にしているぎょうじ(3)は、市内で5カ所あるそうだ。

(1) けいび　1 警戒　2 警備　3 驚戒　4 驚備
(2) たいしょう　1 対象　2 対照　3 対称　4 対処
(3) ぎょうじ　1 行司　2 業司　3 行事　4 業事

問5　私は、のうやく(1)を使わないでさくもつ(2)を作り、はんばい(3)もしています。

(1) のうやく　1 能薬　2 農薬　3 濃薬　4 納薬
(2) さくもつ　1 作物　2 咲物　3 作持　4 咲持
(3) はんばい　1 販売　2 売買　3 版売　4 購買

問6　ふけいき(1)で、しつぎょうしゃ(2)が1万人をこえた(3)。

(1) ふけいき　1 不況気　2 不景気　3 不計気　4 不経気
(2) しつぎょうしゃ　1 失業昔　2 矢業者　3 失業者　4 矢業者
(3) こえた　1 超えた　2 越えた　3 過えた　4 起えた

問題Ⅲ　次の文の＿＿＿の部分に入れるのに最も適当なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1) 病院に入院しても、私の病気は＿＿＿よくならない。
1 いっこうに　2 ますます　3 いよいよ　4 さらに

(2) ライバル（競争）会社の人に、会社の秘密を教えてほしいと頼まれたが、＿＿＿断った。
1 すっきり　2 さっぱり　3 どっきり　4 きっぱり

(3) 才能に＿＿＿Aさんは、10代で有名な音楽家になった。
1 よかった　2 恵まれた　3 あった　4 豊かだ

(4) 愛する子供に死なれて、母親は＿＿＿白髪が増えた。
1 やっと　2 とんと　3 めっきり　4 たまに

(5) 社長は気が＿＿＿ので、社員は怒られないように早め早めに仕事を片付けている。
1 小さい　2 短い　3 太い　4 やさしい

(6) うどんの＿＿＿で、めがねがくもってしまった。
1 ゆげ　2 けむり　3 熱　4 きり

(7) 結婚式に行くのに、そんなに古い靴では＿＿＿よ。
1 めずらしい　2 やさしい　3 ものすごい　4 みっともない

(8) 外国語ができると、就職に＿＿＿だ。
1 有効　2 有利　3 得意　4 便利

(9) すぐ帰るつもりだったのに、＿＿＿夕飯までごちそうになった。
1 ひきだされて　2 ひきとめられて　3 ひきとられて　4 ひきうけられて

(10) 楽しみにしていたボーナスがとても少なかったので、がっかりして＿＿＿が出た。
1 いびき　2 せき　3 あくび　4 ためいき

(11) 部下の失敗の＿＿＿をとって、部長は会社をやめた。
1 信頼　2 責任　3 態度　4 損害

(12) そんなにセーターを＿＿＿、のびてしまうよ。
1 つまんだら　2 とったら　3 ひっぱったら　4 あんだら

(13) 道に迷わないように、木の枝に＿＿＿をつけた。
1 目的　2 めあて　3 めじるし　4 メモ

(14) 海に＿＿＿と、きれいな魚がたくさんいた。
1 泳ぐ　2 もぐる　3 しずむ　4 つかる

(15) キャンプは雨のため、来週に＿＿＿になった。
1 延長　2 再開　3 再生　4 延期

問題Ⅳ　次の（1）から（10）は、言葉の使い方を説明したものです。その説明にあう言葉を1・2・3・4から一つ選びなさい。

（1）注意するように知らせるための音。

1　サイン　2　サイレン　3　チャンス　4　サービス

（2）元の大きさより小さくなる。

1　ちぢむ　2　のびる　3　とじる　4　へこむ

（3）とても小さい声で言う。

1　さけぶ　2　どなる　3　うなずく　4　ささやく

（4）話をしたり、いっしょにいたりすることで、悲しんでいる人が元気が出るようにする。

1　もちあげる　2　なぐさめる　3　役立つ　4　立ち上がる

（5）注意しなければならないことを、十分に注意しない。

1　慣れる　2　判断する　3　油断する　4　ゆずる

（6）がまんできないほど、うるさい。

1　すばらしい　2　やかましい　3　はなやか　4　もったいない

（7）自信がなくて、実行できないでいる状態。

1　ためらう　2　止まる　3　ながめる　4　抜ける

（8）少し冷たくて湿気のない空気が気持ちのいいようす。

1　すなお　2　さわやか　3　おだやか　4　しなやか

（9）失敗のこと。

1　ミス　2　ミリ　3　マッチ　4　マイナス

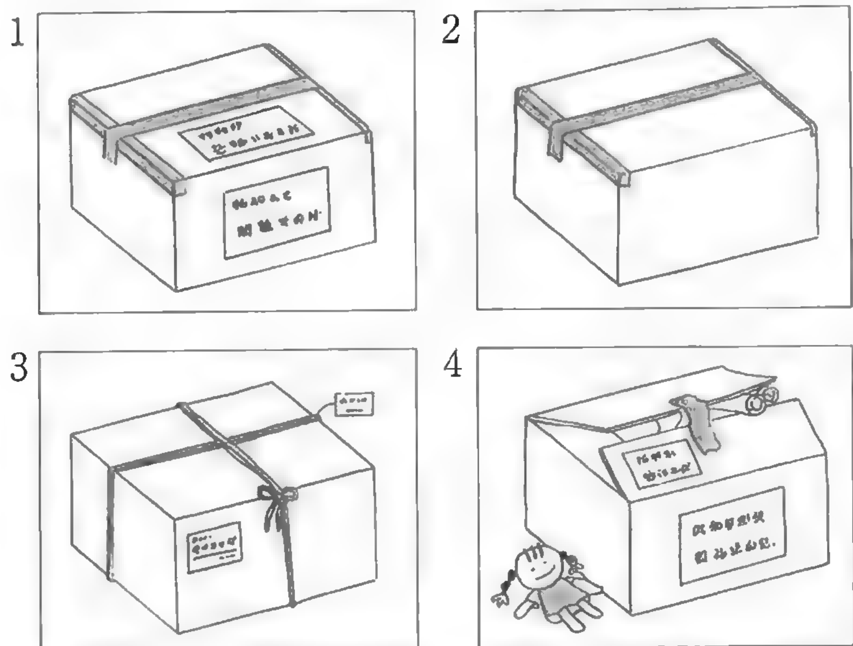
（10）傾き方が急ではないようす。

1　のどか　2　はげしい　3　のんびり　4　なだらか

聴解　（100点　40分）

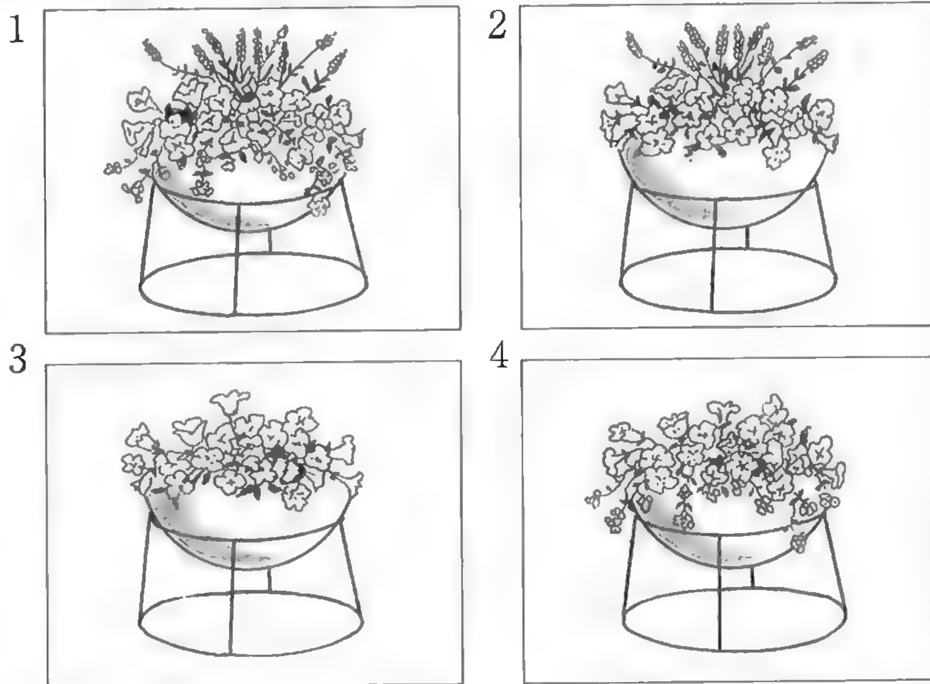
問題Ⅰ

例

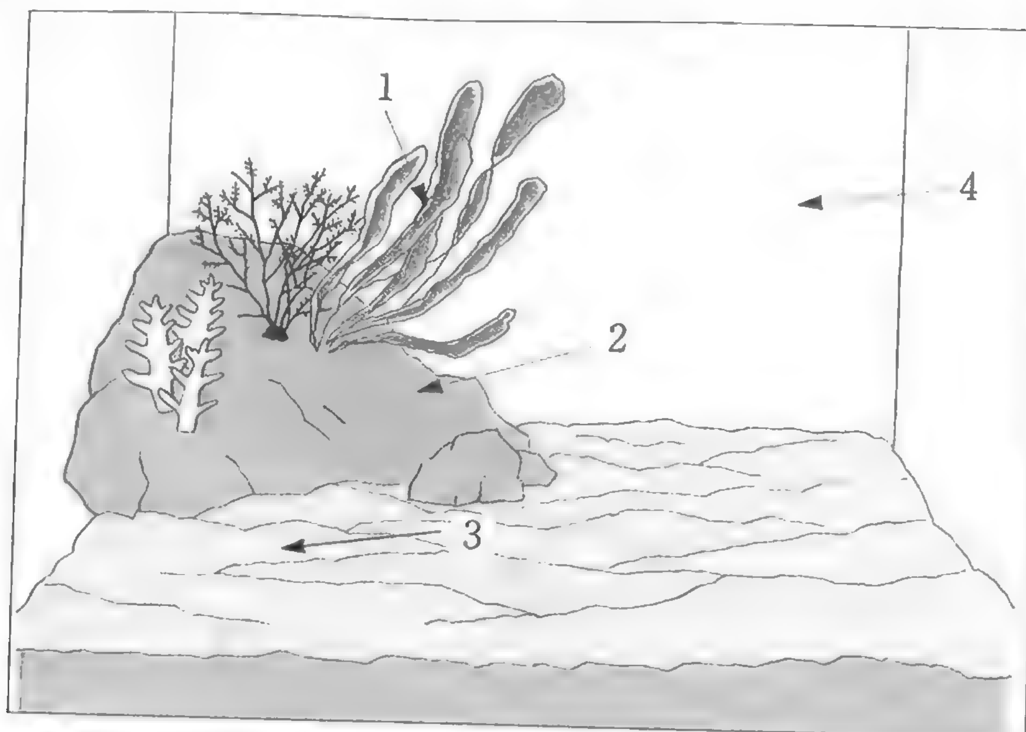


	問題 Ⅰ			
例	●	②	③	④
1　番	①	②	③	④

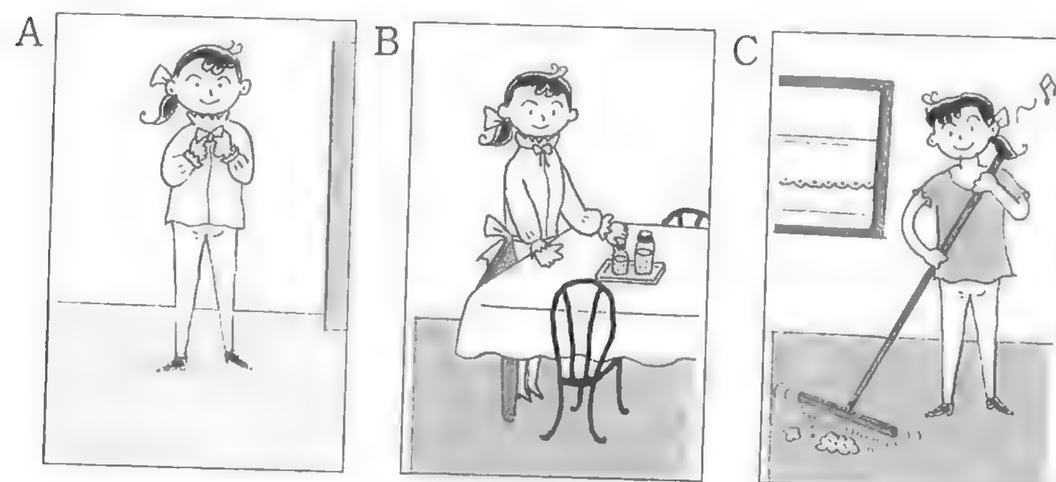
1番



2番

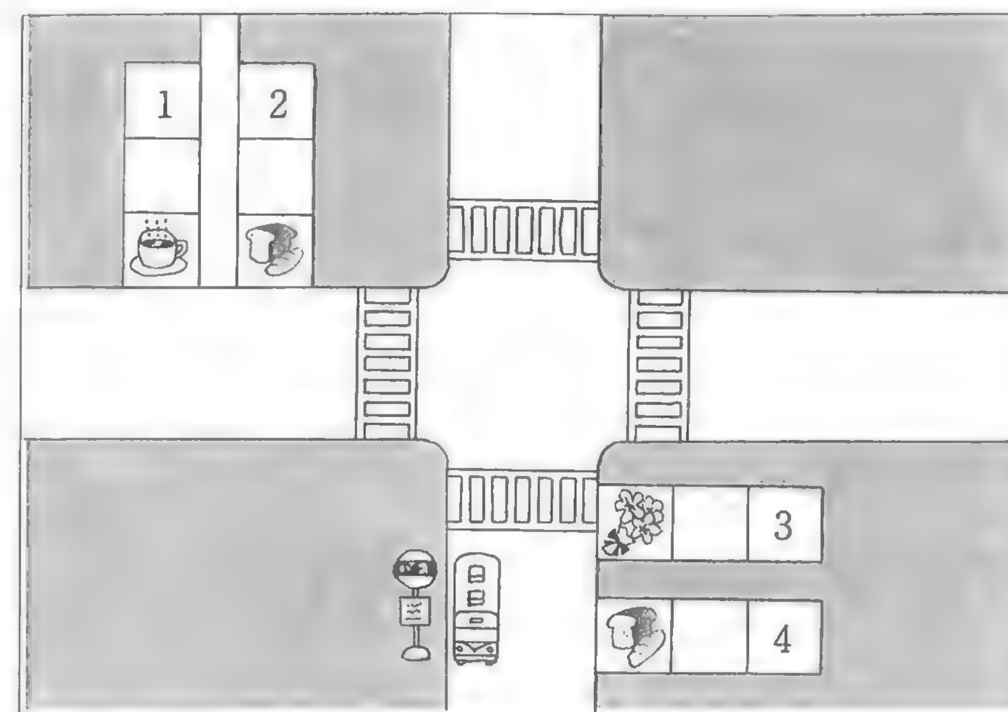


3番

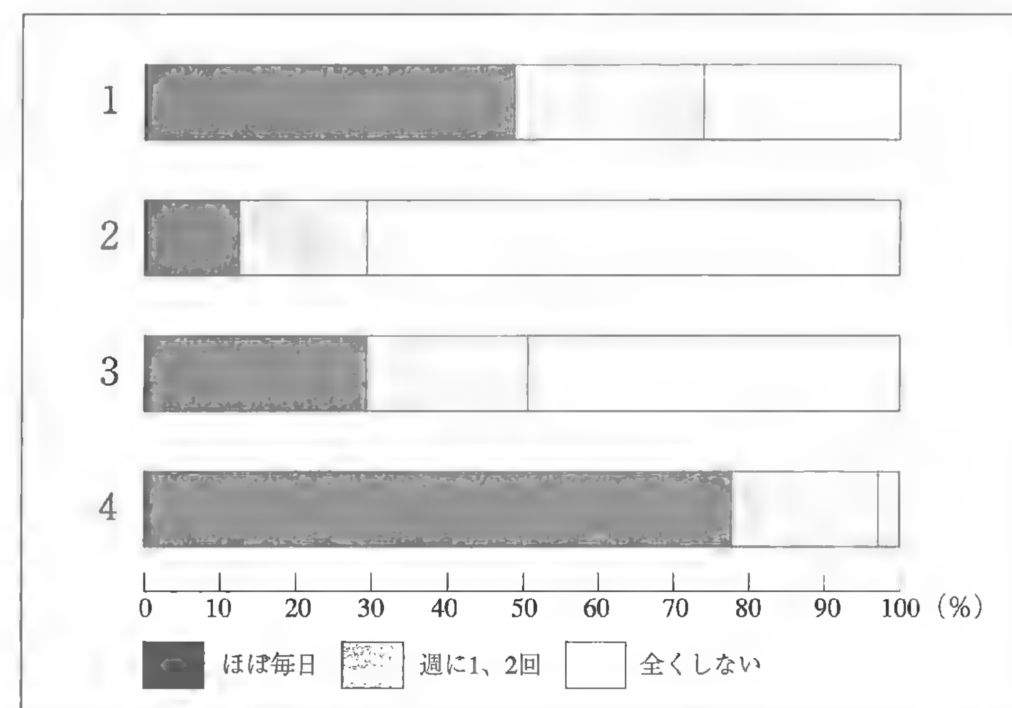


1　A → B → C
2　A → C → B
3　C → A → B
4　C → B → A

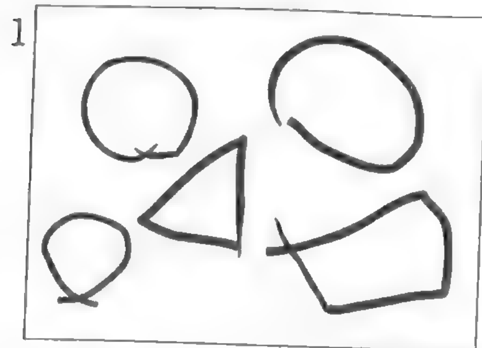
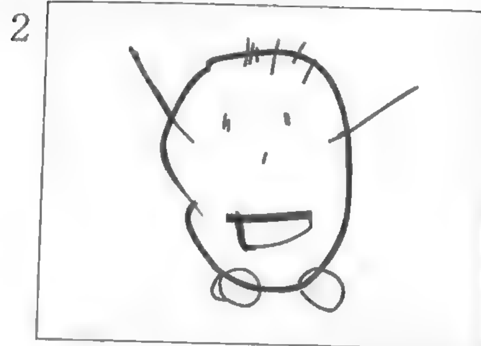
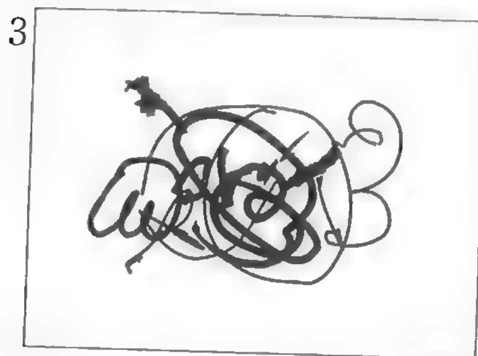
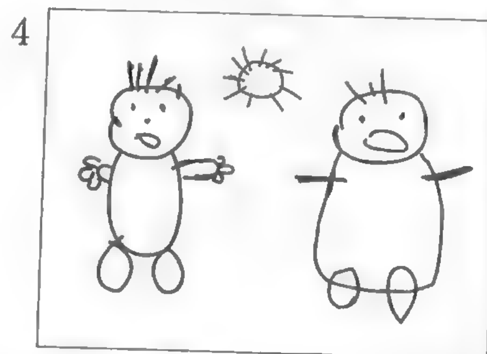
4番



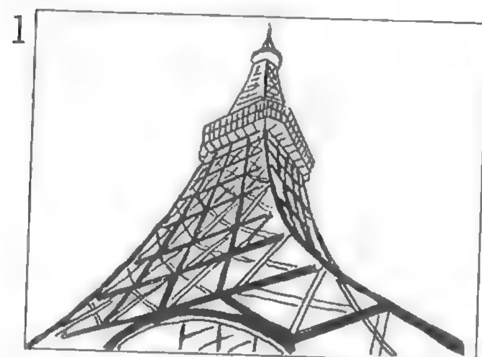
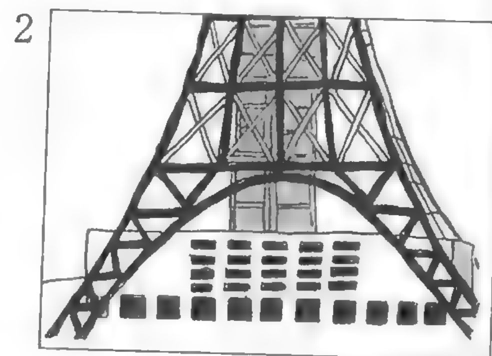
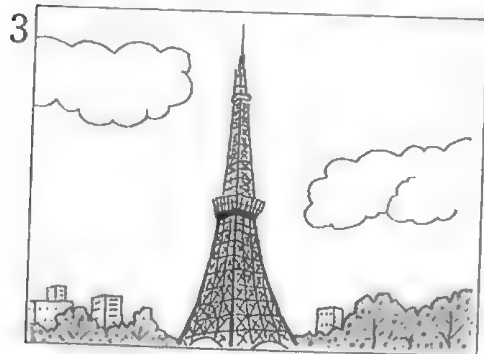
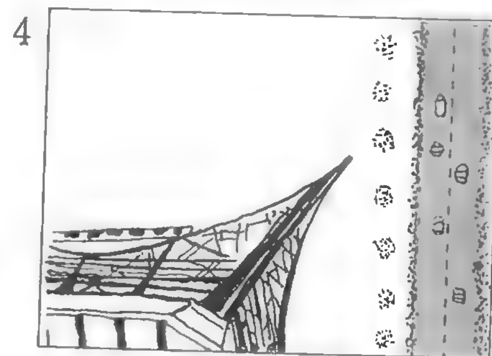
5番



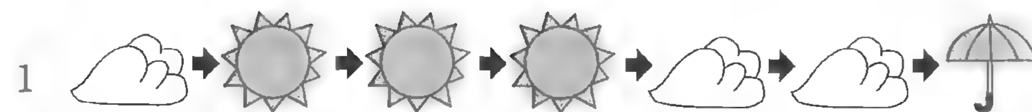
6番

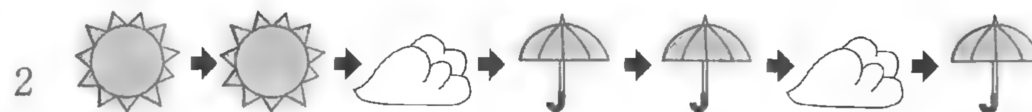
1

2

3

4


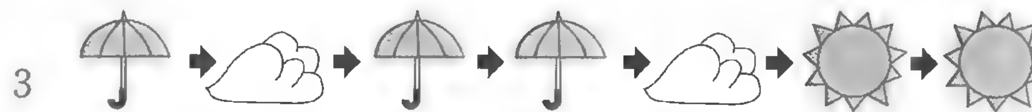
7番

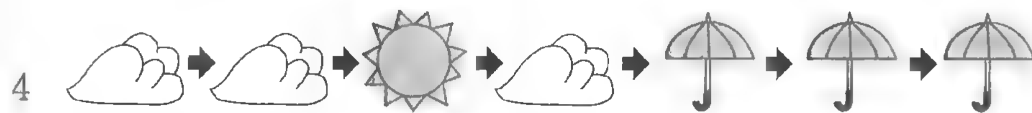
1

2

3

4


8番

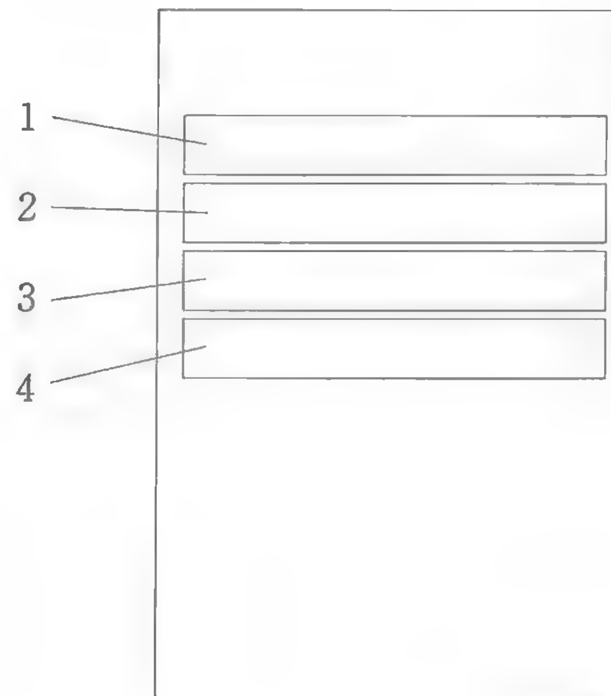
1 

2 

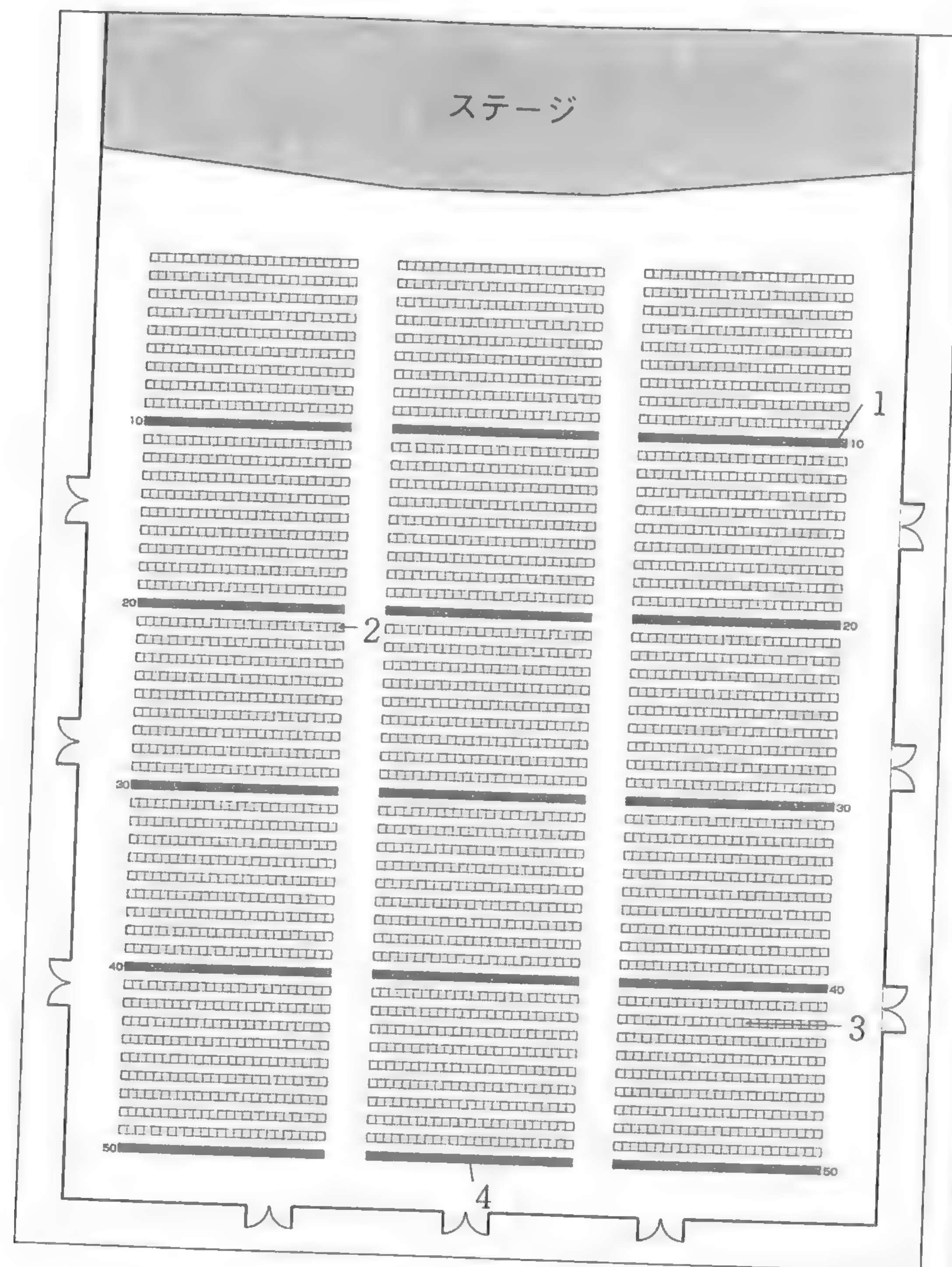
3 

4 

9番



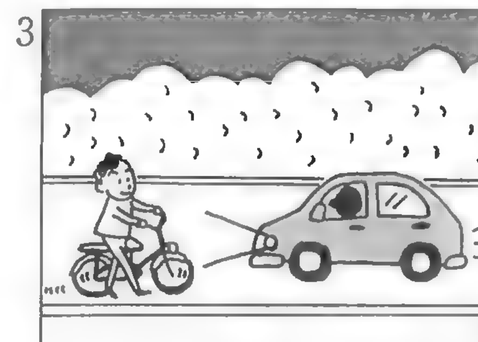
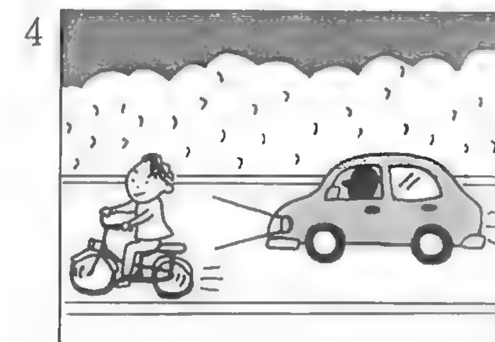
10番



11番

1

2

3

4


問題Ⅱ

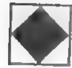
例

		問題Ⅱ		
例 正しい	①	②	●	④
例 正しくない	●	●	③	●
1 正しい	①	②	③	④

1番　2番　3番　4番　5番

6番　7番　8番　9番　10番　11番

12番　13番



読解・文法　(200点　70分)

問題Ⅰ　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

パソコンは書斎(注1)である、パソコン(注2)があればどこでも書斎だ！　という話からはじめましょう。

書斎を持つことは一つの夢だといいます。夢とは手に入らないことの裏返しの表現かもしれません。書斎のイメージは、大きな机と大量の本でしょう。もちろん部屋がいります。しかし、現実にはそうした空間①は高価です。大都会の生活者にとっては、第一に住居費が高くて物理的に手に入らない要素が大きく、第二に入手できても長い勤務時間や夜の付き合いや通勤に時間をとられて、書斎に落ち着く余裕がありません。それでもあなたは書斎にこだわりますか？

一般の知識職業人にとって、書斎の本当の姿②は、こんなスタティック（静的）なものではありません。もっとダイナミックに使うもの、動きのあるものです。知的活動は、いろいろな場で行ないます。朝の通勤電車では、その日の予定を考えることも多いでしょうが、仕事と無関係の本も読みます。喫茶店では商談もしますが、昨日読んだ本のメモもとります。（　③　）、通勤電車や新幹線の座席も、喫茶店の片隅も書斎です。自宅ならテレビの前も書斎です。

そう納得すれば④、沢山の資料つきの巨大な書斎を簡単に手に入れる方法があります。パソコンです。パソコンには大きな机はいりません。資料を広げなくても画面に出せます。ノートパソコンなら携帯(注3)できます。電車の中や喫茶店の片隅が、充実した書斎になるのです。

書斎を使うとは和服を着て大きな机の前にすわることではなくて、通勤電車の中で本を読むことだという立場をとっても、差が一つあります。資料です。「本物の」書斎には、蔵書(注4)・辞書・年鑑はもちろん、自分の資料・手紙・日記などもそろっています。そういうものを自由に使えることが書斎の価値ですが、喫茶店ではこうはいきません。知的作業には資料が必要です。書斎は資料の置き場所であり、資料を使う場所なのです。

書斎といえば、偉い学者や大文豪(注5)を思いうかべます。その人たちの書斎は、ただやみくもに思索(注6)した場所ではありません。資料をおき、整理し、資料を使用した場所が書斎です。そうした環境が書斎です。

パソコンを使えば、この環境⑤が手に入ります。パソコンに蓄積(注7)できる情報量は途方(注8)もない分量で、個人の資料のかなりの部分をおけます。しかも、その情報が使いやすく、検索(注9)しやすいのが決定的な利点⑥です。

（諏訪邦夫『パソコンをどう使うか』中公新書による）

（注1）書斎：本を読んだり、文を書いたりするための部屋
（注2）パソコン：パーソナルコンピューターの略、小型のコンピューター
（注3）携帯できる：持ち運べる
（注4）蔵書：持っている本
（注5）大文豪：偉大な作家
（注6）ただやみくもに思索する：ただ考えてばかりいる
（注7）蓄積できる：たくわえておける、貯めておくことができる
（注8）途方もない：ものすごく（多い）
（注9）検索しやすい：探しやすい

問1　①「そうした空間」とあるが、どんな空間か。

1　パソコンのある部屋
2　大きな机と大量の本が置ける部屋
3　大都会の住居
4　落ち着いた書斎

問2　②「書斎の本当の姿」とあるが、筆者の考える書斎とはどんなものか。

1　本や資料をしまっておく部屋
2　朝の通勤電車や喫茶店
3　知的活動が行なわれるいろいろな場所
4　和服を着てすわる大きな机のある部屋

問3　（　③　）に入る言葉として、最も適当なものはどれか。

1　しかし　　2　ところで　　3　ところが　　4　つまり

問4　④「そう納得すれば」とあるが、だれが納得するのか。

1　書斎　　2　パソコン　　3　わたし　　4　あなた

問5　⑤「この環境」とあるが、どんな環境か。

1　落ち着いて思索するのに適した環境
2　資料をおき、整理し、使用するのに便利な環境
3　偉い学者や大文豪の使った書斎
4　知的作業を行うのに適した静かな環境

問6　パソコンを使う⑥「決定的な利点」とは何か。

1　情報が早く手に入ること
2　情報が安く手に入ること
3　情報が使いやすく、すぐ探せること
4　情報が非常に沢山しまっておけること

問7　筆者が最も言いたいことは次のどれか。

1　パソコンを使えば、いつでもどこでも書斎にいるように知的作業が行える
2　書斎を持つことは日本の都会ではとても無理なので、あきらめたほうがよい
3　通勤電車の中でも知的作業が行えるので、書斎を持つ必要はまったくない
4　パソコンを買うならノートパソコンがよい

問題Ⅱ　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

（A）

僕は生まれてからずっと、東京に住んでいる。といっても、子どもの頃住んでいたのは東京の田舎だし、いま住んでいるのは川崎市だ。まあ、「東京通勤圏」に住んでいる、というほうが正しい。東京は便利なところだけれど、いろいろ辛いことがあって、たとえばその一つとして通勤地獄(注1)がある。①常識では考えられないような密度(注2)で人間を箱に詰め込んで、一時間以上にわたって運ぶという非常識なことをやらざるを得ない。それでも足りなくて、列車の本数を増やしまくり、ラッシュ時(注3)には数分おきに電車が走るということになる。

（B）

また、これほど混雑してくると、②人の乗り降りにかかる時間が馬鹿にならなくなる。そこで、在京(注4)の私鉄のA社とB社では、人が素早く乗り降りできるようにドアを改良することにした。素早く乗り降りできるようにするためには個々の車両の出口を増やすか大きくしてやれば良い。③A社はドアの数はそのまま（一車両当たり片側四つ）で一つ一つのドアを大きくした。④B社はドアの大きさを変えずにドアの数を増やした（片側五つ）。なんとなく、どちらでもいいように思える。ところが、結果はB社はうまくいって乗り降りの時間が短縮されたが、A社はうまくいかず、むしろ余計に時間がかかるようになってしまった！　全く不思議な話だ。

（C）

もし、これが満員電車ではなくて統制(注5)のとれた軍隊とかだったらこんなことは絶対に起きない。あらかじめ順番を決めておいて、ドアの幅にちょうど合うだけの人数ずつ横にならんで次々と乗り降りすることにすれば、（　⑤　）、などということはあり得ない。満員電車ではこのような意志の疎通(注6)がなく、個々人が勝手にドアに向かって突進する。

（D）

（田口善弘『砂時計の七不思議』中公新書による）

（注1）通勤地獄：通勤が辛くて大変であること
（注2）密度：ものがつまっている程度
（注3）ラッシュ時：通勤や通学で交通機関が込む時間帯
（注4）在京の私鉄：東京にある、企業の運営する鉄道
（注5）統制のとれた：集団の中で個人が、ある決まりに従って行動しているようす
（注6）意志の疎通がなく：気持ちが通い合わなくて

問1　次の文章は、文中の（A）、（B）、（C）、（D）のどこに入ると考えられるか。

> さて、それでも足りないとなると、どうするか。いろいろな手がある。たとえば、ＪＲ山手線では座席を折り畳み式にし、ラッシュ時には座席をたたんで人が立てるスペースを広くして、もっといっぱい乗れるようにした。

1　（A）　2（B）　3（C）　4（D）

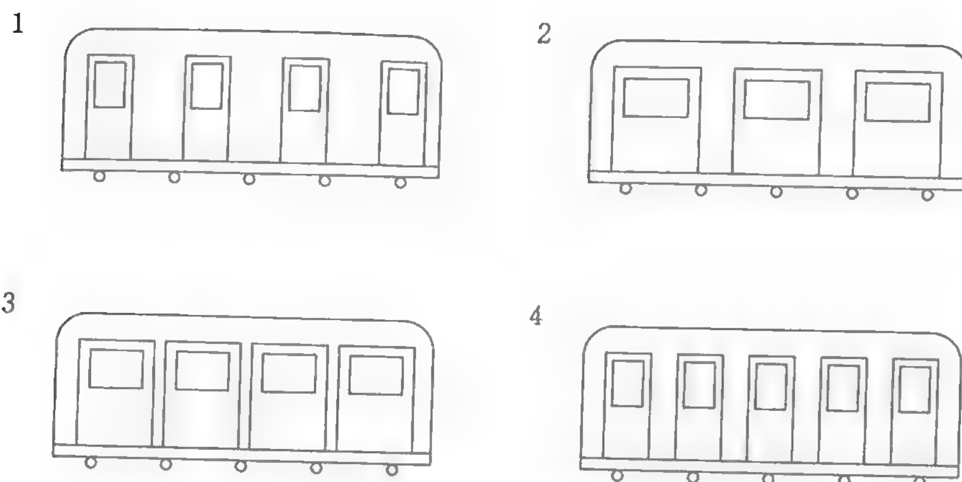
問2　①「常識では考えられないような密度で人間を箱に詰め込んで」とあるが、この場合の「箱」とは何のことか。

1　物をしまっておくふたのある入れ物
2　鉄道の車両
3　四角い形
4　三味線という日本独特の楽器

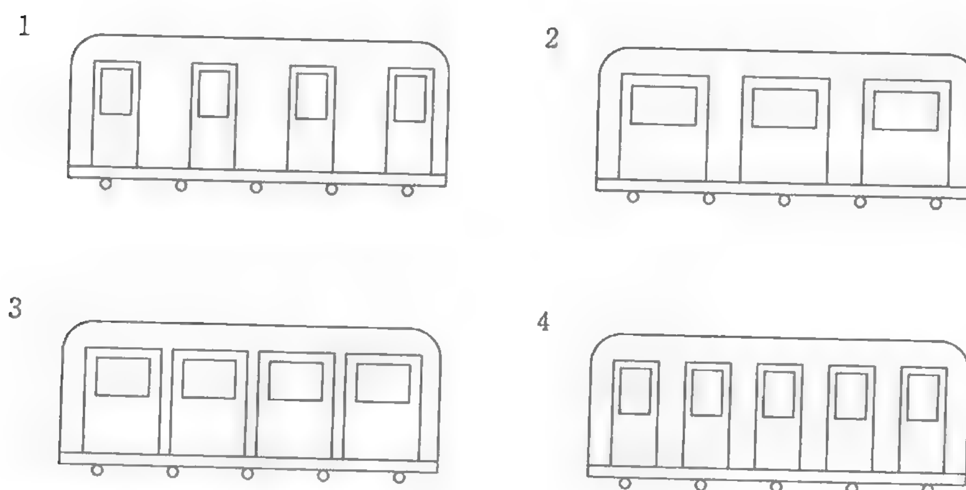
問3　②「人の乗り降りにかかる時間が馬鹿にならなくなる」とあるが、ここではどういう意味か。

人の乗り降りの
1　1回にかかる時間は短いので問題にならない
2　1回にかかる時間は長いが、合計するとなぜか短くなるので問題だ
3　1回にかかる時間も短いが、合計しても短くて問題にならない
4　1回にかかる時間も長いが、合計するともっと長くなって問題だ

問4　③「A社のドアの数はそのまま（一車両当たり片側四つ）で一つ一つのドアを大きくした」とあるが、どんな車両になったのか。



問5　④「B社はドアの大きさを変えずにドアの数を増やした（片側五つ）」とあるが、どんな車両になったのか。



問6　人の乗り降りにかかる時間を短くできたのは、どの車両か。

1　ドアを大きくした車両
2　ドアの数を増やした車両
3　ドアを大きくしたかわりに数を減らした車両
4　ドアを小さくしたかわりに数を増やした車両

問7　（　⑤　）には、次のうちどれが入るか。

1　ドアの幅が広くなっても乗り降りがはやくならない
2　ドアの幅が狭くなっても乗り降りがはやくならない
3　ドアの数が増えても乗り降りがはやくならない
4　ドアの数が減っても乗り降りがはやくならない

問題Ⅲ　次の（1）～（6）の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

（1）人は自分の中にいろんな人間を抱え込んでいる。役者になろうと決心してから、おれはその作業を意識的にやってきた。ささいなことでは、劇団を組んだ仲間のひとりに、やたら〔　　　　　〕を連発(注1)する人がいた。何かあるたびに〔　　　　　〕と人に頭を下げる。その行為だけで、非常に人当たり(注2)がよく見えた。人に頭を下げることの苦手なおれは、彼を見ているうちに、こういうふうにやってみたらどうかなと、試してみることにした。それで事が丸く収まると、なるほど、こんな簡単なことで、今までぎくしゃくしていたことがスムーズに進むこともあるのだと感心した。

（唐沢寿明『ふたり』幻冬社による）

（注1）連発する：何度も言う
（注2）人当たり：他人に対する態度、他人に与える感じ

【問い】この文章の〔　　　　〕の部分には、次のうちのどれが入るか。

1　「いらっしゃいませ」
2　「おめでとうございます」
3　「お元気ですか」
4　「すみません」

（2）医療の現場では、とりあえず15歳以下を子どもとして扱い、小児科(注1)の診察対象としている。おおざっぱに、中学生まではまだ子どもということだ。

内科医(注2)だったぼくの経験から言えば、中学生はたしかに子どもだと思う（いろんな意味で）が、こと病気に関するかぎり、ほとんど内科的な考え方で診療できる。小学生も、

高学年ならなんとかなる。低学年も、やや苦しいところはあるが、まあ、なんとかなる。お手上げなのは乳児（生後一年未満の赤ん坊）だ。これは恐くて手がだせない。

（永井明　岩波ジュニア新書183『もしも病気になったら』岩波書店による）

（注１）小児科：子どもの病気を専門にあつかう分野

（注２）おおざっぱに：細かいことは考えないで

【問１】筆者は医者である。専門は何か。

1　内科　　2　小児科　　3　小児科と内科　　4　特にない

【問２】筆者が診察することができないのは次のどれか。

1　中学生

2　小学校の高学年

3　小学校の低学年

4　乳児

（３）ある有名な野球監督が、現役（注１）中、少なくともゲーム中には、実に無表情で誰に対してもニコリともしないということで、有名だったそうです。それが引退（注２）してから、ある新聞記者の問いに答えて、ある人間に笑顔を見せたということになると、その人には親しみを持っているけれども他の人間にはそうでないということの表示になる、だから自分は、現役のあいだは、選手の個々と常に全部同じ距離を持っているということを示すために、表情を変えなかったんだということを言ったそうです。

これは管理という行為を見事にあらわしているエピソード（注３）だと思いますが、人と人がふれ合って理解していくことを殺す作業であることははっきりしています。そこでは部下の“性格”理解は支配し操作する技術の一部となる。そればかりか、管理のための行為のくり返しが、管理者の性格を限定し作り出していく。

（竹内敏晴『からだが語ることば』評論社による）

（注１）現役：仕事をしていること

（注２）引退する：年をとって仕事をやめること

（注３）エピソード：話

【問い】この文章では、「管理する」とはどういうことか。

1　上のものが下のものを支配し操作すること

2　人と人がふれ合って理解し合うこと

3　監督が選手の世話をすること

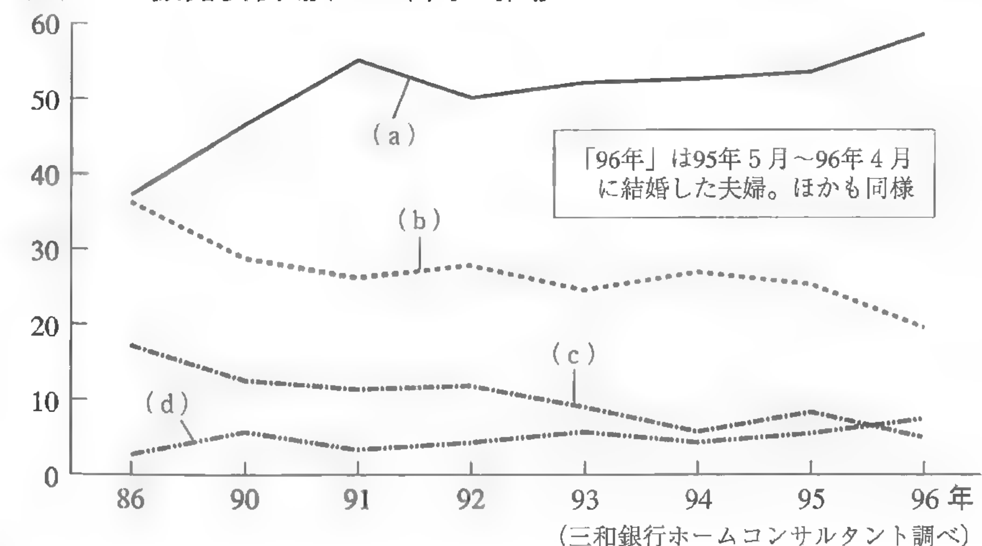
4　上司が部下の性格を理解すること

（４）次のグラフは、この十年間の日本人の結婚式と披露宴（注１）の会場について調べたものです。この調査を始めた86年にホテルで式を挙げた人は、全体の37.2％で専門の一般式場で式を挙げた人に代わって初めて首位に立ちました。ホテル派はその後も首位を保ち、96年には58.4％に達しました。一方、式場派は19.5％に減っています。

また86年には2.7％しかいなかったレストランで式を挙げる人は、10年で約３倍の7.4％に増え、公民館などの公共施設を抜いて第３位になりました。レストランで式を挙げた人に理由をきくと、「ホテルや式場に比べて堅苦しくないし、失礼でもない」「みんなにおいしい料理を楽しんでもらいたかった」などの答えがかえってきます。レストラン派が増えた背景には、慣習（注２）や制度を完全に否定するわけではなく、かといってそれにしばられることもない、コミュニケーション重視の若い世代の考え方があるようです。

（注１）披露宴：結婚式の後のパーティー

（注２）慣習：むかしからきまっているやりかた



（三和銀行ホームコンサルタント調べ）

【問い】グラフを見て、（a）（b）（c）（d）にはそれぞれ何が入るか。次の組み合わせの中で正しいものを選びなさい。

1	a：ホテル	b：一般式場	c：公共施設	d：レストラン
2	a：ホテル	b：一般式場	c：レストラン	d：公共施設
3	a：ホテル	b：レストラン	c：一般式場	d：公共施設
4	a：一般式場	b：ホテル	c：レストラン	d：公共施設

（5）　下のA～Cは、それぞれア、イ、ウのどこかに入る文です。

ヨーロッパの人たちが、レストランなどでお互いに別のものをオーダー(注1)して、食べ比べを楽しんでいる風景をよく見かける。

ぼくも親しい間ではそのスタイルが好きだ。でもカミサン(注2)は、

「　　ア　　」と宣言する。

「ぼく、まだ何もいってないよ」

「　　イ　　」

だから、ぼくは我慢して「くれ」とはいわない。「どんな味かなあ？」と、つぶやいたりするのだが……。

「　　ウ　　」

「ぼくのも味をみさせてあげる。他の味にも出会いたいでしょ」

などといってみるが、ぼくとの会食(注3)は落ちつかないという。

A　いうに決まってるから、いわれる前にいっておくの。ちょっとくれない？　といわれるとゆっくり食べた気がしないの

B　これは全部一人で食べたい

C　ほら、やっぱりいった。そういわれると一口ぐらい味見をさせなきゃ(注4)悪いような気になるからイヤなのよねえ

（妹尾河童『河童のスケッチブック』文藝春秋による）

（注1）オーダー：注文

（注2）カミサン：妻

（注3）会食：いっしょの食事

（注4）させなきゃ：させなければ

【問い】正しい組み合わせのものを選びなさい。

1	ア：A	イ：C	ウ：B
2	ア：C	イ：A	ウ：B
3	ア：B	イ：A	ウ：C
4	ア：B	イ：C	ウ：A

（6）　次の文章で、生卵とゆで卵の見分け方について述べたものです。

まず誰でも思いつくことは、明かりにすかして(注1)見ることだろう。電灯(注2)の光を生卵を通して見ると赤っぽい光が見える。ゆで卵はもちろん光を通さない。

次の方法は卵を横にして机の上で回転させてみることである。ゆで卵はなかが固体なのでよく回転する。生卵はなかが黄身と白身の二種類の流体状(注3)で、回転しにくい。逆に、回転させておいて指でおさえてすぐはなしてみる方法もある。ゆで卵は固体だから止まってしまう。しかし生卵は内部が流体状だから、殻(注4)をおさえてもまわりつづけようとする。したがって、一度止まったあと、またまわりだす。

（福島肇『パズル・物理のふしぎ入門』講談社による）

（注1）すかす：ものをとおして、その向こう側を見る

（注2）電灯：明かり

（注3）流体：液体と気体をまとめていう言葉。（流体）状は（液体の）状態という意味

（注4）殻：卵の外側のかたい部分

【問い】ここにA、B二つの卵がある。それぞれ、生卵かゆで卵か見分けるために簡単な実験をしてみた。その実験と結果は、

A：ころがしてから指で押さえてまたすぐにはなしてみると、止まったままだった。

B：明かりにすかしてみると、光は何も見えなかった。

A、Bはそれぞれ生卵かゆで卵か、次の組み合わせの中で正しいものを選びなさい。

1	A：生卵	B：生卵
2	A：生卵	B：ゆで卵
3	A：ゆで卵	B：ゆで卵
4	A：ゆで卵	B：生卵

問題Ⅳ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。１・２・３・４から最も適当なものを一つ選びなさい。

（１）救急車で、けが人がつぎつぎと病院に＿＿＿くる。

１　運んで　２　運ばれて　３　運ばせて　４　運ばさせて

（２）スリッパは＿＿＿やすいので、注意してください。

１　すべり　２　すべる　３　すべって　４　すべった

（３）今回の選挙の投票率は、＿＿＿より低かった。

１　思う　２　思って　３　思った　４　思い

（４）劣等感は、努力＿＿＿克服できるのだろうか。

１　として　２　にとって　３　について　４　によって

（５）今度こそ合格できると思っていた＿＿＿、だめだった。

１　ので　２　のに　３　のが　４　のは

（６）名前を呼ばれたか＿＿＿のうちに、もう立ち上がっていた。

１　呼ばれたか　２　呼ばれるか　３　呼ばないか　４　呼ばれないか

（７）先生が＿＿＿本を読んで、さらに興味がわいてきました。

１　書かれた　２　お書きした　３　書かされた　４　書きになった

（８）一度失敗した＿＿＿あきらめるのは早すぎる

１　くらいで　２　ついでに　３　ながら　４　よりも

（９）約束の時間になってもだれも来なかったので、＿＿＿帰った。

１　しかたがない　２　しかたがなかった

３　しかたなく　４　しかたがなかったら

(10) 私の分も残して＿＿＿ください。

１　あって　２　おいて　３　やって　４　いて

(11) 学校で覚えた＿＿＿日本語を使ってみる。

１　ばかりに　２　ばかりの　３　ばかりな　４　ばかり

(12) 言葉がわからなくても、＿＿＿とする気持ちがあれば、意外に通じるものだ。

１　伝える　２　伝えろ　３　伝えれば　４　伝えよう

(13) 時間はたっぷりあるから、どうぞ寝たい＿＿＿寝てください。

１　だけ　２　だけでなく　３　だけに　４　だけしか

(14) 先生が私の両親にと、旅先で珍しい民芸品を買ってきて＿＿＿。

１　さしあげた　２　くださった　３　もらわれた　４　おもらいになった

(15) 私でよければ、お手伝い＿＿＿。

１　いたします　２　しております　３　さしあげます　４　されます

(16) 大事な話を聞いている途中で＿＿＿そうになってしまった。

１　ねたい　２　ねている　３　ねむる　４　ねむり

(17) 明治・大正時代の建物が次々と取り壊されて、＿＿＿いく。

１　なくして　２　なくなって　３　ないように　４　ないで

(18) 新しい家を建てる＿＿＿、できるだけ住みやすい家にしたい。

１　からには　２　からといって　３　からして　４　からすれば

(19) やってみたい、という人が＿＿＿、ぜひ委員に立候補してください。

１　いれば　２　いると　３　いたり　４　いても

(20) 机の上には、＿＿＿もしない本がたくさん積んである。

１　読む　２　読んだ　３　読み　４　読むだろう

(21) 今、＿＿＿最中だから、じゃましないでください。

１　考える　２　考えの　３　考えながらの　４　考えている

(22) 休みの日には、どこかへ出かける＿＿＿家でのんびりしていたい。

１　ほうが　２　より　３　以上　４　ほうで

問題Ｖ　次の文の_____にはどんな言葉を入れたらよいか。１・２・３・４から最も適当なものを一つ選びなさい。

（1）この中には、事実を知っている人がいるはずなのに、それが明らかにされないとは、いったい _____。

1　どうしようもない　　2　しかたがない
3　どうやったほうがいい　　4　どうしてなんだろう

（2）一人でやれるものなら_____が、この問題はむずかしすぎる。

1　やろう　　2　やりたい　　3　やるの　　4　やらない

（3）彼は何も言わないが、何も考えていない_____。

1　わけではない　　2　わけである
3　わけになっている　　3　わけらしい。

（4）禁煙には何回か挑戦してみたが、うまくいったためしがないので、せめて、本数だけでも_____と努力している。

1　減らそう　　2　減らさない　　3　減らした　　4　減らす

（5）あの事故にあった人たちは、のんきに生活している私たちには想像もできない恐怖を、味わったに_____。

1　ちがいない　　2　はずがない　　3　わけがない　　4　ほどだ

（6）こんなたいへんな旅になるなんて、今すぐにでも、うちに_____。

1　帰りたくないくらいだ　　2　帰りたくないくらいだった
3　帰りたいくらいだ　　4　帰りたいくらいでもない

問題Ⅵ　次の文の_____にはどんな言葉を入れたらよいか。１・２・３・４から最も適当なものを一つ選びなさい。

（1）彼の運転は、いつ事故を起こしてもおかしくないほど乱暴だ。しかし、私がうるさく注意した_____素直に聞くような相手ではないので、困っている。

1　ところ　　2　ところで　　3　ところに　　4　ところまで

（2）いろいろな人にすすめられて、コンピューターを買ってはみた_____、使い方がさっぱりわからない。

1　ものだから　　2　ものなら　　3　もので　　4　ものの

（3）この会社は能力第一主義で有名だ。性別・年齢を_____、仕事ができれば昇進できるらしい。

1　問わず　　2　もとに　　3　きっかけに　　4　はじめ

（4）母は最近、スポーツクラブに入りたがっている。しかし60歳以上なので、健康診断を受けて_____どこにも入れないようだ。

1　からよりも　　2　からはともかく　　3　からでないと　　4　からにしては

（5）有名なバレエ団の来日公演を見に行ったが、期待_____すばらしい舞台だった。

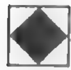
1　どおりの　　2　次第の　　3　に限り　　4　に関して

日本語能力試験

2級模擬テスト

第2回

文字・語彙（100点　35分）………54
聴　　解（100点　40分）………60
読解・文法（200点　70分）………68



文字・語彙　(100点　35分)

問題Ⅰ　次の文の下線をつけた言葉は、どのように読みますか。その読み方をそれぞれの1・2・3・4から一つ選びなさい。

問1　高速(1)道路を走っている時、霧で前がよく見えなくなっても、安易(2)に車を止めてはいけない。しかし、そのままスピードを落とさないのも危険を招く(3)。

(1) 高速　1 こそく　2 こぞく　3 こうそく　4 こうぞく
(2) 安易　1 やすい　2 やすえき　3 あんえき　4 あんい
(3) 招く　1 やく　2 まねく　3 とく　4 ひらく

問2　物が豊富な(1)社会では、物の価値(2)が低くなり大切に扱われない傾向(3)がある。

(1) 豊富な　1 ほうふな　2 ほうふうな　3 ぼうふな　4 ぼうふうな
(2) 価値　1 かず　2 かじ　3 かち　4 かね
(3) 傾向　1 けいごう　2 けいこう　3 けごう　4 けこう

問3　大学の研究(1)グループが川の汚染を調べたところ、思ったより深刻な(2)状況(3)であることがわかった。

(1) 研究　1 けんきょ　2 けんきょう　3 けんきゅ　4 けんきゅう
(2) 深刻な　1 しんこくな　2 しんごくな　3 しっこくな　4 しっごくな
(3) 状況　1 じょうたい　2 じょうきょう　3 じじょう　4 じたい

問4　近所の店の特売(1)で安い生地(2)をたくさん買ったので、祖母(3)に服を作ってあげた。

(1) 特売　1 とくうり　2 とくばい　3 とっぱい　4 とくはい
(2) 生地　1 せいち　2 しょうじ　3 なまち　4 きじ
(3) 祖母　1 そも　2 そふ　3 そぼ　4 そは

問5　足に合わない靴をはくことで起きる障害(1)を防止(2)するためには、できるだけ大きさの調節(3)が可能(4)なものを選ぶことが重要(5)だ。

(1) 障害　1 しょうがい　2 しょうじょう　3 こしょう　4 けが
(2) 防止　1 ほうし　2 ほし　3 ぼうし　4 ぼし
(3) 調節　1 ちょうし　2 ちょうさ　3 ちょうせつ　4 ちょうせい
(4) 可能　1 かんのう　2 かの　3 かんの　4 かのう
(5) 重要　1 じゅうよう　2 じょよう　3 じゅよう　4 じょうよう

問6　これは早い段階(1)で発見し、正しく診断して患者(2)に適切な(3)治療をすれば、死ぬような病気ではない。

(1) 段階　1 だんかい　2 だんがい　3 だっかい　4 だかい
(2) 患者　1 しんじゃ　2 かんじゃ　3 しんしゃ　4 かんしゃ
(3) 適切な　1 てきかくな　2 てききりな　3 てきせつな　4 てきとうな

問題Ⅱ　次の文の下線をつけた言葉は、どのような漢字を書きますか。その漢字をそれぞれの1・2・3・4から一つ選びなさい。

問1　最新のきのう(1)をそなえた(2)このテープレコーダーは、まわりの音が入らず、きれいにろくおん(3)できる。

(1) きのう　1 期能　2 機能　3 技能　4 器能
(2) そなえた　1 備えた　2 添えた　3 供えた　4 捕えた
(3) ろくおん　1 録声　2 緑声　3 録音　4 緑音

問2　曇りの日は適度なしつど(1)があるので、ガラスについた(2)汚れやほこりが浮き上がって、そうじ(3)がしやすい。

(1) しつど　1 湿度　2 温度　3 溶度　4 酒度
(2) ついた　1 着いた　2 突いた　3 付いた　4 点いた
(3) そうじ　1 帰除　2 掃除　3 帰徐　4 掃徐

問3　ある新聞社が家庭の主婦を対象に、ろうどう(1)についてのいしき(2)調査をじっし(3)したところ、おもしろい結果が出た。

（1）ろうどう　1 労働　2 労動　3 栄働　4 栄動
（2）いしき　1 意諸　2 意識　3 意議　4 意講
（3）じっし　1 実姉　2 実子　3 実行　4 実施

問4　会社をやめる(1)のでひきだし(2)の中の書類をせいり(3)していたら、入社とうじ(4)のなつかしい写真が出てきた。

（1）やめる　1 止める　2 去める　3 辞める　4 退める
（2）ひきだし　1 押込し　2 押出し　3 引込し　4 引出し
（3）せいり　1 整理　2 整離　3 正理　4 正離
（4）とうじ　1 当時　2 同時　3 党時　4 等時

問5　私の言ったことがごかい(1)され、ずいぶんなやんだ(2)ことがある。それからは、そういうごかいが起こるようなひょうげん(3)はしないようにしている。

（1）ごかい　1 後解　2 誤解　3 違解　4 疑解
（2）なやんだ　1 悩んだ　2 病んだ　3 迷んだ　4 混んだ
（3）ひょうげん　1 表元　2 表原　3 表言　4 表現

問6　高校時代、よくちこく(1)して生徒しどう(2)のたんとう(3)の先生におこられた(4)ものだ。

（1）ちこく　1 遅刻　2 遅告　3 達刻　4 達告
（2）しどう　1 指道　2 指導　3 師導　4 師道
（3）たんとう　1 担当　2 相当　3 団当　4 配当
（4）おこられた　1 折られた　2 怒られた　3 興られた　4 捕られた

問題Ⅲ　次の文の＿＿＿の部分に入れるのに最（もっと）も適当（てきとう）なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

（1）旅行のお土産（みやげ）に＿＿＿＿のりんごのお菓子（かし）を買った。
1 名作　2 名物　3 産物　4 作物

（2）8月に休みをとることを考えて、仕事の＿＿＿＿を決めた。
1 レジャー　2 コース　3 ユーモア　4 スケジュール

（3）父が急用で来られなくなりましたので、＿＿＿＿で私が参りました。
1 代用（だいよう）　2 代理（だいり）　3 交換（こうかん）　4 交替（こうたい）

（4）新入社員には詳（くわ）しく説明してもわからないだろうと思って、＿＿＿＿仕事の流れだけ話した。
1 おおげさに　2 たのしみに　3 おおいに　4 おおざっぱに

（5）子供は歩くのを嫌がって、道路に＿＿＿＿しまった。
1 止まって　2 立って　3 しゃがんで　4 着いて

（6）あの人は本当に＿＿＿＿。一緒に食事をしてもお金を払おうとしないし、人の物を借りてもお礼も言わない。
1 ずうずうしい　2 そそっかしい　3 みっともない　4 そうぞうしい

（7）彼女がつめをかむのは、子供のころからの＿＿＿＿だ。
1 性格（せいかく）　2 好み　3 くせ　4 素質（そしつ）

（8）いくら探してもどこにも売っていなかったのに、＿＿＿＿入った本屋で、探していた本を見つけた。
1 たちまち　2 たまたま　3 ひととおり　4 ほうぼう

（9）今朝見た事故の＿＿＿＿が頭から離（はな）れない。
1 風景（ふうけい）　2 光景（こうけい）　3 景色（けしき）　4 背景（はいけい）

（10）この研修会では、新しい情報よりも友達ができたことが大きな＿＿＿＿だった。
1 吸収（きゅうしゅう）　2 収穫（しゅうかく）　3 果実（かじつ）　4 生産（せいさん）

(11) こんな高価なものをいただいて…。ご両親に＿＿＿＿よろしくお伝えください。

1 さらに　2 しきりに　3 くれぐれも　4 しばらく

(12) 議論は思わぬ方向に＿＿＿＿していった。

1 展開　2 展望　3 広大　4 拡張

(13) ＿＿＿＿歩かないで、さっさと歩きなさい。

1 いそいそ　2 いらいら　3 のろのろ　4 せかせか

(14) この活動に＿＿＿＿、はじめて戦争の恐ろしさを実感しました。

1 かかわって　2 さわって　3 行って　4 つかって

(15) 引っ越しの時、せっせと大きい荷物を運ぶ弟がとても＿＿＿＿思えた。

1 はなはだしく　2 したしく　3 やかましく　4 たのもしく

問題Ⅳ　次の（1）から（10）は、言葉の意味や使い方を説明したものです。その説明に最もあう言葉を1・2・3・4から一つ選びなさい。

（1）だれかの部屋に入るときドアをたたくこと。

1 アタック　2 ノック　3 キック　4 パンク

（2）とても静かなようす。

1 ほっそり　2 ひっそり　3 こっそり　4 あっさり

（3）だれかにあることを伝えてくれるようにたのむ。

1 ことづける　2 いいつける　3 いいおわる　4 いいだす

（4）自分の失敗について、自分が悪いのではないと説明すること。

1 言いぶん　2 言いぐさ　3 言いわけ　4 言いつたえ

（5）買おうと思っているものの値段が適当なこと。

1 手間　2 手当　3 手ごろ　4 定価

（6）そのことの経験がたくさんあってよくできる人。

1 ベスト　2 インテリ　3 トップ　4 ベテラン

（7）その人の言っていることが、本当かどうかわからなくて、信用できないようす。

1 あやしい　2 おそろしい　3 あやうい　4 くるしい

（8）肉や魚を長時間焼いて黒くなってしまうこと。

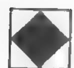
1 こげる　2 にる　3 むす　4 あげる

（9）ナイフやはさみを使わないで手でひっぱるようにして切る。

1 きざむ　2 ちぎる　3 きりとる　4 はぎとる

(10) だれかの意見に対してわざと反対のことを言う。

1 さえぎる　2 ささえる　3 どなる　4 さからう



聴　解

（100点　40分）

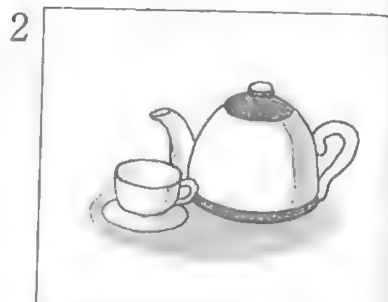
問題 I

例

1



2



3

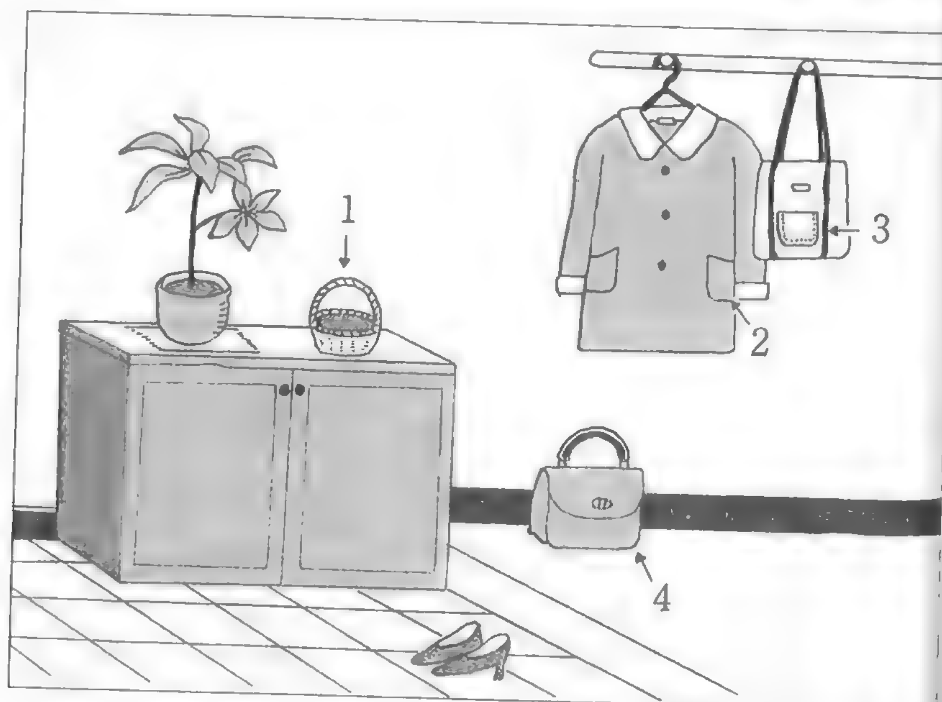


4



	問　題　I			
例	●	②	③	④
1　番	①	②	③	④

1 番



2 番

1



2



3

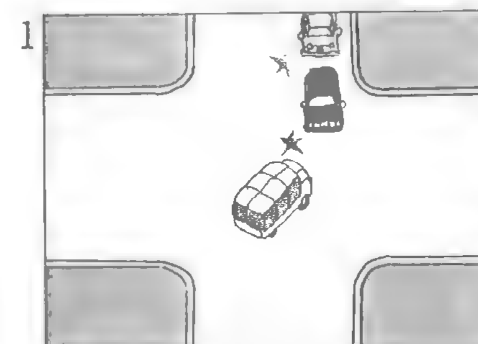


4

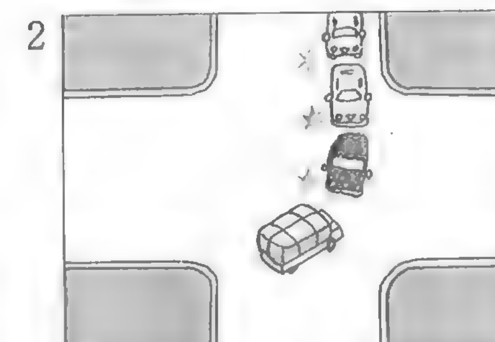


3 番

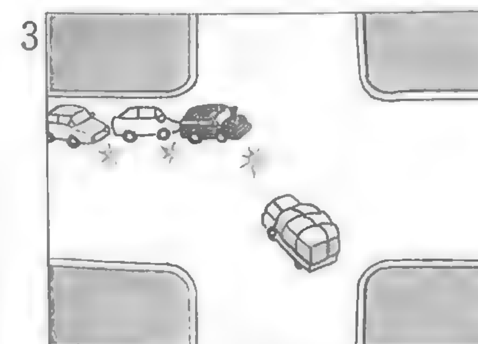
1



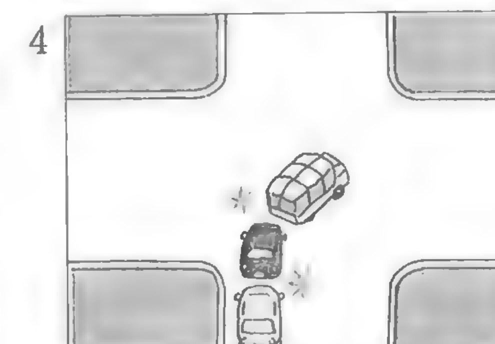
2



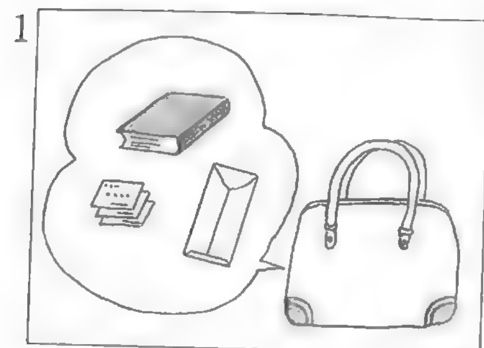
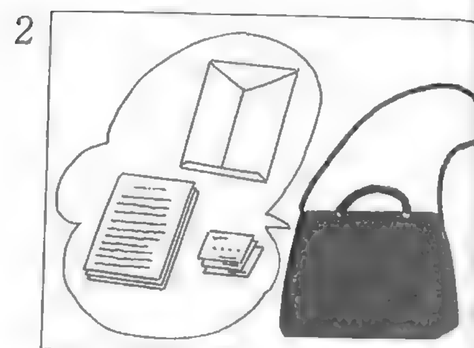
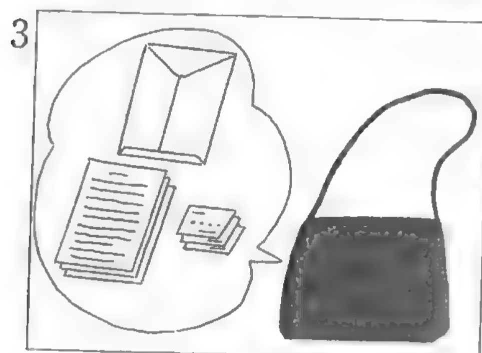
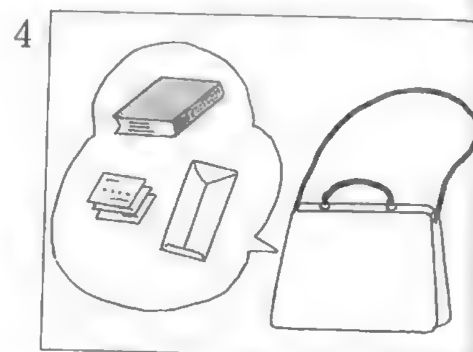
3



4



4番

1

2

3

4


5番

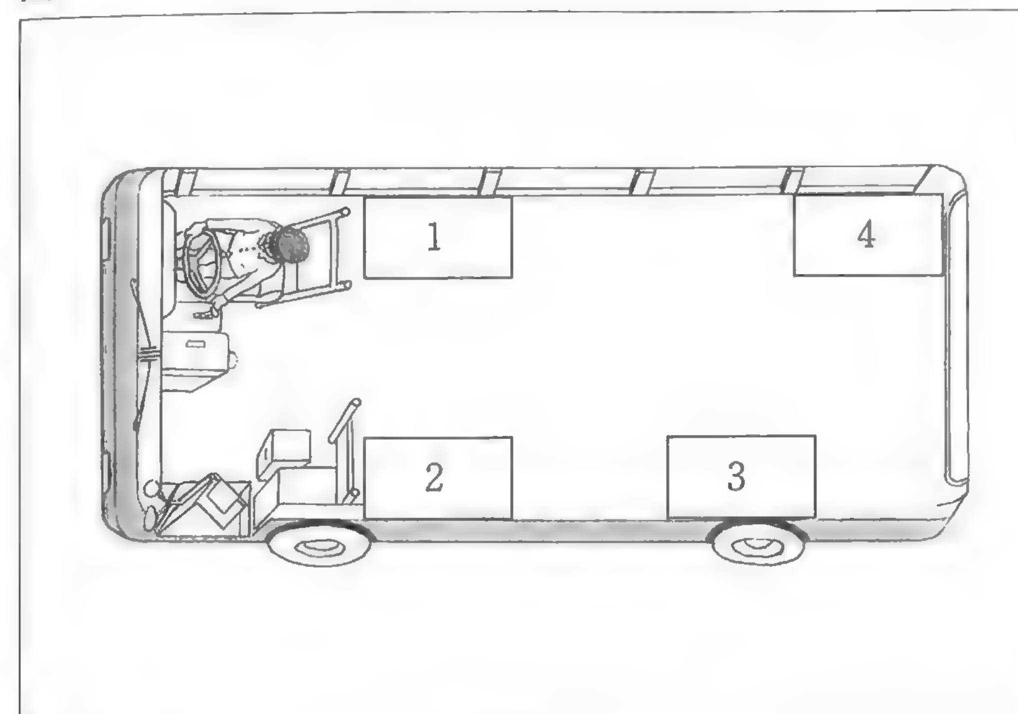
A

B

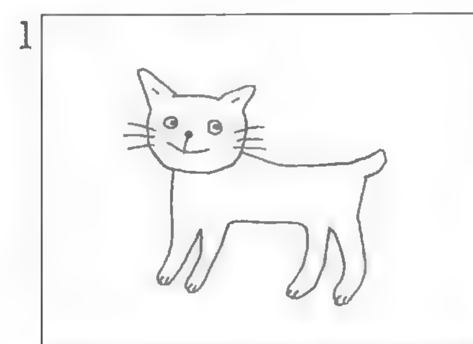
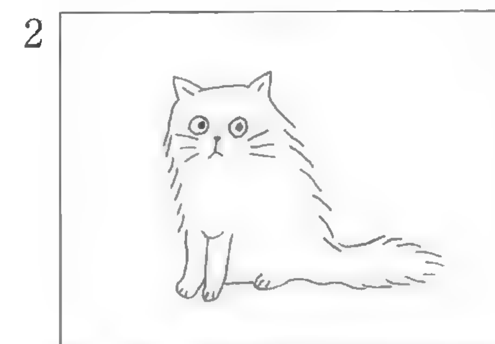
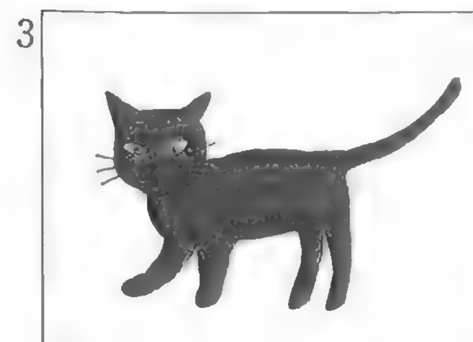
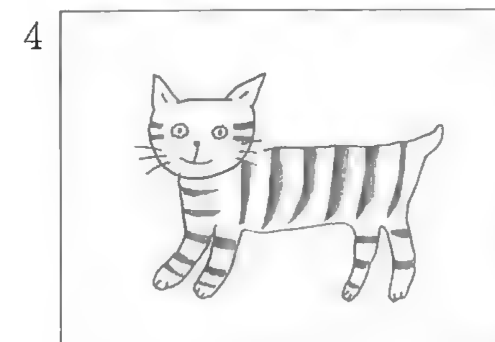
C


1　A → C → B
2　B → A → C
3　C → A → B
4　C → B → A

6番

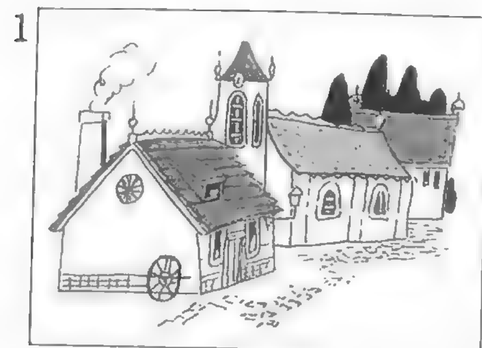


7番

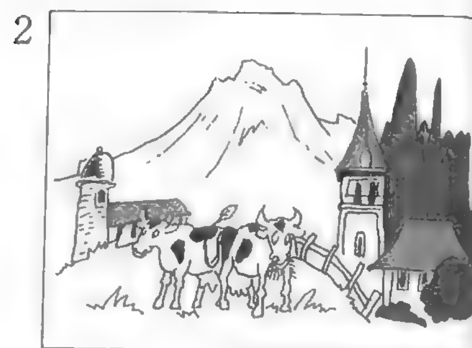
1

2

3

4


8番

1



2



3

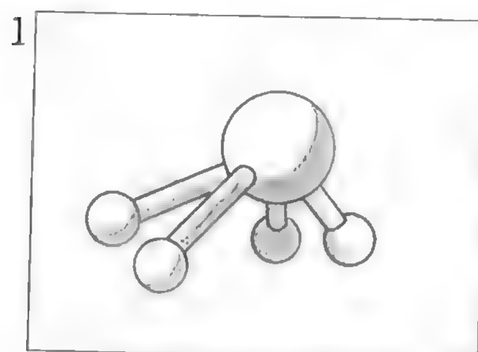


4

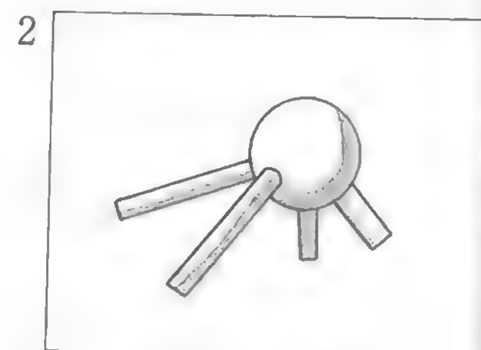


9番

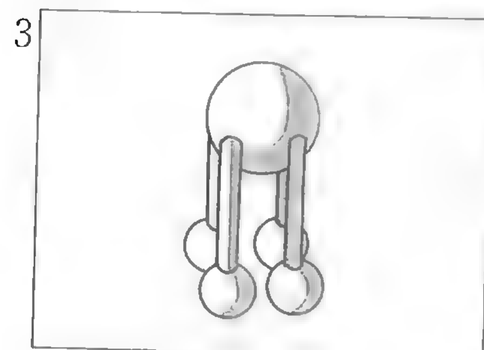
1



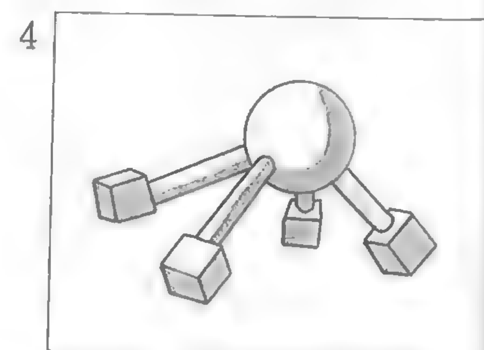
2



3

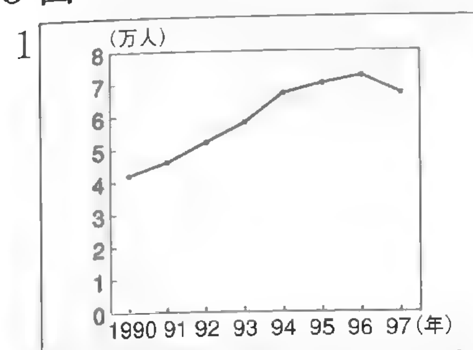


4

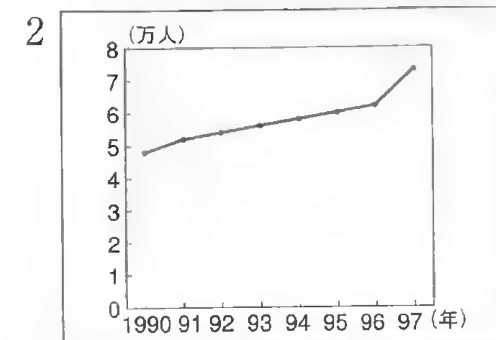


10番

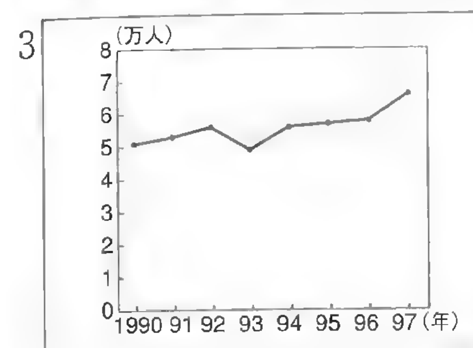
1



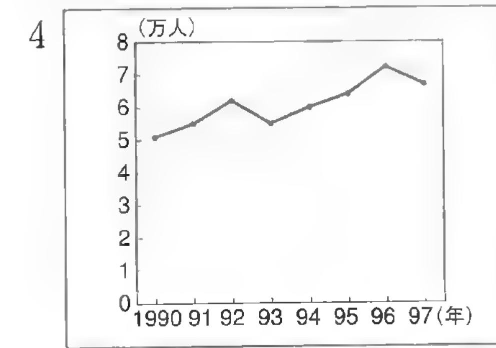
2



3



4

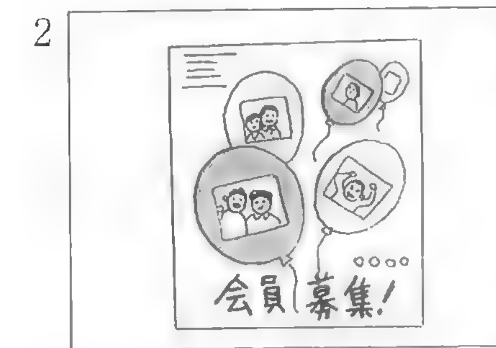


11番

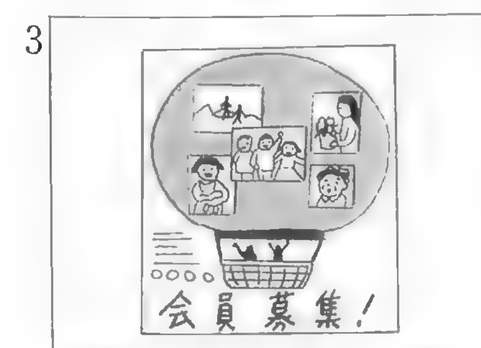
1



2



3

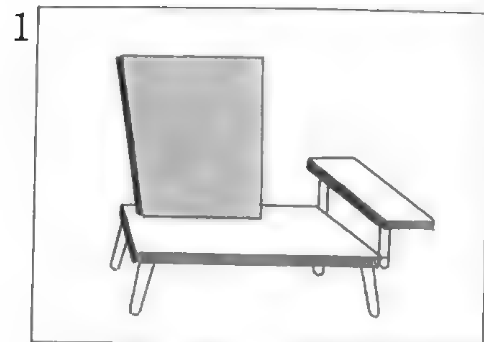


4

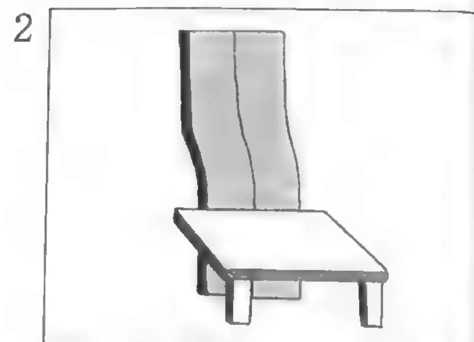


12番

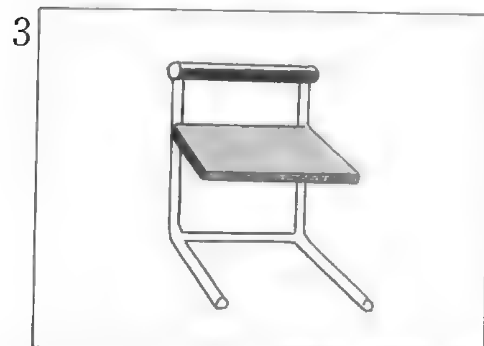
1



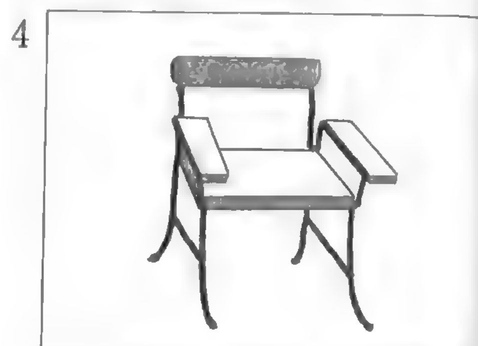
2



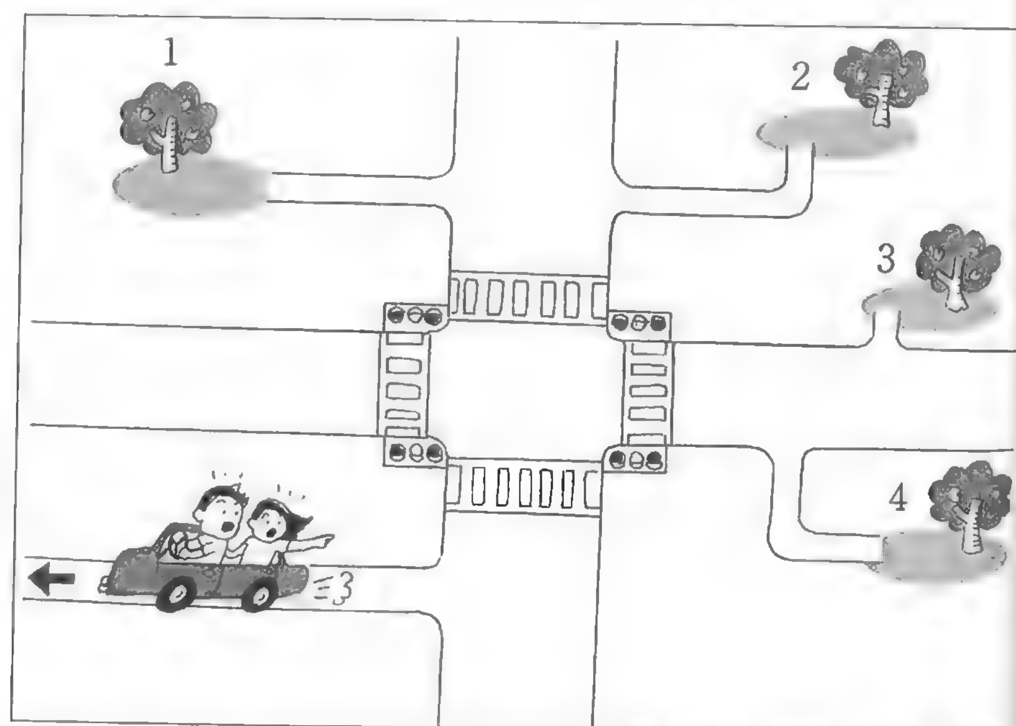
3



4



13番



14番

1



2



3



4



問題Ⅱ

例

		問　題　Ⅱ			
例	正しい	①	●	③	④
	正しくない	●	②	●	●
1	正しい	①	②	③	④

１番　２番　３番　４番　５番　６番

７番　８番　９番　10番



読解・文法 （200点　70分）

問題Ⅰ　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

この三年ほどをかけて、東京・新宿のデパートで、販売員の社員研修をしました。社員教育といっても、販売員の場合は、研修室にひきこもって勉強や練習をしているだけでは意味がありません。現場、すなわち売り場に立って、お客様とのやりとりを重ねる中で、実地に研修していかねばなりません。

その中で気づいたのが、販売員のお客様との距離の問題です。ある日ネクタイ売り場に、40代ぐらいの男性が一人、スタスタとまっすぐな一直線の動線を描いて入ってきました。歩き方のスピードは、街中よりは遅いものの、デパート内の買い物の場面としては速い方です。視線①がショーケースの上にとり出して陳列してあった数本のネクタイのうち、真ん中あたりのものに止まりました。その瞬間、ぐっと近寄った販売員が間髪を入れずに（注1）、「いらっしゃいませ、いかがですか。そちら、今年流行の柄です」。

（　②　）、この男性客は、まるで販売員の言葉を無視するかのように、何と逆の方向へ歩き出してしまった③のです。もちろんネクタイは（　④　）、です。

これが客を追い払ういわゆる「客追い動作」と呼ばれるものです。

販売員がせっかくのチャンスを逃してしまった主な原因は何だったのでしょうか？

その答えこそが、「販売員の対人距離のパフォーマンスの失敗」なのです。つまり、失敗の第一の理由は、「距離の接近のいきすぎ」にあります。（中略）私たちはみな、見知らぬ他人に対して、この範囲内までは近寄らないでほしいという、最小限の私的空間というものを持っています。ですから、その範囲をこえて見知らぬ人が侵入してくる⑤ことに対しては、「回避」（注2）の衝動（注3）が発生するわけです。これにはもちろん、その人の属する文化による違いがあり、さらに個人差もあって、かなり複雑です⑥。

欧米での調査結果では約3メートルにまで及ぶこの距離⑦が、私が1985年から採り続けている日本人対象の実験データでは、1.2メートルぐらい。これはつまり、平均的な大人ならば、お互いに少し手を伸ばすと、相手に触れることが可能な距離です。だからこそ、そこまで他人にだしぬけに（注4）近寄られると、お客様は逃げてしまうわけです。

もちろん、数回会ってすでに顔見知りになっている仲とか、友人、恋人はこの限りにあらず、です。

（佐藤綾子『自分をどう表現するか』講談社現代新書　による）

（注1）間髪を入れずに：少しの間もなく（すぐに）

（注2）回避：危険や混乱をさけようとすること

（注3）衝動：はげしい心の動き。何かをしたいと思う急な感情

（注4）だしぬけに：急に。とつぜん

問1　①「視線」というのは、だれの視線か。

1　筆者　　2　40代ぐらいの男性客

3　販売員　　4　デパートに来ている多くの客

問2　（　②　）に入る適当な言葉はどれか。

1　すると　　2　ところで　　3　つまり　　4　そして

問3　③「この男性客は、まるで販売員の言葉を無視するかのように、何と逆の方向へ歩き出してしまった」とあるが、この人がとった行動は文中の説明によると何か。

1　客追い動作　　2　対人距離のパフォーマンス

3　最小限の私的空間　　4　回避

問4　（　④　）に入る適当な言葉はどれか。

1　買って　　2　買わずに　　3　買いたくて　　4　買えないで

問5　⑤「見知らぬ人が侵入してくる」とあるが、文中の他の言葉で表すとどういうことか。

1　他人にだしぬけに近寄られること

2　販売員が客に近づくこと

3　「客追い動作」をしてしまうこと

4　販売員と客とのやりとりの問題

問6　⑥「かなり複雑です」とあるが、何が複雑なのか。

1　その人の属する文化

2　客追い動作

3　最小限の私的空間の範囲

4　販売員の対人距離

問7　⑦「この距離」とは、どんな距離か。

1　手を伸ばすと、相手に触れられる距離
2　販売員と客の距離
3　私的空間の距離
4　友人、恋人の距離

問8　筆者が一番言いたいことは、どんなことか。

1　だれでもみんな、人との距離の研修を受けたほうがいい。
2　デパートでは、社員研修をもっとして、客と販売員の距離の勉強をするべきだ。
3　販売員と客の例のように他人に接するときは相手との距離に注意しなければならない。
4　人との距離はとても大切だが、個人差などがあり、かなり複雑なので距離についてはなんとも言えない。

問題Ⅱ　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

「家で本当に料理しているのか」とか、「家では何を作っているのか」という質問を受ける。質問している人に悪意はないのだろうが、私にとっては妙な質問と映る①。私が忙しそうに見えるので外食ばかりしているのだろうと考えてのことか、男が料理するのがおかしいと思っているのかわからないが、長生きしたいとか健康でいたいと考えたら、自分で作らなければダメだと思う。

と言って私はレストランの食事を（　②　）いるのではない。家庭で作る料理を日常としたらレストランの料理は非日常③と位置づけられる。非日常とは芸術のようなもので、精神を保っていくためには不可欠なものである。絵や音楽のようなもので、無い（　④　）死ぬわけじゃないが、そういったものに触れているだけで、精神が高揚（注1）し、自分の力を今以上に発揮できる源（注2）みたいなものになる。

私はできる限り自宅で食事するようにしている⑤。例えばテレビ局で出されるお弁当も、そこでは食べず持ち帰り、再調理しなおし他のものと合わせるなどして食べるようにしている。それは弁当がまずいとか不衛生だということではなく、自分好みにしたいということと、その日の栄養のバランスを取るためなのである。カロリー計算には気を使う今時の若い人も、

栄養バランスのことを考えないので、きっと老いてから身体はガタガタになるのではないかと心配している。

最近テレビ番組で塩分とか糖分とか油をテーマにしたものが多いが、とても危険なのは個別にそういったものを考えるとみな健康の敵のようになることだ⑥。塩分、糖分、油分どれをとっても取りすぎは身体に悪いが、そのバランスを考えて取ればどんなものだって人間の生命には必要なものばかりであることを忘れてはならないと思う。

特に極端なダイエットは必ず健康を害するばかりでなく、年齢が高くなっていろいろ臓器（注3）に悪影響を及ぼしてきて実に不幸な人生を送るはめになることを知るべきだ。

（吉村作治「できる限り自宅で食事」1998年5月5日付産経新聞朝刊 による）

（注1）精神が高揚する：ものごとをやる気が出る、気分が高まる
（注2）源：ここでは、力を作り出す元の意味
（注3）臓器：胃、腸、心臓など。内臓

問1　①「妙な質問と映る」とあるが、なぜか。

1　料理は男がするべきだと思っているから。
2　私は忙しいのによく同じような質問を受けるから。
3　身体のために自分で料理するのは当然だと思っているから。
4　私は料理に関心がないのでまったく料理をしないから。

問2　（　②　）に入る最も適当な言葉はどれか。

1　否定して　　2　習慣にして　　3　まねして　　4　考えて

問3　③「非日常」とはどのようなものか。

1　絵や音楽のようなもの　　2　若い人が作った料理のようなもの
3　お弁当のようなもの　　4　テレビ番組のようなもの

問4　（　④　）に入る最も適当な言葉はどれか。

1　のだから　　2　のとくらべて　　3　からといって　　4　というより

問5　⑤「私はできる限り自宅で食事するようにしている」とあるが、なぜか。

1　弁当はまずいし、不衛生だから。

2　身体が弱くて、外食は身体にあわないから。

3　自宅が近いし、料理がしたいから。

4　自分の好みと、栄養のバランスを大事にしたいから。

問6　⑥「とても危険なのは個別にそういったものを考えるとみな健康の敵のようになることだ」とあるが、その結果どのようになると考えられるか。

1　必要な栄養を必要なだけ取らなくなる。

2　テレビの言うことだけを信じるようになる。

3　何を食べても健康でいられなくなる。

4　みんながカロリーに気を使うようになる。

問7　本文の内容に合わない文を一つ選びなさい。

1　今時の若い人はカロリー計算に気を使っているようだ。

2　私はよく料理をする。

3　人は年齢が高くなると、極端なダイエットをする。

4　栄養のバランスを考えることは大切だ。

問題Ⅲ　次の（1）から（6）の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを1・2・3・4から選びなさい。

（1）朗らかにふるまっている自分の外づら(注1)とちがって、内づら(注2)では死ということを常に考えている証拠に、死についての夢をよく見ます。このごろはどうしてだか新幹線に乗る夢をよく見ます。私は死という駅へ行く新幹線の切符を買っているんですが、この切符を持って改札口を通ったら、もう①こっちへは戻れません、と書いた立て札があるのに、うっかり改札口を通ってしまって、あっ、この汽車で②あっちへ行っちゃうのかと思うんですね。その時の気持ちは何ともいえませんよ。

（遠藤周作『死について考える』光文社文庫　による）

（注1）外づら：人を外から見たようす

（注2）内づら：心の中

【問い】　①「こっち」、②「あっち」とあるが、文中では何を意味しているか。

1　①　おきている世界　　②　夢の世界

2　①　改札口の外　　②　改札口の中

3　①　生きている世界　　②　死の世界

4　①　夢の世界　　②　死の世界

（2）昔は暮らしの中に“日々の営み(注1)”があって、それを見たり聞いたりするチャンスが実に多かったと思います。

夏の風鈴(注2)をお祭りで買い、美しいガラスの音色がするたび、ほんとに涼風を感じたものです。蚊とり線香(注3)の匂いとともに夏の風物詩(注4)でした。でも、夏の終わりを待たず、盛夏が過ぎると母は風鈴をおろしました。

「夏は涼やかな音も、秋口に聞くとわびしい音に聞こえますよってね」と。

もちろん、いくら時代が変化しても今の人たちも想い出のひだがあることには変わりありません。ただ、かつてはあった暮らしの光景、生活の営みを、現代人である子どもたちや若い世代は、そう見る機会がない気がするのです。

（小林カツ代『小林カツ代のキッチン手帖』三笠書房　による）

（注1）日々の営み：生活のためにするいろいろなこと

（注2）風鈴：風が吹くと鳴るもので、夏に窓やベランダにつるして、音を楽しむ

（注3）蚊とり線香：火をつけて煙で蚊という虫を殺すためのもの

（注4）風物詩：その季節を表すもの

【問い】　「かつてはあった暮らしの光景、生活の営み」にたいして、筆者はどのように感じているか。

1　現代の子供や若い人は見る機会がなくていいと思う

2　現代の子供や若い人は見る機会がなくなったが、時代が違うのだから気にすることはない

3　現代の子供や若い人は見る機会がなくなったが、それはとても残念なことだと思う

4　現代の子供や若い人は見る機会がなくなったが、なぜなくなったかをみんなで考えたほうがいい

(3) 下のA～Dは、それぞれア、イ、ウ、エのどこかに入る文です。

本屋にいったら、まず関係書のならんでいるところにいって、片端から本を見ていく。本のタイトルを全部読んでいけば、だいたいその分野の大づかみな全体像が浮かびあがってくる。

ア

イ

ウ

エ

それに奥付(注1)を見れば、定評ある教科書は多くの版を重ねていることからもそれとわかる。

A すでにそれを知っていれば問題はないが、知らなくても、書店の店頭で片端から本を見ていけば、そういう本は見当がつく。本を見ていく場合、まえがき、あとがき、目次、奥付だけは必ず見なければならない。

B 次に、その中で入門書的なものを片端から抜きだして、中身を見ていく。

C 入門書には二種類ある。教科書的入門書と教科書以前の一般向け入門書とである。たいていの分野には、教科書的入門書として定評が確立している本があるものだ。(中略)

D まえがき、あとがきで、筆者がどういう心づもりでそれを書いたかわかるし、訳者の場合には、訳者のあとがきで、その本の客観的評価が得られる。たいていの本は、まえがき、あとがきをよく読めば、購入する価値があるかどうかの判定をつけることができる。

(立花隆『ぼくはこんな本を読んできた』文藝春秋 による)

(注1) 奥付：本の終わりにある著者や発行年月日、定価などを印刷したページ

【問い】 正しい組み合わせのものはどれか。

1 ア：B イ：C ウ：A エ：D

2 ア：B イ：A ウ：D エ：C

3 ア：C イ：B ウ：A エ：D

4 ア：C イ：A ウ：D エ：B

(4) たしかに私が学生のころも、つまらなくてつまらなくて、眠くなってしまう授業も多かった。そしてあの先生はつまらないから出るのをよそうと皆で決め、授業を休んだこともままあった(注1)。しかし、授業に出てつまらないからとおしゃべりするような学生はほとんどいなかった。つまらない授業だからといって出なければ単位を落とす。しかし次の年、それに似たようなつまらない授業をとらなければならないというお仕置(注2)を受けるわけで、結局同じことになる。

二年も三年もすれば、多少つまらなくても我慢して授業に出席し、その単位をとらなければ卒業できないということに気がつき我慢するようになる。そして大学の四年間の教育のなかで、(　　　　)ということを知るわけだ。これも大学教育のうちのひとつなのである。

(吉村作治『それでも君は大学へ行くのか』TBSブリタニカによる)

(注1) ままあった：ときどきあった

(注2) お仕置：悪いことをしたときに、反省のために苦痛を与えられること

【問い】 (　　　) に入る最も適当なものを一つ選びなさい。

1 つまらない授業は休んでもいい

2 単位を落とすと次の年も同じような授業をとらなければならないことがある

3 単位を落とすと卒業できない

4 つまらないことでもつらいことでも我慢しなければならないことがある

(5) いまや女性の社会進出はめざましく、雇用労働者全体の約40%が女性で、15歳以上の女性の二人に一人は働いている計算になります。働く女性のうち三分の二は既婚者です。(中略)

ただ、日本ではせっかく仕事についても途中で家庭に入らなければならない女性がたくさんいるのが現状です。(中略) 家事と子育てだけでなく、病人や老人の介護も女性の役目とされているからです。(中略)

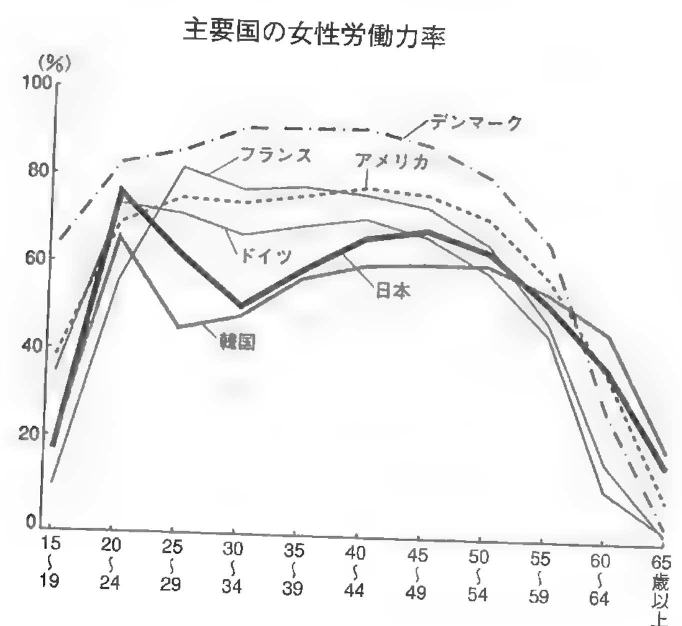
日本の女性の働き方をグラフにすると30～34歳のところで極端に下がります。これはアルファベットのMのようにみえるので、通常「M字型カーブ」といわれます。ところが、海外の先進国を見ると、(①) 以外はグラフが馬のくら(注1)のような形をしていて、女性の労働力率は (②)。

女性が仕事をするのはあたりまえという社会の意識と、働きやすい環境があるかどうかが「M字型カーブ」を変える鍵になるのです。

（芦野由利子・戸田清『人口危機のゆくえ』岩波ジュニア新書 による）

（注1）馬のくら：人が馬にのるために馬の背につけるもの

主要国の女性労働力率



（厚生省『厚生白書』による）

【問1】　（ ① ）に入る適当な国はどれか。

1　デンマーク　　2　フランス　　3　ドイツ　　4　韓国

【問2】　（ ② ）に入る適当な文章はどれか。

1　ほとんど変わりません　　2　とても変化があります
3　減っています　　4　増えています

（6）ボールを足でける遊びは、昔から世界の各地にあった。（中略）

11世紀ごろ、バイキングとよばれた北ヨーロッパ人が、イギリスに住みつこうと攻めこんできた。もともと住んでいた人たちは、戦いで死んだにくい敵の頭を切り落とし、ボールがわりにけって遊んだ。これが、サッカーのはじまり。それから百年くらいたって、こんどは村と村のあいだで、どちらがさきに相手の村の入り口にある門にボールをたたきこむか、競争するゲームになった。ちょうど村の門が、いまのサッカー場に立っているゴールと同じだったわけ。

14世紀になると、このボールけりの遊びは、町の通りでもやられるくらい流行した。そのため、みんなにめいわくもかかるし、あまりにもあらっぽかったので、国王が禁止の命令を何回も出すほどだった。それでも、ボールけり遊びはイギリス人に愛されて、流行はずっと続いた。

19世紀に入ると、このボールけりは、ゆたかな階級の子どもたちが入るパブリックスクールでもさかんになり、だんだん大学や社会人へと広がっていった。まもなく、熱心な人たちが集まって「フットボール協会」をつくり、共通のルールをきめた。

（『小学生の大疑問100』講談社 による）

【問い】　この文章は、子供の質問に対して答えたものだ。子供の質問として考えられる最も適当なものはどれか。

1　サッカーをはじめた人のことを教えてください
2　サッカーはいつどこで生まれたスポーツですか
3　イギリスでサッカーが人気があるのはどうしてですか
4　イギリス人の好きなスポーツは何ですか

問題Ⅳ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

（1）このかばんは重くて＿＿＿持てない。
1　持っても　　2　持つには　　3　持ったら　　4　持とうにも

（2）もうお酒は＿＿＿と思っても、さそわれるとつい飲みに行ってしまう。
1　飲めない　　2　飲まない　　3　飲むまい　　4　飲ませない

（3）あの人は何か＿＿＿かけてやめてしまった。
1　言って　　2　言い　　3　言う　　4　言った

（4）どんなことでもやってみる＿＿＿が大切だ。
1　こと　　2　もの　　3　べき　　4　だけ

（5）その質問には、ちょっと＿＿＿。
1　答えます　　2　答えません　　3　答えかねます　　4　答えられます

（6）実際に＿＿＿ことには、おいしいかどうかわからない。
1　食べてみない　　2　食べてみる　　3　食べる　　4　食べてみた

(7) 行くと言った＿＿、絶対に行く。

1 はずが　2 からには　3 ことで　4 ばかりに

(8) 彼は必ず手紙をくれると言ったが、国を出た＿＿、何の連絡もない。

1 だけで　2 のに　3 きり　4 ところで

(9) ちょっと私の意見を＿＿ください。

1 言われて　2 言わせられて　3 言わせて　4 言って

(10) あの歌手に＿＿ものなら、会ってみたい。

1 会いたい　2 会う　3 会える　4 会おう

(11) 少年の犯罪は＿＿一方だ。

1 増えてくる　2 増えている　3 増えていく　4 増えた

(12) あんなまずいレストラン、二度と＿＿。

1 行けない　2 行くまい　3 行っていない　4 行かず

(13) 私の結婚式の日の＿＿父の顔が忘れられない。

1 さびしいらしい　2 さびしい　3 さびしくて　4 さびしげな

(14) 仏教はインドから世界中に＿＿。

1 広げた　2 広がった　3 広げられた　4 広がられた

(15) 先生、ちょっと＿＿よろしいでしょうか。

1 聞かれても　2 お聞きになっても
3 お聞きしても　4 聞かされても

(16) あの人が何を＿＿信じない。

1 言ったばかりに　2 言わせても　3 言おうと　4 言うまいと

(17) 父に＿＿、ぼくは留学することにした。

1 反対されて　2 反対されながらも
3 反対しながらも　4 反対したが

(18) せまいと言っても、この部屋＿＿ましです。

1 ほど　2 より　3 ぐらい　4 とは

(19) あの人は叔母＿＿人です。

1 であたる　2 にあたる　3 であたって　4 にあたった

(20) 私の忠告が聞けないなら、あなたの＿＿しなさい。

1 好きに　2 好きで　3 好きなら　4 好きらしく

(21) この学校でアルバイトをしている学生は全体の学生数の80%＿＿。

1 でしめる　2 をしめる　3 にしめる　4 がしめる

(22) あの人はおもしろいことを言って、いつも人を＿＿。

1 笑われる　2 笑わせる　3 笑わせられる　4 笑う

問題Ｖ　次の文の＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1) 景気が悪い中、売り上げを伸ばしている社長の経営力にはすばらしい＿＿。

1 べきだ　2 ところだ　3 ものがある　4 わけがない

(2) 今、非常に忙しいので、これ以上仕事を増やしたくないが、条件がよければ＿＿。

1 引き受けないこともない　2 引き受けないことだ
3 引き受けつつある　4 引き受けかねる

(3) 私は技術についてはまったくわからないので、手伝いたくても＿＿。

1 手伝うしかない　2 手伝いようがない
3 手伝ってほしくない　4 手伝わないではいられない

(4) 試合は激しい雨の中で行われたが、選手はみんな必死だったので、天気のことを気にする＿＿。

1 とおりではなかった　2 にすぎなかった
3 はずだった　4 どころではなかった

（5）もう少し慎重に考えていればあんな失敗はしなかったのにと思うと、残念＿＿＿。

1　ではない　　2　でならない　　3　しだいだ　　4　だらけだ

（6）荷物が重くて運べないので、すみませんが、どなたか手をかして＿＿＿。

1　いただけませんか　　2　もらいませんか

3　あげましょうか　　4　もらいましょうか

問題Ⅵ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4から最も適当な
ものを一つ選びなさい。

（1）友人がとても入りたがっていた大学に落ちた。受かるという自信があった＿＿＿、ひどくがっかりしている。

1　そうに　　2　うえに　　3　だけに　　4　くせに

（2）あの大学はスポーツ医学の研究が盛んだ。そのため、国内に＿＿＿、国外からも優秀な学生が集まっている。

1　かわって　　2　かけて　　3　したがい　　4　かぎらず

（3）さっき事故の現場を見て来た。車の壊れ方から＿＿＿、2台とも相当なスピードを出していたらしい。

1　すると　　2　だすと　　3　くると　　4　あると

（4）税金問題については、各党の意見が分かれて激しい議論になった。しかし結局、議長の案＿＿＿、方針が決定された。

1　にわたって　　2　の末に

3　にともなって　　4　にそって

（5）かぜはだいぶよくなった。きのうまで熱が高かった＿＿＿、なんとなく体が重く感じられる。

1　ことか　　2　ついでに　　3　せいか　　4　あげく

日本語能力試験
2級模擬テスト

解答・配点

第1回………82
第2回………83

聴解問題〈CDの内容〉

第1回………84
第2回………92

日本語能力試験　2級模擬テスト

◇ 第1回　　解答 ◇

●文字・語彙

問題Ⅰ　問1　(1) 4 (2) 2
問2　(1) 3 (2) 1 (3) 4 (4) 1
問3　(1) 3 (2) 2 (3) 4 (4) 2 (5) 1
問4　(1) 3 (2) 3 (3) 1 (4) 4
問5　(1) 3 (2) 4 (3) 1 (4) 1 (5) 3

問題Ⅱ　問1　(1) 2 (2) 1 (3) 2
問2　(1) 1 (2) 2 (3) 4 (4) 2
問3　(1) 1 (2) 2 (3) 4 (4) 1
問4　(1) 2 (2) 1 (3) 3
問5　(1) 2 (2) 1 (3) 1
問6　(1) 2 (2) 3 (3) 1

問題Ⅲ　(1) 1 (2) 4 (3) 2 (4) 3 (5) 2 (6) 1 (7) 4 (8) 2 (9) 2 (10) 4 (11) 2
(12) 3 (13) 3 (14) 2 (15) 4

問題Ⅳ　(1) 2 (2) 1 (3) 4 (4) 2 (5) 3 (6) 2 (7) 1 (8) 2 (9) 1 (10) 4

●聴解

問題Ⅰ　1番 1　2番 3　3番 3　4番 4　5番 1　6番 4　7番 1　8番 3
9番 2　10番 4　11番 1

問題Ⅱ　1番 2　2番 1　3番 2　4番 1　5番 2　6番 3　7番 4　8番 3
9番 4　10番 2　11番 3　12番 3　13番 3

●読解・文法

問題Ⅰ　問1 2　問2 3　問3 4　問4 4　問5 2　問6 3　問7 1
問題Ⅱ　問1 2　問2 2　問3 4　問4 3　問5 4　問6 2　問7 1
問題Ⅲ　(1) 4 (2) 問1 1　問2 4 (3) 1 (4) 1 (5) 3 (6) 3
問題Ⅳ　(1) 2 (2) 1 (3) 3 (4) 4 (5) 2 (6) 4 (7) 1 (8) 1 (9) 3 (10) 2 (11) 2
(12) 4 (13) 1 (14) 2 (15) 1 (16) 4 (17) 2 (18) 1 (19) 1 (20) 3 (21) 4 (22) 2
問題Ⅴ　(1) 4 (2) 2 (3) 1 (4) 1 (5) 1 (6) 3
問題Ⅵ　(1) 2 (2) 4 (3) 1 (4) 3 (5) 1

配点　＊素点は自分の得点

文字・語彙（100点）問題Ⅰ・Ⅱ　各1点　計40点　問題Ⅲ・Ⅳ　各2点　計50点
計90点　100点満点での得点への換算式（素点）÷90×100
聴　　解（100点）問題Ⅰ・Ⅱ　各1点
計24点　100点満点での得点への換算式（素点）÷24×100
読解・文法（100点）問題Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ　各5点　計105点　問題Ⅳ・Ⅴ　各2点　計56点
問題Ⅵ　各3点　計15点
計176点　200点満点での得点への換算式（素点）÷176×200

日本語能力試験　2級模擬テスト

◇ 第2回　　解答 ◇

●文字・語彙

問題Ⅰ　問1　(1) 3 (2) 4 (3) 2
問2　(1) 1 (2) 3 (3) 2
問3　(1) 4 (2) 1 (3) 2
問4　(1) 2 (2) 4 (3) 3
問5　(1) 1 (2) 3 (3) 3 (4) 4 (5) 1
問6　(1) 1 (2) 2 (3) 3

問題Ⅱ　問1　(1) 2 (2) 1 (3) 3
問2　(1) 1 (2) 3 (3) 2
問3　(1) 1 (2) 2 (3) 4
問4　(1) 3 (2) 4 (3) 1 (4) 1
問5　(1) 2 (2) 1 (3) 4
問6　(1) 1 (2) 2 (3) 1 (4) 2

問題Ⅲ　(1) 2 (2) 4 (3) 2 (4) 4 (5) 3 (6) 1 (7) 3 (8) 2 (9) 2 (10) 2 (11) 3
(12) 1 (13) 3 (14) 1 (15) 4

問題Ⅳ　(1) 2 (2) 2 (3) 1 (4) 3 (5) 3 (6) 4 (7) 1 (8) 1 (9) 2 (10) 4

●聴解

問題Ⅰ　1番 3　2番 4　3番 1　4番 2　5番 3　6番 4　7番 1　8番 4
9番 1　10番 4　11番 3　12番 2　13番 2　14番 2

問題Ⅱ　1番 3　2番 3　3番 1　4番 2　5番 4　6番 3　7番 2　8番 3
9番 2　10番 2

●読解・文法

問題Ⅰ　問1 2　問2 1　問3 4　問4 2　問5 1　問6 3　問7 3　問8 3
問題Ⅱ　問1 3　問2 1　問3 1　問4 3　問5 4　問6 1　問7 3
問題Ⅲ　(1) 3 (2) 3 (3) 1 (4) 4 (5) 問1 4　問2 1 (6) 2
問題Ⅳ　(1) 4 (2) 3 (3) 2 (4) 1 (5) 3 (6) 1 (7) 2 (8) 3 (9) 3 (10) 3 (11) 3
(12) 2 (13) 4 (14) 2 (15) 3 (16) 3 (17) 2 (18) 2 (19) 2 (20) 1 (21) 2 (22) 2
問題Ⅴ　(1) 3 (2) 1 (3) 2 (4) 4 (5) 2 (6) 1
問題Ⅵ　(1) 3 (2) 4 (3) 1 (4) 4 (5) 3

配点　＊素点は自分の得点

文字・語彙（100点）問題Ⅰ・Ⅱ　各1点　計40点　問題Ⅲ・Ⅳ　各2点　計50点
計90点　100点満点での得点への換算式（素点）÷90×100
聴　　解（100点）問題Ⅰ・Ⅱ　各1点
計24点　100点満点での得点への換算式（素点）÷24×100
読解・文法（100点）問題Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ　各5点　計110点　問題Ⅳ・Ⅴ　各2点　計56点
問題Ⅵ　各3点　計15点
計181点　200点満点での得点への換算式（素点）÷181×200



聴解問題

これは、日本語能力試験２級レベルの聴解試験問題を文章で表したものです。この内容は別売のCDにおさめてあります。

第１回

これから２級の聴解試験を始めます。問題用紙を開けてください。

問題Ⅰ

絵を見て正しい答えを一つ選んでください。では、一度、練習しましょう。

例

女の人が引越しの準備をしています。箱は、どうなりますか。

男：じゃあ、来月の10日ということで。
女：はい、よろしくお願いします。
男：箱が足りないようでしたら、電話してください。
女：ええ、でもだいじょうぶでしょう。これだけあれば。
男：そうですか。一箱にあまりたくさん詰めないでくださいね。運ぶのが大変ですし、中で物がつぶれたりすることもありますから。
女：はい、気をつけます。
男：それから、詰めたものはできるだけくわしく書いておくといいですよ。後でわかんなくなっちゃいますから。
女：そうね、そうします。閉めるときはテープではればいいんですね。
男：ええ、しっかりはってください。

箱は、どうなりますか。

正しい答えは１です。では、解答用紙の問題Ⅰの例のところを見てください。正しい答えは１ですから、答えはこのように書きます。

では、始めます。

１番

大きな植木鉢に植物を植えています。どんなふうに植えますか。

男：じゃあ、まずこの背の高い花を真ん中に植えてと…。
女：あら、真ん中じゃだめよ。そうすると、後ろになる花が見えなくなっちゃうわ。
男：あ、そうか。
女：ね。こっちを正面にするでしょ。これは奥にして…。
男：なるほど。
女：それから、これ。最後にこの下に垂れ下がる花。
男：ああ、これで全部の花がよく見えるね。

花はどんなふうに植えましたか。

２番

男の人と女の人が水族館に来ています。魚はどこにいますか。

女：あらー、何もいない。
男：ははは。かくれているのさ。
女：え？
男：よく見て。その岩の前。
女：えー？
男：ほら、ここ。目だけ出してるよ。
女：あ、ほんと。砂にもぐってるのね。全然わからなかった。
男：ああ、この魚はね。体の色をまわりに合わせて変えられるんだ。
女：へぇー。
男：海藻に隠れてることもあるけど、そのときはその海藻にそっくりの色になってるよ。
女：そう。そうやって自分の身を守ってるのね。

魚はどこにいますか。

３番

男の人が、仕事の説明をしています。どの順番で仕事をしますか。

それでは、アルバイトのみなさんに午前中の仕事の流れを説明します。朝来たら、まずお店の掃除をしてください。道具はこちらにありますので使ってください。それから、調味料の確認。テーブルの上に塩、こしょう、しょうゆ、砂糖を置いて、全部のテーブルにこの四つがそろっているかどうか確認してください。あと、制服は掃除が終わったら、着替えるようにしてください。よろしいですか。

どの順番で仕事をしますか。

４番

歯医者さんまでの道を電話で聞いています。歯医者さんはどこにありますか。

歯医者：はい、山田歯科医院です。
患　者：すみません、はじめてなんですが、場所がよくわからなくて…。
歯医者：どちらからいらっしゃいますか。
患　者：駅からバスで。
歯医者：そうですか。では、南町２丁目でバスを降りて。
患　者：はい。
歯医者：すぐ横断歩道がありますから…
患　者：はい。
歯医者：バス通りの反対側に渡ってください。
患　者：はい。
歯医者：それで、花屋とパン屋の間に細い道がありますから、その細い道を入ってください。
患　者：はい。花屋の横ですね。
歯医者：ええ、そこを入って右側の３軒目です。
患　者：そうですか、どうも。

歯医者さんはどこですか。

５番

テレビの番組です。中学生の男子のデータを示すグラフはどれですか。

こんにちは。「暮らしのデータ」の時間です。今日はテレビゲームに関するデータをご紹介しましょう。最近は子供たちの間でもテレビゲームが大人気です。ある調査によりますと、テレビゲームに夢中なのは特に中学生の男子のようです。中学生の男子では、ほぼ毎日テレビゲームで遊ぶ子は48.8パーセントで、ほとんど２人に１人が「ほぼ毎日」テレビゲームをしていることになります。中学生女子では、「ほぼ毎日」テレビゲームで遊ぶ子は29.4パーセントで、３人に１人ぐらい。小学生は男子と女子ではあまり差がなくて、５人に１人ぐらいになります。テレビゲームのよしあしをいうわけではありませんが、外で元気に遊ぶ姿も見たいものです。

中学生の男子のデータを示すグラフはどれですか。

６番

講演会で画家が話しています。話に出てこない絵はどれですか。

えー、今日は「２歳ぐらいの幼児の絵と成長」というテーマでお話をさせていただきます。こちらの絵をご覧ください。２歳ぐらいの子供に、はじめてクレヨンとか鉛筆を持たせて自由にかかせますと、だいたいこんな感じの絵をかきます。意味のない線だけのかたまりです。これが、幼児がかく絵の最初の段階です。次の段階になりますと、丸や三角をかくようになります。四角がかけるようになるのはもう少し後になります。そして、やがて人をかくようになるのですが、はじめのころは、胴体がなく、顔から直接手足が生えているような絵をかきます。大人の目にはとても奇妙な絵に思えるのですが、自然な成長の段階なのです。

話しに出てこない絵はどれですか。

7番

女の人と男の人が写真を見ています。男の人はどの写真がいいといっていますか。

男：東京タワーだね。
女：うん。この間、撮ったんだけど、なんか良くないのよね。
男：そうだねぇ。写真、撮るのもね、ちょっとしたコツがあるんだよ。
女：コツ？
男：うん。たとえば、こういう高い建物ね。全部入れたいという気持ちはわかるけど、これだと、空の部分が多くて、建物が小さいでしょ？
女：ええ。
男：こういうときはね、下から見上げるように撮るといいんだ。あっ、そうそう、この写真みたいにね。そうすると、迫力が出るんだよ。
女：なるほどね。

男の人はどの写真がいいといっていますか。

8番

テレビの天気予報です。沖縄の週間天気予報はどれですか。

かわって、全国の週間予報です。これからは曇りや雨の日が目立ってきます。新潟では１週間を通して雨の日が続きます。ここしばらくは梅雨の走りの天気が続きそうです。東京は週半ばで太陽が見られそうですが、はやり全般的に曇りがちです。週末は傘が必要でしょう。沖縄は、今週末は晴れそうです。

沖縄の週間天気予報はどれですか。

9番

女の人がはがきを書いています。名前は１～４のどこに書きますか。

クイズに答えて、アメリカ旅行か。いいね。えーっと、はがき、はがき、と。よし、えーと、まず自分の名前。その下に性別と年齢。いけない、名前の上に住所を書くんだった。最後にクイズの答えを書いて、と。…できた。

名前は１～４のどこに書きますか。

10番

男の人がコンサートの席を決めています。男の人はどの席にしましたか。

店員：前のほうで空いているのは、10列目ですね。
客：どこですか。ふーん、ずいぶん端ですね。真ん中がいいんだけどな。音楽、聞くんだから。
店員：いちばん後ろなら、真ん中がありますけど。
客：いちばん後ろねぇ。もう少し前の席はないんですか？
店員：えーっと、この席はいかがですか。42列の、この席。ちょっと右寄りですが。
客：そうですね。でも、ここ、後ろから８列しか違わないのに、4000円も高いんだ。あの、ここは、この21列の席はいくらですか。
店員：そちらは9000円です。
客：10列と同じか。高いなぁ。顔見るわけじゃないから、いいや。真ん中のこの席をお願いします。

男の人はどの席にしましたか。

11番

交通事故のニュースです。事故の様子を伝えている絵はどれですか。

昨夜、埼玉県で男の人が車にはねられ、重体になっていますが、車はそのまま逃げ、警察では車の行方を追っています。

昨夜11時半ごろ埼玉県の国道で、男の人が自転車を押しながら歩いていたところ、後ろから来た乗用車が男の人をはね、そのまま逃げました。男の人は救急車で病院に運ばれましたが、意識不明の重体です。乗用車は男の人をはねた後、そのまま逃走しており、警察ではこの乗用車の行方を追っています。

事故の様子を伝えている絵はどれですか。

問題Ⅱ

問題Ⅱは絵がありません。正しい答えを一つ選んでください。では、一度練習しましょう。

例

いちばんはじめにすることは何ですか。

「あ、ガス臭い」と思ったとき、あなたならどうしますか。ガス漏れの場所を探しますか。ガス会社に電話をしますか。確かにそれも大切です。しかし、まず最初にしていただきたいのは、窓を大きく開けることです。電気のスイッチは絶対に入れないでください。火花が散って、爆発する恐れがあります。

いちばんはじめに何をしますか。

1　ガス漏れの場所を探します。
2　ガス会社に連絡します。
3　窓を開けます。
4　電気のスイッチをつけます。

正しい答えは３です。では、解答用紙の問題Ⅱの例のところを見てください。正しい答えは３ですから、答えはこのように書きます。では、始めます。

1番

昼休みに新入社員と先輩社員が話しています。女の人はこれからどんな本を読みますか。

男：ねえ、何読んでるの？
女：あ、これ？　パソコンのマニュアルです。難しくって。
男：ふーん。熱心だね。
女：ええ、何とか一人で使えるようになりたいんです。
男：ま、慣れるまでちょっと大変だよね。僕でよければ、いつでも教えてあげるよ。
女：えっ、いいんですかぁ？　よろしくお願いします。
男：そうだ。あれ、読んだ？　『涙なしのパソコン』。
女：いえ、読んでません。
男：じゃあ、『パソコンのすすめ』は？
女：すみません、読んでません。
男：何もあやまることはないさ。でもさ、そのマニュアル10回読むよりきっとよくわかるよ。
女：そうですか。わたし、本って雑誌か恋愛小説ぐらいしか読まないから。
男：ははは。大丈夫。どっちも絵がたくさんあって、わかりやすいから。じゃあ、あした持ってきてあげるよ。
女：はい、ありがとうございます。読んでみます。

女の人はこれからどんな本を読みますか。

1　パソコンのマニュアルです。
2　パソコンの入門書です。
3　雑誌です。
4　恋愛小説です。

2番

男の人と女の人がレストランでメニューを見ています。女の人は、A、B、C、Dのどのコースを頼みますか。

男：すみません。
店員：はい。
男：ランチのコースの「本日の肉料理」って何ですか。
店員：はい、今日は子牛のステーキです。
男：子牛かぁ、魚料理のほうは？
店員：はい、マグロのソテーです。
男：コースだと何がついているんですか。
店員：サラダと飲み物です。Aコースはお肉の料理で、Bはお魚です。Cコースは

お肉とお魚の両方で、Dにはそれにデザートがつきます。
男：あ、そう。君、どうする？
女：そうね、わたし、デザートは食べたいけど、お肉とお魚両方は無理ね。
店員：それでしたら、デザートは別にご注文なさってはいかがですか。
女：じゃあ、わたしお肉にして、飲み物はコーヒーで、デザートは…。
男：僕がDコースにして、君にデザートをあげるよ。
女：そう？
男：僕の飲み物は、アイスコーヒーにしてください。
店員：はい、かしこまりました。

女の人は、A、B、C、Dのどのコースを頼みましたか。

1　Aコースです。
2　Bコースです。
3　Cコースです。
4　Dコースです。

3番

男の人と女の人が話しています。何が変更になりましたか。

女：田中さん、田中さん。
男：ん、何？
女：聞いた？　あしたのこと。
男：コンパのこと？
女：ええ、場所が変わったんですって。
男：ほんと？　カラオケじゃなくなったの？
女：いえ、カラオケはカラオケなんだけど、予定より人数が多くなっちゃったんだって。
男：へえ。
女：それで、駅前のじゃなくて、バス通りのほうの…
男：ああ、あの大きいとこ。
女：そう。パチンコ屋さんの隣の。
男：何だっけ、名前。
女：「カラオケ・スペースX」。
男：そうそう。で、時間や会費はそのままなの？
女：ええ、そうみたいよ。幹事は、鈴木君だから、くわしいことは彼に聞いて。

何が変更になりましたか。

1　コンパの時間です。
2　コンパの会場です。
3　コンパの会費です。
4　コンパの幹事です。

4番

男の人が、ペットを売っているお店に来ました。ハムスターを飼っていて困ることは何ですか。

女：いらっしゃいませ。
男：あの、ハムスター見せてください。
女：はい、そちらの奥の棚です。
男：ああ、これ。子供ですか。
女：いいえ、この種類はこれ以上大きくならないです。もう大人です。
男：オスとメス、両方いたほうがいいのかな。
女：そうですね。子供がたくさん生まれますよ。
男：えっ、それはちょっと。あまり増えても困るし。
女：じゃあ、どちらか1匹のほうがいいですね。
男：飼うのは、難しくないですか。
女：ええ、丈夫ですから。エサさえ十分やっていれば。
男：何を食べるんですか。
女：何でも食べますよ。野菜とかヒマワリの種とか。

ハムスターを飼っていて困ることは何ですか。

1　増えすぎることです。
2　小さくて弱いことです。
3　決まったエサしか食べないことです。
4　大きくなりすぎることです。

5番

女の人が怒っています。女の人は女子高校生の何に怒っているのですか。

女：まったく、近ごろの女子高生ときたら…。
男：女子高生がどうかしたの？　あっ、わかった。例のソックスだろう。あのぶかぶかの。
女：まあ、それもあるけどね。
男：あれ、違うの？　じゃ、短いスカートかな。
女：制服のスカートか。でも、あれは見方によっては、健康的でかわいいんじゃない？
男：まあね。じゃ、すごく細いあのまゆ毛？
女：ん、それもあったか。
男：違うの？
女：あのさ、あなた、5時ごろに高校の近くを通るバスに乗ったことある？　すごいのよ。お化粧したり、ソックスをはきかえたり、パンを食べたり。
男：へえ、知らなかった。まるで自分の部屋みたいだね。
女：そーなのよ！　まったく、何、考えてるんだか。

女の人は女子高校生の何に怒っているのですか。

1　ソックスです。
2　バスの中でのマナーです。
3　細いまゆ毛です。
4　制服の短いスカートです。

6番

店で女の人と男の人がバッグを選んでいます。男の人はどんなバッグがいいと思っていますか。

女：このバッグ、いいわねぇ。色もデザインも、大きさもいいな。
男：うん、いいね。でも、ちょっと高いんじゃない。4万だよ。
女：まあ、ちょっと高いけど、アルバイトのお金が入るから。
男：どうせすぐ飽きちゃうんだから、もう少し手頃なのにすれば？
女：ううん、そんなことない。いいものは飽きないの。
男：でも、これね、ここから出し入れするんだよ。使いにくくないかなぁ。
女：うーん、でも、それがかわいいんだけどなぁ。
男：まあ、値段はともかく、使いにくいのは、すぐに嫌になっちゃうよ。
女：そうかなー。

男の人は、どんなバッグがいいと思っていますか。

1　デザインのいいバッグです。
2　値段の安いバッグです。
3　使いやすいバッグです。
4　飽きないバッグです。

7番

女の人と男の人が携帯電話について話しています。男の人は携帯電話についてどう思っていますか。

女：この間、電車が止まっちゃって、たいへんだったの。
男：朝？
女：うん。会社へ行くとき。電話をかけたくても、ずっと並んでいるし。なかなかかけられなくて困っていたら、男の人が携帯電話を貸してくれたの。便利よね、携帯電話って、そういう時。私もほしくなっちゃった。
男：でも、1カ月3000円ぐらいかかるんだよ。電話かけなくても、基本料金だけでさ。
女：そうなんだ。
男：それに、車を運転しながら電話してて、事故になることも多いんだって。
女：まあ、あぶないわね。
男：うん。電車やバスの中で使うのも問題だよね。
女：いるいる。大きな声で得意そうに話してたりするわね。
男：あーいうの、僕は嫌だな。

男の人は携帯電話についてどう思っていますか。

1　ほしいと思っています。
2　便利だと思っています。
3　高くないと思っています。
4　よくないと思っています。

8番

男の人が外出先から会社に電話をかけています。男の人はこれからどうしますか。

女：はい、オリオン社営業課です。
男：鈴木です。
女：あ、鈴木さん。
男：あの、今、工場のほうに行ってきました。これから会社に戻ります。
女：えーとね、さっきお宅から電話があって、電話してほしいって。奥さん、なんか急いでいるようだったから、早く電話してあげて。
男：あ、はい、わかりました。
女：あ、それから、ナイス社の佐藤さんから連絡があって、あした来てほしいそうです。
男：わかりました。

男の人はこれからどうしますか。

1　工場に行きます。
2　ナイス社に行きます。
3　家に電話します。
4　家に帰ります。

9番

男の人が外国人ビジネスマンとの話し方について話しています。いちばん大切なことは何だといっていますか。

みなさんは、外国の会社との取引で、外国の方と仕事の話をすることがあると思いますが、そういうときは注意したほうがいいことがいくつかあります。よく言われることですが、あまり関係ない話が長い、英語が下手だ、説明がわかりにくいなど、まあ、いろいろあります。「はい」か「いいえ」かはっきりしない返事はしないこと、これがいちばん重要です。「あいまいにしておくことがていねいだ」という考え方は、国際社会では通用しません。それからですね…。

いちばん大切なことは何だと言っていますか。

1　関係のない話をしないことです。
2　英語が上手なことです。
3　わかりやすい説明をすることです。
4　はっきりしない返事はしないことです。

10番

髪の色を変えることについて話しています。女の人は何色にするつもりですか。

女：あれ、髪の毛の色どうしたの？
男：おかしい？
女：ううん、けっこういいわよ、その色。顔が明るくなるわね。
男：よかった。これ、黄色なんだ。
女：黄色？　へえ〜。でも、そんなに変じゃないわね。
男：最初は心配だったんだけど、これ洗って落とせるタイプだから、変だったらすぐ落としちゃえばいいと思ってさ。
女：へえー。そんなのがあるんだ。わたしも染めてみようかな。何色がいいかな。
男：赤は？
女：えっ！　赤？　ちょっとはでじゃない？
男：いいと思うけどなあ…。
女：ほかにない？
男：じゃあ、むらさきとか。
女：むらさきねえ。白い髪をむらさきに染めるのはすてきだけどね。
男：じゃあね、茶色。
女：茶色か。普通すぎるよね。
男：ね、やっぱり赤にしてみたら。けっこうかわいい感じになるよ。
女：ふーん、そうぉ？　じゃ、思いきって…。

女の人は何色にするつもりですか。

1　黄色です。
2　赤です。
3　むらさきです。
4　茶色です。

11番

男の人と女の人が話しています。男の人は、どうして元気がありませんか。

女：あれ、木村くん、どうしたの。元気ないじゃない。
男：うん。あした出すレポート、まだ何も書けてないんだ。あったま痛いよ。
女：なんだ、そんなこと？　なんでもいいじゃない、書いちゃえば。
男：簡単にいうなよな。大事なレポートなんだよ。
女：大丈夫、大丈夫。
男：これ、できなかったら、卒業できないんだ。
女：んもー、元気出しなさいよ。そんなこといってないで、さっさと書けばいいでしょ。

男の人はどうして元気がありませんか。

1　頭が痛いからです。
2　卒業できないからです。
3　レポートが書けないからです。
4　女の人と喧嘩したからです。

12番

男の人はいくら払いますか。

男：山田さん、たしか演劇が好きでしたよね。こんど、劇団「やまびこ」の公演、見に行きたいんですけど、チケットっていくらぐらいするんですか？
女：劇団「やまびこ」見に行くの？　S席なら1万円だけど、ウイークデーなら、1000円くらい安くなるわよ。
男：いや、ふだんの日はだめですよ。やっぱり週末じゃないと。
女：じゃ、仕方ないわね。
男：S席二人分で2万か…。もう少し安くならないのかなあ…。
女：そうねえ。わたしみたいに友の会に入れば、2000円の割引があるけど。
男：えっ、2000円も安くなるんですか。あのー、先輩、かわいい後輩のためにここはひとつ…
女：もう、調子いいんだから！　行きたいっていつなの？　先にお金払ってもらいますからね。

男の人はいくら払いますか。

1　2万円です。
2　1万9000円です。
3　1万6000円です。
4　8000円です。

13番

印刷屋さんでお客さんと店の人が話しています。お客さんはどの色を選びましたか。

客：これ200枚印刷お願いします。
店の人：紙はどれにしますか。
客：目立つほうがいいから、白じゃなくて…　この黄色にしようかな。
店の人：これは、けっこうこい色なので、カラー印刷だとちょっと見にくい字があるかもしれませんよ。
客：そんなに強い色なんですか？
店の人：ええ、かなりね。浅黄ぐらいのほうがいいんじゃないでしょうか。
客：あさぎ？
店の人：さっきのよりうすい色だけど、上品ですよ。えっと、ここに見本が…、あ、ああ、これ、これです。
客：あ、いい色ね。これにしようかな。

お客さんはどの色を選びましたか。

1　濃い黄色です。
2　強い黄色です。
3　薄い黄色です。
4　上品な白です。

これで、2級の聴解試験を終わります。

第 2 回

これから2級の聴解試験を始めます。問題用紙を開けてください。

問題Ⅰ

絵を見て正しい答えを一つ選んでください。では、一度、練習しましょう。

例

パーティーで男の人が女の人を手伝っています。男の人は、何を持っていきますか。

男：忙しそうだから、手伝いましょうか。
女：そうですか。すみません。じゃあ、冷蔵庫に入っているビールと、テーブルの上のコップをあっちの部屋へ持っていっていただけますか。
男：はい。
女：あ、コップはそれじゃなくて、ガラスの大きいほうを持っていってください。
男：はい。

男の人は、何を持っていきますか。

正しい答えは1です。では、解答用紙の問題Ⅰの例のところを見てください。正しい答えは1ですから、答えは、このように書きます。では、始めます。

1番

荷物を受け取るのに、はんこをさがしています。はんこはどこにありましたか。

男：宅急便です。はんこお願いします。
夫：はあい。おおい、はんこだって。
妻：ちょっと、今、手がはなせないの。玄関にあるから。
夫：玄関のどこ。
妻：くつばこの上の、小さいかごの中。
夫：ああ…、あれ？　ないよ。
妻：ええ？　そんなはずないんだけど…。あ、そうか、ごめんなさい。私のかばんのポケットだわ。くつばこの横のコート掛けにかかっている茶色のかばんの外側のポケットの中、見て。
夫：茶色のかばん…と。ああ、あった。（はんこを押しながら）はい、ごくろうさま。

はんこはどこにありましたか。

2番

おかあさんと娘が写真を見ながら話しています。二人が見ている写真はどれですか。

娘：見て見て。
母：ああ、この間のゆみこさんの結婚式の写真？
娘：そう、この日、わたしせっかく着物きていったのに、雨がふってたいへんだったのよね。
母：そうだったわね。ご主人、背が高いのね。いいわねえ。この、花嫁さんの左にいる髪の長い人だれ？
娘：あ、それはゆみこのおねえさん。
母：そう。なんとなく似てるわね。あんたの隣の人は、かずこさん？
娘：そう。

二人が見ている写真はどれですか。

3番

ニュースです。事故のようすを正しく表している絵はどれですか。

今日午後4時ごろ、北山市中心部の交差点でトラック1台と小型乗用車2台の事故がありました。トラックが交差点で右に曲がろうとしたところへ、反対側から来た車が衝突、後ろから来た車が続けて衝突したものです。原因はトラックの運転手の不注意と見られています。この事故で、最初に衝突した乗用車の運転手が腕を骨折する大けがをしましたが、それ以外の人にけがはありませんでした。

事故の様子を正しく表している絵はどれですか。

4番

電車に忘れ物をした人が、駅員に聞いています。女の人は何を忘れましたか。

女：すみません、きのうの5時半ごろ、電車のなかに、かばんを忘れたんですが、とどいていませんか。
駅員：どんなかばんですか。
女：書類かばんです。黒い皮です。あ、手で持つところと、肩にかけられるベルトと、両方ついてます。
駅員：はい、ちょっと待ってくださいね。これですか。
女：あ、そうです。ああ、よかった。
駅員：念のため、中身をおっしゃってください。
女：はい、会社の大きい封筒と、書類、それから名刺です。
駅員：はい、確かに。じゃ、この書類にサインをおねがいします。はい、どうも。じゃ、これ、どうぞ。
女：どうも、ありがとうございました。

女の人は何を忘れましたか。

5番

秘書が社長に今日の予定を話しています。社長の予定は、どの順番ですか。

女：えっと、社長、今日の予定ですが。
男：ああ、たしか10時から会議だったね。
女：はい。それと、山下商事の太田さんが1時半にいらっしゃることになっています。
男：ああ、山下商事の太田さんね。
女：はい。あの、会議の前にこの資料をお読みいただけますか。
男：うん。これかね。
女：はい。
男：わかった。で、そのあとは？
女：はい、3時から……

社長の予定は、どの順番ですか。

6番

バスツアーのガイドさんが説明をしています。トイレはどこですか。

みなさま、本日はＡＢＣ観光のバスツアーをご利用いただきまして、ありがとうございます。わたくしはガイドの山田ともうします。よろしくお願いいたします。バスはあと10分ほどで、出発いたします。お荷物はみなさまの座席の上のあみだなにおのせください。運転席のすぐ後ろにも、大きいものが置けるスペースがございます。バスが走っている間は、危険ですのでお荷物の移動はおやめください。トイレはバスのいちばん後ろにございます。なお、わたくしは、いちばん前の入り口のそばに座っておりますので何かご用がございましたら、いつでもお呼びください。

トイレはどこですか。

7番

男の人と女の人が、ペットショップで話しています。どれを買いますか。

女：あ、あそこにいる白い子猫かわいいわね。
男：どれどれ、ああ、あの奥のケースの。
女：そうそう。ね、どう？
男：ううん、どうかな。ほかにも見てみないと。
女：そう？　あ、ほら、あれは？　毛が長くて、目が大きくて…。
男：毛が長いと大変だよ、そうじ。
女：そういえばそうね。じゃ、こっちは。しまもようの。これは、毛が短くていいわよ。
男：しっぽも短いよ。しっぽ短いの変じゃない。
女：注文の多い人ね。じゃ、どれがいいの。
男：ううん、黒いのはちょっとこわそうだし。やっぱり最初見たのかな。
女：しっぽ、短いけどいいの？
男：うん、あれはかわいいよ。あれにしよう。

どれを買いますか。

8番

女の人と男の人が話しています。男の人の出身地はどんなところですか。

女：あれ、この写真どこですか。
男：ああ、それ、軽井沢ですよ。
女：へー、さすが軽井沢ですね。まるでヨーロッパの町みたいですね。いついらっしゃったんですか。
男：5月の連休にね。
女：へー。
男：実は、ぼく、長野の出身なんです。
女：軽井沢ですか。
男：いやー、近いですけどね。山の中の小さな村なんです。田んぼがあって、小さい川があって。まさに日本の村って感じですよ。
女：へー、同じ長野でも、ずいぶん違うんですねぇ。

男の人の出身地はどんなところですか。

9番

二人が見ているものはどれですか。

妻：これ、何？
夫：肩とか、どこか痛いところにあてるんだ。気持ちいいよ。
妻：へえー。おもしろい形ねえ。卵に足が4本ね。
夫：長さが違うでしょ、2本ずつ。
妻：ええ。それに、まっすぐじゃなくて、斜めに開いているのね。
夫：そうなんだ。この角度がいいんだよ。ちょうど肩にぴったりなんだ。
妻：足の先のまるいところで押すのね。
夫：うん。

二人が見ているものはどれですか。

10番

男の人が、ある県のパスポートを申請した件数の変化について話しています。正しいグラフはどれですか。

1997年に海外へ行こうとパスポートを申請した人は、6万6990人でした。これは県が発表した、パスポートを申請した件数の結果で、前の年より8.3%、6000件あまり減りました。前の年より減少したのは、93年以来4年ぶりのことです。

正しいグラフはどれですか。

11番

男の人と女の人が新しいポスターを見て話しています。新しいポスターはどれですか。

男：えーっ。これにしたの？
女：みんな反対したんだけどねえ。会長がどうしても、これがいいって。
男：前のポスター、大きい写真1枚だけだったけど、よかったよね。
女：うん。写真を何枚か並べるだけでも、けっこういいのに。
男：ま、写真は何枚も使ってるけどね。
女：いくつか風船があって、その中に写真を入れたほうがまだよかったかもね。

新しいポスターはどれですか。

12番

男の人と女の人がいすを見て話しています。男の人が気に入ったいすはどれですか。

女：おもしろい形のいすばかりね。
男：あっ、これ。いいなあ。ちょっと座ってみよう。うん、低めだから、座りやすいや。
女：安定感があるわね。
男：背もたれがあるから、後ろにひっくり返らないし。後ろに何もないと、長い時間座っているのは大変だよね。長めで曲がってるのがいいな。すごく楽だ。
女：手を置くところがなくてもいいの？
男：うん。別に必要ないもん。

男の人が気に入ったいすはどれですか。

13番

男の人と女の人が有名な桜の木を探しています。桜の木はどこにありますか。

男：ねえ、道、まちがえたんじゃないの？
女：あー、いけない！
男：まったくー。地図見てるのにー。
女：ごめん。ごめん。この道、戻って、さっきの大通りを左に行って、その先に信号のある交差点があるから…
男：その交差点、曲がるの？
女：ううん。その先の細い道に入るの。
男：右？　それとも左？
女：えっと、右。それでね、道なりに行くとね。
男：真っ直ぐ？
女：ううん、曲がった道だけど、道なりに行けばいいんだから。でー、つきあたり。

桜の木はどこにありますか。

14番

テレビの強盗事件のニュースを見て話しています。逃げている男はどれですか。

女：ねえ！　前の店に強盗が入ったんだって。
男：えっ！　本当に？　それで、捕まったの？
女：まだ逃げてるって。あ、ビデオに強盗の顔が映ってたって。
男：どんなやつ？
女：やさしそうな感じだよ。髪は短くて、パーマ、かけてる。それからね、先生みたいな眼鏡かけてて。まゆがね、目より太いの。あっ、目のすぐ下に大きい傷があるんだって。
男：あー、こいつか。すぐ捕まるよ、きっと。

逃げている男はどれですか。

問題Ⅱ

問題Ⅱは絵がありません。正しい答えを一つ選んでください。では、一度練習しましょう。

例

男の人と女の人は何曜日にピンポンをしますか。

男：ねえ、ピンポンやるの、いつにする？
女：そうねえ、月曜日と水曜日は残業があるからだめなの。
男：あっ、ぼくは木曜日はだめだ。空手なんだ。
女：休みの日はゆっくりしたいしね。
男：やっぱり平日の夜だよね。
女：金曜日は？
男：いいよ。
女：あっ、いけない、忘れてた。金曜日はお見舞いに行くんだった。
男：そうか。じゃあ…

男の人と女の人は何曜日にピンポンをしますか。

1　日曜日です。
2　火曜日です。
3　水曜日です。
4　金曜日です。

正しい答えは2です。では解答用紙の問題Ⅱの例のところを見てください。正しい答えは2ですから、答えはこのように書きます。では、始めます。

1番

女の人と男の人が電話で話しています。女の人は、どうすればいいですか。

女：はい、佐藤でございます。
男：鈴木と申しますが、弘子さんいらっしゃいますか。
女：いえ、30分ほど前に出かけましたが、何か…
男：あの、1時に待ち合わせしたんですけど、来られないので…
女：たしか、渋谷でしたよね。そしたら、あと30分はかかると思いますが…
男：そうですか。や、困ったなぁ。
女：どうもすみません。
男：あの、時間がないので、先にゆきます。

もし、弘子さんから電話があったら、先に行っているとお伝えください。
女：はい、わかりました。

女の人は、どうすればいいですか。
1　あとで鈴木さんに電話をします。
2　鈴木さんから電話があったことを、弘子さんに伝えます。
3　鈴木さんは先に行ったと、弘子さんに伝えます。
4　鈴木さんが怒っていたと、弘子さんに教えます。

2番
電話で男の人が女の人の会社へ行く約束をしています。行ったらまず、何をしますか。

男：じゃ、今日2時ごろうかがいます。
女：はい、お待ちしています。こちらの会社に来ていただくのは初めてですが、場所はおわかりですか。
男：はい、その近くにはよく行っていますので。あの、直接、山本さんの課のほうへ、うかがっていいんでしょうか。
女：ええと、わたしの課は2階ですから、すぐ上がってきていただいてもいいんですが、先に受付にお寄りいただいたほうがいいですね。そこでわたしを呼ぶようにいってください。
男：わかりました。
女：あの、いらっしゃるまでに何かありましたら、同じ課の田中にご連絡ください。わたし、これからちょっと外出して、1時ごろまで席におりませんので。
男：あ、そうですか。わかりました。

会社へ行ったらまず何をしますか。
1　田中さんに連絡します。
2　すぐ2階へ行きます。
3　受付に寄ります。
4　いっしょに外出します。

3番
男の人と女の人が雨を見ながら話しています。男の人はどんなひどい目にあいましたか。

女：ああ、また降ってる。
男：雨ねえ、降らなくても困るけど、このごろ降りすぎだよね。
女：雨の日は、電車に乗るのがいやなのよ。満員だとどうしてもぬれたかさがあたるでしょ。くつもぬれるとすぐ皮がだめになるし。この前なんか、ぬれたかさをそのままあみだなにのせる人がいたのよ。ぽとぽと水がおちて、座っている人が迷惑しているのに、気がつかないふりをして。
男：そりゃ、ひどいな。でも、ぬれたり、汚れたりはまだいいほうだよ。この間ひどい目にあったんだ。
女：どうしたの。
男：駅で歩いているとき、前にいた人が長いかさをわきにはさんで急に立ち止まったんだ。それでかさの先がぼくのおなかにぶつかって。
女：うわあ、いたそう。
男：子供だったら、顔にぶつかっていたよ。かさはあぶないよね。

男の人は、どんなひどい目にあいましたか。
1　前の人のかさがおなかにぶつかりました。
2　雨でくつがだめになりました。
3　ぬれたかさで服をよごされました。
4　前の人のかさが顔にぶつかりました。

4番
女の人が山歩きについて話しています。山歩きを楽しむためにいちばん注意することは何ですか。

今日は、初めての人が山歩きを安全に楽しむための注意点についてお話しします。まず、服装ですが、長そでで、長ズボンで、スカートはやめましょう。くつはやや大きめで、歩きやすいものを選んでください。実際歩くときに何より大切なのは、すぐに歩き始めないことです。電車やバスを降りて、景色に夢中になり、いきなり歩きだすと、足をいためます。特に、ふだん運動不足の方は、必ず軽い準備運動をしてから歩いてください。楽しい山歩きでけがをしないよう、体にも十分な準備が必要です。

いちばん注意することは何ですか。
1　ふだんからよく運動しておくことです。
2　歩き始める前に少し運動することです。
3　大きいくつを用意することです。
4　歩く前にまわりの景色を見ることです。

5番
男の人と女の人が最近の選挙について話しています。投票する人が減っているいちばん大きい原因は何だといっていますか。

女：最近どこの選挙も投票に行く人が減っているらしいですね。
男：ええ、平均50％以下になるかもしれない、という人もいますね。税金が上がるというような大きい問題があるときだけはちょっと増えても、すぐ元に戻ってしまうんですね。
女：どうして投票に行かないんでしょうか。
男：いろいろあると思いますよ。たとえば選挙は日曜日ですけど、日曜に出かける人や仕事がある人が増えたとか。でも、やっぱり、いくら投票しても、政治が変わらないから行く気になれないっていう人がいちばん多いんじゃないかな。私もそういう気になることがありますからね。
女：選挙、行かないんですか。
男：いや、やっぱり行かなきゃいけないと思うから行きますよ。投票したい候補者がいない時も多いんですけどね。

投票する人が減っているいちばん大きい原因は何だといっていますか。
1　投票したいと思う候補者がいないことです。
2　日曜に出かける人や、仕事がある人が増えたことです。
3　今、大きい問題がないことです。
4　自分が投票しても何も変わらないと考える人が多いことです。

6番
男の人が資格について話しています。この人は資格をどう思っていますか。

最近、学生の間で、コンピューターや英語など、いろいろな資格を取ることがはやっています。就職がむずかしそうなので、何か資格を取って安心したいという人が多いようです。確かに、資格は強い味方になる場合もあります。しかし、内容によっては、役に立たないものも多いのです。特に簡単に取れるものは、あまり役に立ちません。また、資格が取れるからとお金をだまし取られた、などの問題もおきています。資格を取ろうとする前に、自分のやりたいことをよく考えることが大切だと思います。

この人は資格をどう思っていますか。
1　仕事をさがすときには何でも役に立ちます。
2　簡単に取れるから、役に立ちません。
3　資格の内容によっては、役に立ちません。
4　資格を取ると、問題が起きやすいです。

7番
ラジオで「友好の旅」に参加する人を募集しています。申し込めないのはどんな人ですか。

県では「友好の旅」の参加者を募集しています。行き先はヨーロッパ3カ国です。期間は11月12日から25日まで。募集人員は20名で、県内に住む20歳から35歳までの働いている方が対象です。また、現在青少年活動を行っている方、または帰国後活動を行うことができる方に限ります。10月15日までに県の青少年課に申し込んでください。

申し込めないのは、どんな人ですか。
1　県内に住んでいる人です。
2　仕事をしていない人です。
3　30歳の人です。
4　青少年活動をしている人です。

8番
テレビの地震のニュースです。地震はこれからどうなりますか。

気象庁の観測によりますと、今日午前0時からこれまで、東海地方から関東地方にかけて15回の体に感じる地震がありました。このうち最も強い地震は、午前8時40分に起きたもので、震度5を記録しました。気象庁では今後大きな地震が起きる可能性は少ないが、地震はしばらく続きそうだとして、注意を呼びかけています。

地震はこれからどうなりますか。
1　大きい地震が起きる可能性が大きいです。
2　大きい地震も小さい地震もしばらく続きそうです。
3　地震はしばらく続きそうですが、大きい地震はないでしょう。
4　もう地震は起きないでしょう。

9番
父親と娘がお見合いの相手について話しています。娘はどうしてお見合いの相手が嫌なのですか。

父：この間の見合い、どうするんだ。おとなしくていい人だったじゃないか。
娘：そうねえ。
父：有名大学を出ているし、家もあるし、条件は悪くないじゃないか。
娘：でも、あの笑い方…。
父：笑い方？
娘：うん、嫌なのよ、ああいう感じ。それに、わたしのほうが背が高いのは、やっぱりカッコ悪いし。
父：そんなの、お前が高い靴をはかなきゃいいんじゃないか。
娘：まあ、それはそうね。でもね、わたしのほうが強そうに見えない？
父：うん、確かに。
娘：でしょう？　それがいちばん嫌なのよ。きっと私いらいらしちゃうわ。

娘はどうしてお見合いの相手が嫌なのですか。
1　おとなしいし、背が高いからです。
2　弱そうだし、笑い方が嫌いだからです。
3　背が低いし、条件が悪いからです。
4　強そうで、笑い方が嫌だからです。

10番
会社の社長が講演会で高校生から質問を受けています。社長は本当に困ったとき、どうするといっていますか。

高校生：あのー、もし社長さんが最大の困難に出あったら、どうしますか。
社　長：最大の困難ですか。そうですね。君はどうするの？
高校生：私は友達に相談します。
社　長：うん。確かに、いいアドバイスがもらえたり、話をしているうちにいい考えが浮かんだりすることがあるからね。ぼくの友達は別のことを考えるといいっていうけど、僕の場合は旅ですね。行き先は決めないで2、3日ね。知らないところでしばらくのんびりするのがいいんです。本当に困ったときは、だれかに相談する気にもならないしね。
高校生：どうもありがとうございました。

社長は本当に困ったとき、どうするといっていますか。
1　いい考えが浮かぶのを待ちます。
2　2、3日旅をします。
3　別のことを考えます。
4　だれかに相談します。

これで、2級の聴解試験を終わります。

2級模擬テスト（第1回）解答用紙

〔文字・語彙〕

問題Ⅰ

問		
問1	(1)	①　②　③　④
	(2)	①　②　③　④
問2	(1)	①　②　③　④
	(2)	①　②　③　④
	(3)	①　②　③　④
	(4)	①　②　③　④
問3	(1)	①　②　③　④
	(2)	①　②　③　④
	(3)	①　②　③　④
	(4)	①　②　③　④
	(5)	①　②　③　④
問4	(1)	①　②　③　④
	(2)	①　②　③　④
	(3)	①　②　③　④
	(4)	①　②　③　④
問5	(1)	①　②　③　④
	(2)	①　②　③　④
	(3)	①　②　③　④
	(4)	①　②　③　④
	(5)	①　②　③　④

問題Ⅱ

問		
問1	(1)	①　②　③　④
	(2)	①　②　③　④
	(3)	①　②　③　④
問2	(1)	①　②　③　④
	(2)	①　②　③　④
	(3)	①　②　③　④
	(4)	①　②　③　④
問3	(1)	①　②　③　④
	(2)	①　②　③　④
	(3)	①　②　③　④
	(4)	①　②　③　④
問4	(1)	①　②　③　④
	(2)	①　②　③　④
	(3)	①　②　③　④
問5	(1)	①　②　③　④
	(2)	①　②　③　④
	(3)	①　②　③　④
問6	(1)	①　②　③　④
	(2)	①　②　③　④
	(3)	①　②　③　④

問題Ⅲ

(1)	①　②　③　④
(2)	①　②　③　④
(3)	①　②　③　④
(4)	①　②　③　④
(5)	①　②　③　④
(6)	①　②　③　④
(7)	①　②　③　④
(8)	①　②　③　④
(9)	①　②　③　④
(10)	①　②　③　④
(11)	①　②　③　④
(12)	①　②　③　④
(13)	①　②　③　④
(14)	①　②　③　④
(15)	①　②　③　④

問題Ⅳ

(1)	①　②　③　④
(2)	①　②　③　④
(3)	①　②　③　④
(4)	①　②　③　④
(5)	①　②　③　④
(6)	①　②　③　④
(7)	①　②　③　④
(8)	①　②　③　④
(9)	①　②　③　④
(10)	①　②　③　④

〔聴　解〕

問題Ⅰ

例	●　②　③　④
1　番	①　②　③　④
2　番	①　②　③　④
3　番	①　②　③　④
4　番	①　②　③　④
5　番	①　②　③　④
6　番	①　②　③　④
7　番	①　②　③　④
8　番	①　②　③　④
9　番	①　②　③　④
10　番	①　②　③　④
11　番	①　②　③　④

問題Ⅱ

例	正しい	①　②　●　④
	正しくない	●　●　③　●
1番	正しい	①　②　③　④
	正しくない	①　②　③　④
2番	正しい	①　②　③　④
	正しくない	①　②　③　④
3番	正しい	①　②　③　④
	正しくない	①　②　③　④
4番	正しい	①　②　③　④
	正しくない	①　②　③　④
5番	正しい	①　②　③　④
	正しくない	①　②　③　④
6番	正しい	①　②　③　④
	正しくない	①　②　③　④
7番	正しい	①　②　③　④
	正しくない	①　②　③　④
8番	正しい	①　②　③　④
	正しくない	①　②　③　④
9番	正しい	①　②　③　④
	正しくない	①　②　③　④
10番	正しい	①　②　③　④
	正しくない	①　②　③　④
11番	正しい	①　②　③　④
	正しくない	①　②　③　④
12番	正しい	①　②　③　④
	正しくない	①　②　③　④
13番	正しい	①　②　③　④
	正しくない	①　②　③　④

〔読解・文法〕

問題 I		問題 II		問題 III		
問 1	① ② ③ ④	問 1	① ② ③ ④	(1)		① ② ③ ④
問 2	① ② ③ ④	問 2	① ② ③ ④	(2)	問1	① ② ③ ④
問 3	① ② ③ ④	問 3	① ② ③ ④		問2	① ② ③ ④
問 4	① ② ③ ④	問 4	① ② ③ ④	(3)		① ② ③ ④
問 5	① ② ③ ④	問 5	① ② ③ ④	(4)		① ② ③ ④
問 6	① ② ③ ④	問 6	① ② ③ ④	(5)		① ② ③ ④
問 7	① ② ③ ④	問 7	① ② ③ ④	(6)		① ② ③ ④

問題 VI				問題 V		問題 VI	
(1)	① ② ③ ④	(12)	① ② ③ ④	(1)	① ② ③ ④	(1)	① ② ③ ④
(2)	① ② ③ ④	(13)	① ② ③ ④	(2)	① ② ③ ④	(2)	① ② ③ ④
(3)	① ② ③ ④	(14)	① ② ③ ④	(3)	① ② ③ ④	(3)	① ② ③ ④
(4)	① ② ③ ④	(15)	① ② ③ ④	(4)	① ② ③ ④	(4)	① ② ③ ④
(5)	① ② ③ ④	(16)	① ② ③ ④	(5)	① ② ③ ④	(5)	① ② ③ ④
(6)	① ② ③ ④	(17)	① ② ③ ④	(6)	① ② ③ ④		
(7)	① ② ③ ④	(18)	① ② ③ ④				
(8)	① ② ③ ④	(19)	① ② ③ ④				
(9)	① ② ③ ④	(20)	① ② ③ ④				
(10)	① ② ③ ④	(20)	① ② ③ ④				
(11)	① ② ③ ④	(22)	① ② ③ ④				

2級模擬テスト（第2回）解答用紙

〔文字・語彙〕

問題 I			問題 II			問題 III		問題 IV	
問1	(1)	① ② ③ ④	問1	(1)	① ② ③ ④	(1)	① ② ③ ④	(1)	① ② ③ ④
	(2)	① ② ③ ④		(2)	① ② ③ ④	(2)	① ② ③ ④	(2)	① ② ③ ④
	(3)	① ② ③ ④		(3)	① ② ③ ④	(3)	① ② ③ ④	(3)	① ② ③ ④
問2	(1)	① ② ③ ④	問2	(1)	① ② ③ ④	(4)	① ② ③ ④	(4)	① ② ③ ④
	(2)	① ② ③ ④		(2)	① ② ③ ④	(5)	① ② ③ ④	(5)	① ② ③ ④
	(3)	① ② ③ ④		(3)	① ② ③ ④	(6)	① ② ③ ④	(6)	① ② ③ ④
問3	(1)	① ② ③ ④	問3	(1)	① ② ③ ④	(7)	① ② ③ ④	(7)	① ② ③ ④
	(2)	① ② ③ ④		(2)	① ② ③ ④	(8)	① ② ③ ④	(8)	① ② ③ ④
	(3)	① ② ③ ④		(3)	① ② ③ ④	(9)	① ② ③ ④	(9)	① ② ③ ④
問4	(1)	① ② ③ ④	問4	(1)	① ② ③ ④	(10)	① ② ③ ④	(10)	① ② ③ ④
	(2)	① ② ③ ④		(2)	① ② ③ ④	(11)	① ② ③ ④		
	(3)	① ② ③ ④		(3)	① ② ③ ④	(12)	① ② ③ ④		
問5	(1)	① ② ③ ④		(4)	① ② ③ ④	(13)	① ② ③ ④		
	(2)	① ② ③ ④	問5	(1)	① ② ③ ④	(14)	① ② ③ ④		
	(3)	① ② ③ ④		(2)	① ② ③ ④	(15)	① ② ③ ④		
	(4)	① ② ③ ④		(3)	① ② ③ ④				
	(5)	① ② ③ ④	問6	(1)	① ② ③ ④				
問6	(1)	① ② ③ ④		(2)	① ② ③ ④				
	(2)	① ② ③ ④		(3)	① ② ③ ④				
	(3)	① ② ③ ④		(4)	① ② ③ ④				

〔聴　解〕

問題 I	
例	● ② ③ ④
1 番	① ② ③ ④
2 番	① ② ③ ④
3 番	① ② ③ ④
4 番	① ② ③ ④
5 番	① ② ③ ④
6 番	① ② ③ ④
7 番	① ② ③ ④
8 番	① ② ③ ④
9 番	① ② ③ ④
10 番	① ② ③ ④
11 番	① ② ③ ④
12 番	① ② ③ ④
13 番	① ② ③ ④
14 番	① ② ③ ④

問題 II		
例	正しい	① ● ③ ④
	正しくない	● ② ● ●
1番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
2番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
3番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
4番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
5番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
6番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
7番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
8番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
9番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
10番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④

〔読解・文法〕

問題 Ⅰ		問題 Ⅱ		問題 Ⅲ	
問 1	① ② ③ ④	問 1	① ② ③ ④	(1)	① ② ③ ④
問 2	① ② ③ ④	問 2	① ② ③ ④	(2)	① ② ③ ④
問 3	① ② ③ ④	問 3	① ② ③ ④	(3)	① ② ③ ④
問 4	① ② ③ ④	問 4	① ② ③ ④	(4)	① ② ③ ④
問 5	① ② ③ ④	問 5	① ② ③ ④	(5) 問1	① ② ③ ④
問 6	① ② ③ ④	問 6	① ② ③ ④	(5) 問2	① ② ③ ④
問 7	① ② ③ ④	問 7	① ② ③ ④	(6)	① ② ③ ④
問 8	① ② ③ ④				

問題 Ⅵ				問題 Ⅴ		問題 Ⅵ	
(1)	① ② ③ ④	(12)	① ② ③ ④	(1)	① ② ③ ④	(1)	① ② ③ ④
(2)	① ② ③ ④	(13)	① ② ③ ④	(2)	① ② ③ ④	(2)	① ② ③ ④
(3)	① ② ③ ④	(14)	① ② ③ ④	(3)	① ② ③ ④	(3)	① ② ③ ④
(4)	① ② ③ ④	(15)	① ② ③ ④	(4)	① ② ③ ④	(4)	① ② ③ ④
(5)	① ② ③ ④	(16)	① ② ③ ④	(5)	① ② ③ ④	(5)	① ② ③ ④
(6)	① ② ③ ④	(17)	① ② ③ ④	(6)	① ② ③ ④		
(7)	① ② ③ ④	(18)	① ② ③ ④				
(8)	① ② ③ ④	(19)	① ② ③ ④				
(9)	① ② ③ ④	(20)	① ② ③ ④				
(10)	① ② ③ ④	(20)	① ② ③ ④				
(11)	① ② ③ ④	(22)	① ② ③ ④				

日本語能力試験の構成と認定基準

級	構成			認定基準
	類別	時間	配点	
1	文字・語彙 聴解 読解・文法 計	45分 45分 90分 180分	100点 100点 200点 400点	高度の文法・漢字(2,000字程度)・語彙(10,000語程度)を習得し、社会生活をする上で必要であるとともに、大学における学習・研究の基礎としても役立つような、総合的な日本語能力(日本語を900時間程度学習したレベル)
2	文字・語彙 聴解 読解・文法 計	35分 40分 70分 145分	100点 100点 200点 400点	やや高度の文法・漢字(1,000字程度)・語彙(6,000語程度)を習得し、一般的なことがらについて、会話ができ、読み書きできる能力(日本語を600時間程度学習し、中級日本語コースを修了したレベル)
3	文字・語彙 聴解 読解・文法 計	35分 35分 70分 140分	100点 100点 200点 400点	基本的な文法・漢字(300字程度)・語彙(1,500語程度)を習得し、日常生活に役立つ会話ができ、簡単な文章が読み書きできる能力(日本語を300時間程度学習し、初級日本語コースを修了したレベル)
4	文字・語彙 聴解 読解・文法 計	25分 25分 50分 100分	100点 100点 200点 400点	初歩的な文法・漢字(100字程度)・語彙(800語程度)を習得し、簡単な会話ができ、平易な文、または短い文章が読み書きできる能力(日本語を150時間程度学習し、初級日本語コース前半を修了したレベル)

著者

瀬戸口　彩（せとぐち　あや）
日本語チャット　代表
著書：日本語能力試験受験問題集「予想と対策」シリーズ（アルク）
日本語能力試験　２級模擬テスト（アルク）
暮らしの中の日本語（御茶ノ水中国帰国者日本語学校）

山本　京子（やまもと　きょうこ）
地域日本語教育研究会代表
著書：日本語能力試験１級に出る重要単語集（アルク）
日本語教師必携ハート＆テクニック（アルク）
暮らしの中の日本語（御茶ノ水中国帰国者日本語学校）　ほか

浅倉　美波（あさくら　みなみ）
元ヒューマン・アカデミー日本語教師養成講座講師
日本語支援ボランティア養成講座講師
著書：日本語教師必携ハート＆テクニック（アルク）
日本語能力試験１級に出る重要単語集（アルク）

歌原　祥子（うたはら　しょうこ）
学校法人自由学園　非常勤講師
著者：わたしのこと（神奈川県国際交流協会）　ほか

新装版 合格できる
２級　日本語能力試験　CD2枚つき

本書は1999年にアルクから刊行された『合格できる！ 2級日本語能力試験
対策模擬テスト2回分つき』の書籍と別売CDを一緒にした新装版です。

1999年10月20日初刷発行
2005年11月10日新装版 初刷発行　2007年2月20日第3刷発行
著　者　瀬戸口　彩・山本京子・浅倉美波・歌原祥子
発行者　平本照麿
発行所　株式会社アルク
〒168-8611　東京都杉並区永福2-54-12
電話　03-3323-0026（日本語ジャーナル編集部）
03-3327-1101（カスタマーサービス部）
印刷所　株式会社ミリオン
表紙デザイン　中村 力
編集協力　有限会社　アミューズ
●

Printed in Japan ISBN 4-7574-0930-3 C0081

PC：7005119